

「吉原細見」に見られる男芸者一覧(稿)

平成 25～28 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））、課題番号：25370123)

「江戸～昭和期の常磐津節演奏家に関する基盤研究」

研究代表者 前原恵美（独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所）

平成 29 年 3 月

目次

1. 本稿のねらい	前原恵美	1
2. 凡例	曾村みずき	2
1) 一般表記	2	
2) 芸名等	2	
3) 所蔵等	3	
4) 例	3	
3. 男芸者一覧 (稿)	前原恵美・曾村みずき 編	4
4. 芸名索引	前原恵美・曾村みずき 編	67
5. 「吉原細見」に見られる男芸者小考		93
1) 「吉原細見」からみた初期富本節	曾村みずき	93
2) 男芸者情報をもたらす焦点化と俯瞰の視点	前原恵美	100
6. 今後の課題と展望	前原恵美	109

1. 本稿のねらい

前原恵美

本研究の当初の目的は、常磐津節の演奏家研究に新たな視点を加える資料として、「吉原細見」男芸者名寄せの史料価値を検討し、その情報を整理して公開することであった。そして、「吉原細見」男芸者の名寄せを演奏家研究に活用できる可能性は、拙論「音楽史料としての『吉原細見』」¹で指摘し、その試論として三味線音楽界の情勢を「吉原細見」の視点から再検討した拙論『『吉原細見』から見た三味線音楽界の情勢—享保から文化・文政期—』² および『『吉原細見』から見た三味線音楽界の情勢—天保・弘化期以降—』³がある。しかし当時は、その必要性を認識しながらも「吉原細見」の網羅的な調査には程遠く、三味線音楽界の情勢についてもトピックスを点描するに留まった。その後、平成 22～24 年度および平成 25 年度～28 年度の科学研究費助成を受け、常磐津節演奏家研究の基礎データとしての「吉原細見」男芸者名寄せの調査を進め、情報を整理してきた。

ところで、実際に「吉原細見」の情報を整理し始めると、名寄せが現れるのは、管見では「66:明和 6・春(序) 1769」が最初であった(前年の「65:明和 5・春 1768」にはない)。本研究では「吉原細見」の名寄せに注目していたので、当初はこれ以前の名寄せの無い「吉原細見」については除外して考えていた。しかし作業を進める過程で、それらの中に明らかに専門芸を持つ男芸者と思われる芸名が散見され、さらに歌舞伎に出勤している演奏家の芸名も見られた。したがって本稿では、名寄せの有無にかかわらず、対象を男芸者の情報のある「吉原細見」に広げ、なるべく広く情報を収集するよう方針を転換した。また、男芸者には音楽に限らず広く芸能の関わる専門芸を持つ者がいたことから、名寄せがある場合には音楽に限らず掲載されている男芸者全員、名寄せがない場合には音楽以外に「声色」「人形遣」を掲げる男芸者も含めて、情報収集を進めた。

このように収集する男芸者の情報の範囲を広げながら作業を進めたこともあり、現段階では、すべての「吉原細見」のすべての男芸者の情報を拾い切れているとはいえない部分も、読み込みが不十分な点もあろう。同年同月の「吉原細見」に板元の違うものが存在することなども当初は想定しておらず、とにかく原則的に一年に 2 回、春と秋に出される「吉原細見」の情報を並置できれば良いと考えていたのも事実である。とはいえ、現時点で 260 種の「吉原細見」について情報を得たので、まずは『『吉原細見』に見られる男芸者一覧(稿)』として情報を広く公開し、常磐津節に留まらず、音楽の枠も超えて「吉原細見」に見られる男芸者たちが日本の伝統芸能伝承の一旦を担っていたことを報告し、今後の幅広い専門分野の研究の一助となることを願う次第である。

本報告書はこれらの目的のために、男芸者の情報を一覧にする際、同一人物と推定される異名男芸者について、あるいは逆に同一芸名であっても途中にブランクがあり、その間

¹平成 19 年 3 月、『昭和音楽大学研究紀要』第 26 号 (pp.16-28)。

²平成 20 年 3 月、『昭和音楽大学研究紀要』第 27 号 (pp.16-28)。

³平成 21 年 3 月、『昭和音楽大学研究紀要』第 28 号 (pp.14-27)。

は別名を名乗っていたか世数が変わっている可能性のある男芸者について、索引で参照できるように工夫した。また、このような情報を公開する場合、原本通りの表記で公開することが基本だと考えるが、本稿では敢えて漢字やかな表記の違いはなるべく統一し、同一人物の見当を付けやすいように編集した。

本稿作成のためには情報収集にも整理にも多くの労力が必要であった。資料閲覧に際しご協力いただいた各所蔵機関および、煩雑で根気のいる作業に多大なるお力添えを頂いた阿久澤風貴子氏と曾村みずき氏に感謝申し上げます。

2. 凡例

1) 表記

1. 専門分野がわかる肩書きが併記されている場合、名前のあとに（ ）で記した。
2. 掲載時期等の前後関係から同一人物と思われる者について、本文中では頻出の表記に揃え、索引では頻出の表記のあとに [] で別表記を列記した。
3. 名寄せの無い「吉原細見」については、音楽、声色、人形遣を専門とする男芸者の情報を掲載した。
4. 刊行時期は、正月は「春」、7月は「秋」と表記した。それ以外の時期は資料の表記に倣い、その根拠を（ ）に記した。
5. 解読不能の文字は■で記した。

2) 芸名等

1. 旧字は現在の一般的な表記に改めた。
例) 富本→富本
 忝本→松本
2. 一部のひらがなは漢字に改めて便宜を図った。
例) みやこぢ→宮古路
 ますみ→十寸見
 惣げいしゃせわ役→惣芸者世話役
3. 同一の人物ないし芸姓と推定される表記は頻出の表記に統一した。
例) 富沢利かう・富沢りかう→富沢里かう
 吾丁・五丁・五調→五町
 理八・利八→里八
4. 周知の専門分野や芸名については、一般的な表記に改めた。
例) 長哥・永哥・長うた→長唄
 加丈→河丈

3) 所蔵等

1. 所蔵の略記は以下の通りとした。

- 岩瀬＝西尾市立図書館岩瀬文庫
- 江博＝東京都江戸東京博物館
- 加賀＝東京都立中央図書館加賀文庫
- 関西＝関西大学図書館
- 国会＝国立国会図書館
- 国会古典＝国立国会図書館古典籍
- 筑波＝筑波大学附属図書館
- 天理＝天理大学附属天理図書館
- 東急＝大東急記念文庫
- 東誌＝東京都立中央図書館東京誌料
- 東特＝東京都立中央図書館特別文庫
- 都立中央＝東京都立中央図書館
- 阪大＝大阪大学図書館忍頂寺文庫
- 明治＝明治大学図書館

2. その他の略記

年表＝八木敬一・丹羽謙治 共編『吉原細見年表』日本書誌学大系 72、青裳堂書店、平成 8 年

4) 例

「吉原細見」の
通し番号

刊年 (和暦および西暦)、季節または月

⑥享保 18・春力 1733

①三文字屋亦四郎 ②都立中央【3849-42-1】/国会【209-10-228】 ③名寄せなし

④竹本常太夫 宇右衛門 (河丈三味線) 都三中 宮古大夫伴中 竹本新太夫 嘉兵衛 (狂言師 三味線) 河丈 (河東節浄瑠璃) 平四郎 (河東節浄瑠璃) 庄八 (河東三味線)

※『浮舟車』

①板元名

②所蔵。

③名寄せの有無

④男芸者名 (専門分野) …記載がある場合のみ

⑤「惣芸者世話役」等の取りまとめ役…記載がある場合のみ

※備考。『 』は外題や内題等で確認できる書名

3. 男芸者一覧（稿）

1:天和3 1683

- ①本屋吉重郎 ②関西【L23-300-6090】 ③名寄せなし

2:享保12カ（年表） 1727

- ①鱗形屋孫兵衛 ②阪大【F15】 ③名寄せなし
竹本小太夫

3:享保13・3月 1728

- ①相模屋与兵衛 ②岩瀬【34-37】 ③名寄せなし
④嘉兵衛（河東三味線） 宇平次（河東流浄瑠璃） 竹本小太夫

4:享保16 1731

- ①ひらのや善六 ②国会【209-10-228】 ③名寄せなし
④都味中（浄瑠璃） 与兵衛（箏） 竹本小太夫 嘉兵衛（河東節三味線） 宇平次
（河東節瑠璃）

5:享保17 1732

- ①鶴屋喜右衛門 ②阪大【F11】 ③名寄せなし
④宇右衛門（河丈三味線） 竹本小太夫 豊竹新太夫
※『新吉原の絵図』

6:享保18・春力 1733

- ①三文字屋亦四郎 ②国会【209-10-228】／都立中央【3849-42-1】 ③名寄せなし
④竹本常太夫 宇右衛門（河丈三味線） 都三中 宮古太夫伴中 竹本新太夫 嘉兵衛
（狂言師 三味線） 河丈（河東節浄瑠璃） 平四郎（河東節浄瑠璃） 庄八（河東三
味線）
※『浮舟車』

7:享保18・秋力 1733

- ①三文字屋亦四郎 ②江博【96201835】 ③名寄せなし
④竹本常太夫 宇右衛門（河丈三味線） 都三中 宮古太夫伴中 竹本新太夫 嘉兵衛
（狂言師 三味線） 河丈（河東節浄瑠璃） 平四郎（河東節浄瑠璃） 庄八（河東節三
味線）
※『浮舟車』

8:享保 19 1734

- ①鶴屋喜右衛門 ②都立中央【3849-42-2】 ③名寄せなし
④宇右衛門（河丈三味線） 豊竹新太夫 河丈（宇平次事） 嘉兵衛（浄瑠璃 狂言師）

9:享保 20・春 1735

- ①鱗形屋孫兵衛 ②加賀【加 428】 ③名寄せなし
④豊竹嶋太夫 車屋嘉兵衛 江戸太夫河東
※『山紅鳥』

10:享保 20・秋カ 1735

- ①鱗形屋孫兵衛 ②関西【L023-300-78】 ③名寄せなし
④清三郎（三味線） 宇右衛門（三味線） 豊竹嶋太夫 車屋嘉兵衛（浄瑠璃） 江戸太夫河東
※『山紅鷺』、写本

11:元文元・9月 1736

- ①三文字屋又四郎 ②阪大【F12】 ③名寄せなし
④竹本長門太夫
※「三味線指南 かゑい（嘉兵衛）」（22 オ）

12:元文 3（表紙直書）／元文 4・春（年表） 1738／1738

- ①不明（奥付なし） ②岩瀬【153-40】 ③名寄せなし
④竹本妻太夫 竹本長門太夫 正佐（浄瑠璃三味線）

13:元文 4 1739

- ①山本九左衛門 ②国会【856-24】 ③名寄せなし
④竹本妻太夫 竹本長門太夫 正佐（浄瑠璃三味線）

14:元文 6・春（序） 1741

- ①不明（奥付なし） ②岩瀬【153-38】 ③名寄せなし
④江戸太夫河東 豊竹長門太夫 豊竹妻太夫
※『鴛の思羽』

15:元文 6・春（序） 1741

- ①不明（奥付なし） ②岩瀬【101-39】 ③名寄せなし
④江戸太夫河東 豊竹長門太夫 豊竹妻太夫 永中 利八（三味線） 忠五郎（三味線）
※『春かすみ』

16:寛保元・春 1741

- ①山本九左衛門 ②加賀【加 381】 ③名寄せなし
④竹本妻太夫 清三郎（三味線） 豊竹長門太夫 半九郎（三味線） 嘉兵衛（浄瑠璃）
※『鴛の思羽』

17:寛保3・春 1743

- ①鱗形屋孫兵衛 ②岩瀬【101-34】／加賀【加 385】／東誌【0792-1】 ③名寄せなし
④豊竹妻太夫 宇右衛門（三味線） 久右衛門（三味線） 江戸太夫河東 小八（声色） 左七（声色） 鳥羽屋正佐 豊竹嶋太夫 久重なには太夫（浄瑠璃） 豊竹浅太夫 忠五郎（三味線） 茂七（三味線） 半九郎（三味線）
※『通家美』（序）

18:寛保3 1743

- ①鱗形屋 ②岩瀬【153-37】 ③名寄せなし
④豊竹妻太夫 宇右衛門（三味線） 久右衛門（三味線） 江戸太夫河東 鳥羽屋正佐 豊竹嶋太夫 豊竹兼太夫 豊竹浅太夫 市郎兵衛（三味線） 吉十郎（三味線） 半九郎（三味線） きょうせい（浄瑠璃）

19:寛保4・春【序】 1744

- ①鱗形屋孫兵衛 ②阪大【F6】 ③名寄せなし
④江戸太夫河東 都八十太夫林中 豊竹兼太夫 豊竹麻太夫
※『新玉鏡』

20:延享2 1745

- ①鱗形屋 ②国会【851-105】 ③名寄せなし
④豊竹妻太夫 豊竹嶋太夫 久右衛門（三味線） 江戸太夫河東 小八（声色） 左七（声色） 鳥羽屋正佐 味中（浄瑠璃） 市いち（三味線） 八十五郎（三味線） 清右衛門（声色） はいじゅ（三味線） 弥三郎（三味線） 豊竹兼太夫 宮崎忠五郎

21:延享3（序） 1746

①鱗形屋孫兵衛 ②加賀【加 426】 ③名寄せなし
④伴中（浄瑠璃） 永中 弥三郎（三味線） 利八（三味線） 豊竹兼太夫 豊竹麻太夫 忠五郎（三味線） 蘭示（浄瑠璃）
※『とらがふみ』

22:延享4・春 1747

①鱗形屋孫兵衛 ②天理【細 131-1】 ③名寄せなし
④豊竹妻太夫 久右衛門（三味線） 鳥羽屋正佐 蘭示（浄瑠璃） 楽中（浄瑠璃）
豊竹嶋太夫 鳥羽屋 弥三郎（三味線） 利八（三味線） 豊竹兼太夫 豊竹麻太夫
忠五郎（三味線） 江戸河東
※『柳花園』

23:延享4・春 1747

①鱗形屋孫兵衛 ②天理【細 131-2】 ③名寄せなし
④豊竹妻太夫 宇右衛門（三味線） 久右衛門（三味線） 江戸太夫河東 小八（声色） 左七（声色） 鳥羽屋正佐 都太夫二中 八十五郎（三味線） 清右衛門（声色） 弥三郎（三味線） 利八（三味線） 忠五郎（三味線）
※『初多誉里』

24:延享5・春（序） 1748

①鱗形屋 ②岩瀬【101-40】 ③名寄せなし
④豊竹妻太夫 久右衛門（三味線） 味中（浄瑠璃） 豊竹嶋太夫 市いち（三味線）
八十五郎（三味線） 清右衛門（声色） 永中 弥三郎（三味線） 利八（三味線）
豊竹兼太夫 豊竹麻太夫 忠五郎（三味線） 江戸河東 海老屋幸介（浄瑠璃、声色、座持ち） 次左衛門（三味線）

25:延享5・春（序） 1748

①鱗形屋孫兵衛 ②天理【細 133-1】 ③名寄せなし
④豊竹妻太夫 久右衛門（三味線） 豊竹嶋太夫 市いち（三味線） 八十五郎（三味線） 清右衛門（声色） 永中 弥三郎（三味線） 利八（三味線） 豊竹兼太夫 豊竹麻太夫
※『里の家名記』

26:延享5 1748

①鱗形屋孫兵衛 ②天理【細 126-3】 ③名寄せなし
④豊竹妻太夫 宇右衛門（三味線） 久右衛門（三味線） 江戸太夫河東 都太夫二中

鳥羽屋正佐 八十五郎（三味線） 清右衛門（声色） 弥三郎（三味線） 利八（三味線） 豊竹兼太夫 忠五郎（三味線）

※『丸山土産』

27:寛延元・秋（序） 1748

①鱗形屋孫兵衛 ②岩瀬【101-38】 ③名寄せなし

④豊竹妻太夫 豊竹嶋太夫 蘭洲（河東節） 市いち（三味線） 八十五郎（三味線） 清右衛門（声色） 永中 弥三郎（三味線） 利八（三味線） 豊竹兼太夫 豊竹麻太夫 忠五郎（三味線） 江戸河東 次左衛門（三味線）

※『吉原連男』

28:寛延2・春（序） 1749

①鱗形屋 ②岩瀬【101-37】 ③名寄せなし

④清三郎（三味線） 蘭州（河東節） 安五郎（三味線） 清八（声色） 弥三郎（三味線） 利八（三味線） 豊竹麻太夫 宮崎しうや（三味線） さわいち（河東節） 宮崎忠五郎

29:寛延2・春（序） 1749

①不明（奥付なし） ②阪大【F17】 ③名寄せなし

④豊竹妻太夫 宇右衛門（三味線） 久右衛門（三味線） 江戸太夫河東 鳥羽屋正佐 都太夫二中 豊竹嶋太夫 蘭示（浄瑠璃） 八十五郎（三味線） 市いち（三味線） 豊竹兼太夫 豊竹麻太夫 永中 弥三郎（三味線） 利八（三味線） 江戸河東 忠五郎（三味線） 次左衛門（三味線）

※『不老門』

30:寛延3・春 1750

①鱗形屋 ②天理【細 134-3】 ③名寄せなし

④豊竹妻太夫 宇右衛門（三味線） 久右衛門（三味線） 江戸太夫河東 鳥羽屋正佐 都太夫二中 豊竹嶋太夫 蘭示（浄瑠璃） 八十五郎（三味線） 清右衛門（声色） 市いち（三味線） 豊竹兼太夫 豊竹麻太夫 永中 弥三郎（三味線） 利八（三味線） 江戸河東 忠五郎（三味線）

※『若栄帳』

31:寛延3・秋（序） 1750

①鱗形屋 ②江博【90207577】 ③名寄せなし

④忠五郎（三味線）

32:寛延3・秋(序) 1750

①鱗形屋 ②阪大【F1】 ③名寄せなし

④豊竹妻太夫 豊竹長門太夫 豊竹喜代太夫 蘭示(河東節) 永中 利八(三味線)
豊竹麻太夫 忠五郎(三味線) 豊竹兼太夫

33:寛延4・春(序) 1751

①鱗形屋 ②岩瀬【101-41】 ③名寄せなし

④豊竹妻太夫 豊竹喜代太夫 豊竹長門太夫 蘭洲(河東節浄瑠璃) 弥三五郎(三味線) 利八(三味線) 永中(一中節) 豊竹麻太夫 豊竹兼太夫

※『袂の花』

※「弥三五郎」→「弥三郎」の誤りカ

34:寛延4(表紙直書)・秋(序) 1751

①山本九左衛門 ②加賀【加387】 ③名寄せなし

④豊竹妻太夫 宇右衛門(三味線) 鳥羽屋正佐 鳥羽屋吉十郎 宮沢乙吉(三味線)
竹本森太夫 豊竹長門太夫 豊竹喜代太夫 八十五郎(声色) 清右衛門(声色) 豊竹麻太夫 永中(一中節) 梅沢里八(三味線) 豊竹兼太夫 忠五郎(三味線)

※『邯鄲里』

35:宝暦2・春(表紙) 1752

①鱗形屋 ②天理【細138-1】 ③名寄せなし

④鳥羽屋正佐 弥三郎(三味線) 利八(三味線) 永中(一中節) 豊竹麻太夫 宮崎忠五郎

※『太夫地杜』

36:宝暦2・秋(序) 1752

①山本九左衛門 ②天理【細138-2】 ③名寄せなし

④大谷小八(声色) 鳥羽屋正佐 鳥羽屋吉十郎(三味線) 宮沢乙吉(三味線) 嘉太夫(三味線) 清三郎(三味線) 安五郎(三味線) 宮古路妻太夫 湊太夫(義太夫節) さわいち(三味線) 兼中(一中節浄瑠璃) 梅沢里八(三味線) 宮崎忠五郎

※『吉原燕』

37:宝暦3・春 1753

①不明(奥付なし) ②国会【209-10-228】／天理【細139-1】 ③名寄せなし

④豊竹兼太夫 豊竹妻太夫 弥三郎（三味線） 利八（三味線） 永中（一中節） 豊竹麻太夫

※『曙が原』

38:宝暦4・春 1754

①鱗形屋 ②天理【細 140-2】 ③名寄せなし

④豊竹兼太夫 豊竹妻太夫 利香（三味線） 豊竹荻太夫 豊竹新太夫 鳥羽屋正佐 富本豊前掾 富本斎宮太夫 永中（長唄） 弥三郎（三味線） 利八（三味線） 豊竹麻太夫

※『多知姿』

39:宝暦4・春 1754

①山本九左衛門 ②江博【88200105】 ③名寄せなし

④鳥羽屋正佐 富本斎宮太夫 大谷小八（声色）

40:宝暦4・春（序） 1754

①山本九左衛門 ②筑波【ヤ 610-395】／阪大【F3】 ③名寄せなし

④豊竹妻太夫 大谷小八（声色） 鳥羽屋正佐 富本斎宮太夫 久右衛門（三味線） 清三郎（三味線） 豊竹妻太夫 豊竹麻太夫 梅沢里八（三味線）

※「義太夫ふししなん処」（21ウ）

41:宝暦5・春 1755

①鱗形屋 ②阪大【F4】 ③名寄せなし

④都千国 野沢文三郎 豊竹兼太夫 豊竹妻太夫 富沢里かう 利かう（三味線） 豊竹荻太夫 豊竹新太夫 永中（長唄） 大谷小八（声色） 鳥羽屋正佐 富本豊前掾 富本斎宮太夫 千代竹八十五郎 豊竹妻太夫 梅沢里八（三味線） 豊竹麻太夫

※『宝婦寝』

42:宝暦5・春力 1755

①山本九左衛門 ②天理【細 155-1】 ③名寄せなし

④豊竹兼太夫 野沢文三郎 富沢里かう 豊竹妻太夫 鳥羽屋正佐 竹本新太夫 久右衛門（三味線） 清三郎（三味線） 都八重太夫 豊竹浅太夫 十寸見蘭洲

※『大宿梅』

43:宝暦5 1755

①鱗形屋 ②天理【細 141-2】 ③名寄せなし

④都千国 野沢文三郎 豊竹兼太夫 富沢里かう 豊竹荻太夫 豊竹新太夫 永中（長唄） 大谷小八（声色） 鳥羽屋正佐（三味線） 千代竹八十五郎 豊竹妻太夫 梅沢里八（三味線） 豊竹麻太夫

※『宝婦寝』、「義太夫ふししなん処」（25ウ）

44:宝暦5 1755

①山本九左衛門 ②天理【細 141-1】 ③名寄せなし

④豊竹兼太夫 野沢文三郎 富沢里かう 豊竹妻太夫 鳥羽屋正佐 富本斎宮太夫 久右衛門（三味線） 清三郎（三味線） 豊竹浅太夫

※『入相の花』

45:宝暦6 1756

①鱗形屋 ②岩瀬【101-47】 ③名寄せなし

④都千国 野沢文三郎 豊竹兼太夫 豊竹妻太夫 豊竹荻太夫 豊竹新太夫 永中（長唄） 鳥羽屋正佐 すいりうけん（講釈） 梅沢里八（三味線） 豊竹麻太夫

※『委栄名居所』

46:宝暦7・春（序） 1757

①鱗形屋 ②天理【細 143-1】／天理【細 143-2】 ③名寄せなし

④富沢林蔵 野沢文三郎 都千国 富本斎宮 豊竹兼太夫 豊竹妻太夫 ふけん（半太夫節三味線） 竹本町太夫 豊竹新太夫 永中（長唄） 豊竹いせ吉 鳥羽屋正佐 清三郎（三味線） 森竹小八（人形遣） 豊竹湊太夫 喜世竹八十五郎（三味線） 都八重太夫 梅沢里八（三味線） 豊竹麻太夫

※『並嬉乃太夫』

47:宝暦8・春（序） 1758

①鱗形屋 ②岩瀬【34-31】 ③名寄せなし

④富沢林蔵 野沢文三郎 都千国 富本斎宮 豊竹兼太夫 豊竹妻太夫 ふけん（半太夫節三味線） 竹本町太夫 富沢里かう 豊竹新太夫 豊竹いせ吉 清三郎（三味線） 喜代竹八十郎（三味線） 都八重太夫 梅沢里八（三味線） 豊竹麻太夫 十寸見蘭洲

※『花橘』

48:宝暦8・春 1758

①山本九左衛門 ②天理【細 144-3】 ③名寄せなし

④富本斎宮 富本たみ 豊竹金太夫 富沢乙吉 竹本町太夫 永中（長唄） 鳥羽屋正佐 豊竹新太夫 森竹小八（人形遣） 清三郎（三味線） 都八重太夫 豊竹浅太夫

※『数粹の盞興』

49:宝暦8 1758

①鱗形屋 ②阪大【F18】 ③名寄せなし

④富本斎宮 豊竹兼太夫 豊竹妻太夫 ふけん（半太夫三味線） 竹本町太夫 富沢里
かう 豊竹いせ吉 鳥羽屋正佐 清三郎（三味線） 喜世竹八十五郎（三味線） 都八
重太夫 梅沢里八（三味線） 豊竹麻太夫

※『花橘』

50:宝暦9・春（序） 1759

①鱗形屋 ②天理【細 145-1】 ③名寄せなし

④富沢林蔵 都千中 富本斎宮 豊竹兼太夫 豊竹妻太夫 ふけん（半太夫節三味線）
竹本町太夫 富沢里かう 豊竹新太夫 永中（長唄） 鳥羽屋正佐 清三郎（三味線）
鳥羽屋右京 喜世竹八十五郎（三味線） 都八重太夫 梅沢里八（三味線） 豊竹麻太
夫 十寸見蘭洲

※『宝八木』

51:宝暦10・春力 1760

①鱗形屋 ②天理【細 146-1】 ③名寄せなし

④豊竹荻作太夫 野沢文三郎 都千中 富本斎宮 豊竹兼太夫 ふけん（半太夫節三味
線） 竹本梅太夫 富沢里かう 豊竹新太夫 永中（長唄） 富沢林蔵 鳥羽屋正佐
清三郎（三味線） 鳥羽屋右京 喜世竹八十五郎（三味線） 野沢紋三郎（三味線）
蔦屋太十郎（三味線） 都八重太夫 梅沢里八（三味線） 豊竹麻太夫 十寸見蘭洲

※『五色住』

52:宝暦10・秋 1760

①鱗形屋 ②天理【細 146-2】 ③名寄せなし

④豊竹荻作太夫 春富士正伝 野沢文三郎 都千中 富本斎宮 豊竹兼太夫 ふけん
（半太夫節三味線） 富沢里かう 豊竹新太夫 富沢林蔵 鳥羽屋正佐 永中（長唄）
清三郎（三味線） 鳥羽屋右京 梅沢里八（三味線） 豊竹麻太夫 十寸見蘭洲

※『里慈童』

53:宝暦11・春 1761

①不明（奥付なし） ②天理【細 147-1】 ③名寄せなし

④野沢文三郎 春富士正伝 都千中 豊竹兼太夫 豊竹志加太夫 富沢里かう 富沢林
蔵 鳥羽屋正佐 豊竹新太夫 永中（長唄） 清三郎（三味線） 鳥羽屋右京 喜世竹

八十五郎（三味線） 野沢紋三郎 蔦屋太十郎（三味線） 都八重太夫 梅沢里八（三味線） 豊竹麻太夫

※『初みどり』

54:宝暦11・春 1761

①鱗形屋 ②阪大【F8】 ③名寄せなし

④野沢文三郎 春富士正伝 都千中 豊竹兼太夫 豊竹志加太夫 山彦新九郎 富沢里かう 永中（長唄） 豊竹新太夫 清三郎（三味線） 鳥羽屋右京 喜世竹八十五郎（三味線） 野沢紋三郎 蔦屋太十郎（三味線） 都八重太夫 梅沢里八（三味線） 豊竹麻太夫 十寸見蘭洲

55:宝暦11・秋（序） 1761

①鱗形屋（年表） ②岩瀬【34-33】 ③名寄せなし

④野沢文三郎 春富士正伝 都千中 豊竹兼太夫 豊竹志加太夫 山彦新九郎 永中（長唄） 鳥羽屋正佐 豊竹新太夫 清三郎（三味線） 鳥羽屋右京 野沢紋三郎 蔦屋太十郎（三味線） 都八重太夫 梅沢里八（三味線）

※『細見実語教』

56:宝暦11・秋 1761

①鱗形屋 ②阪大【F13】 ③名寄せなし

④永中（長唄） 富沢林蔵 鳥羽屋正佐 豊竹新太夫 清三郎（三味線） 喜世竹八十五郎（三味線） 野沢紋三郎（三味線） 蔦屋太十郎（三味線） 都八重太夫 梅沢里八（三味線） 豊竹麻太夫

※『細見実語教』

57:宝暦11・秋 1761

①不明（奥付なし） ②天理【細 147-3】 ③名寄せなし

④野沢文三郎 春富士正伝 都千中 豊竹兼太夫 豊竹志加太夫 富沢林蔵 豊竹新太夫 清三郎（三味線） 鳥羽屋右京 喜世竹八十五郎（三味線） 野沢紋三郎 蔦屋太十郎（三味線） 都八重太夫 梅沢里八（三味線） 豊竹麻太夫

※『実語教』

58:宝暦12・春（序） 1762

①鱗形屋 ②国会【851-107】／天理【細 148-1】／天理【細 148-2】 ③名寄せなし

④野沢文三郎 春富士正伝 都千中 豊竹志加太夫 豊竹兼太夫 富沢里かう 永中（長唄） 富沢林蔵 鳥羽屋正佐 豊竹新太夫 清三郎（三味線） 森竹小八 鳥羽屋

右京 喜世竹八十五郎（三味線） 豊竹折太夫 野沢紋三郎（三味線） 豊竹荻太夫
都八重太夫 梅沢里八（三味線） 豊竹麻太夫 豊竹妻太夫 十寸見蘭洲

※『道中菓子陸』

59:宝暦13・春 1763

①鱗形屋 ②天理【細149-1】 ③名寄せなし

④野沢文三郎 豊竹兼太夫 富沢里かう 竹本志津太夫 永中（長唄） 富沢林蔵 鳥
羽屋正佐 豊竹新太夫 清三郎（三味線） 喜世竹八十五郎（三味線） 幸十郎（人形
遣） 豊竹折太夫 野沢紋三郎 豊竹荻太夫 都八重太夫 梅沢里八（三味線） 竹本
妻太夫 十寸見蘭洲

※『福濫雀』

60:宝暦14・春 1764

①鱗形屋 ②天理【細151-1】／阪大【F16】 ③名寄せなし

④野沢文三郎 豊竹兼太夫 富沢里かう 竹本志津太夫 永中（長唄） 富沢林蔵 鳥
羽屋正佐 豊竹新太夫 清三郎（三味線） 喜世竹八十五郎（三味線） 幸十郎（人形
遣） 豊竹折太夫 野沢紋三郎 豊竹荻太夫 都八重太夫 梅沢里八（三味線） 竹本
妻太夫 十寸見蘭洲

※『富士の袖』

61:明和3・春 1766

①鱗形屋 ②天理【細153-1】／阪大【F9】 ③名寄せなし

④野沢文三郎 豊竹兼太夫 富沢里かう 竹本志津太夫 永中（長唄） 富沢林蔵 鳥
羽屋正佐 豊竹新太夫 清三郎（三味線） 喜世竹八十五郎（三味線） 幸十郎（人形
遣） 豊竹折太夫 野沢紋三郎 豊竹荻太夫 都八重太夫 十寸見東洲 十寸見東佐
竹本妻太夫 十寸見蘭洲

※『唄安ウ来門』

62:明和3・秋／明和4・春頃（年表） 1766／1767

①鱗形屋（年表） ②天理【細159-1】 ③名寄せなし

④野沢文三郎 豊竹兼太夫 富沢里かう 竹本志津太夫 永中（長唄） 富沢林蔵 鳥
羽屋正佐 豊竹新太夫 清三郎（三味線） 喜世竹八十五郎（三味線） 幸十郎（人形
遣） 豊竹折太夫 野沢紋三郎 豊竹荻太夫 都八重太夫 梅沢里八（三味線） 十寸
見東洲 十寸見東佐

63:明和4・春 1767

①鱗形屋 ②天理【細 154-1】／阪大【F10】 ③名寄せなし

④野沢文三郎 豊竹兼太夫 富沢里かう 竹本志津太夫 永中（長唄） 富沢林蔵 鳥羽屋正佐 豊竹新太夫 清三郎（三味線） 喜世竹八十五郎（三味線） 幸十郎（人形遣） 野沢紋三郎 都慶中 十寸見東洲 十寸見東佐 十寸見蘭洲

※『真木柱』

64:明和4・秋（序） 1767

①鱗形屋 ②東誌【0792-19】 ③名寄せなし

④野沢文三郎 永中（長唄） 富沢林蔵 鳥羽屋正佐 豊竹新太夫 宮崎文右衛門 清三郎（三味線） 清竹（三味線） 都慶中 十寸見東洲 十寸見東佐 十寸見蘭洲

※『初紅葉』

65:明和5・春 1768

①鱗形屋 ②岩瀬【15-イ 34】／加賀【加 393】 ③名寄せなし

④野沢文三郎 富沢里かう 永中（長唄） 鳥羽屋正佐 清三郎（三味線） 喜世竹八十五郎（三味線） 幸十郎（人形遣） 野沢紋三郎 都慶中 十寸見東洲 十寸見東佐 十寸見蘭洲

※『美名の川』

66:明和6・春（序） 1769

①鱗形屋 ②東特【和 1601】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東洲 十寸見東佐 山彦新九郎 豊竹志津太夫 竹本浜太夫 竹本妻太夫 豊竹新太夫 竹本岩太夫 竹本荻太夫 豊竹名尾太夫 野沢紋三郎 野沢喜七 富沢文次郎 富沢藤五郎 野沢次郎吉 喜世竹八十五郎（三味線） 富沢林蔵 野沢平吉 鳥羽屋正佐 弥市（長唄） 鳥羽屋善蔵 荻江藤兵衛（長唄）

※『遊女あはせ』

67:明和6・秋（序） 1769

①鱗形屋 ②東誌【0792-68】／都立中央【T-384-3013-2】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東洲 十寸見東佐 山彦新九郎 豊竹志津太夫 竹本浜太夫 竹本妻太夫 豊竹新太夫 豊竹岩太夫 竹本荻太夫 豊竹名尾太夫 野沢紋三郎 野沢喜七 富沢文次郎 富沢藤五郎 野沢次郎吉 喜世竹八十五郎（三味線） 富沢林蔵 野沢平吉 鳥羽屋正佐 弥市（長唄） 鳥羽屋善蔵 荻江藤兵衛（長唄）

※『登まり婦寝』

※名寄せ以外に、豊竹七太夫、都八重太夫、都半中（2箇所）、中島忠八、中島新介、嵐定七、市川忠蔵、常磐津吟太夫、正伝陸奥太夫、平次（三味線）の名あり。

68:明和7・春 1770

①鱗形屋 ②天理【細 157-2】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 山彦新九郎 半次郎（三味線） 豊竹志津太夫 竹本浜太夫 竹本妻太夫 竹本新太夫 豊竹名尾太夫 野沢文三郎 野沢喜七 鳥羽屋正佐 弥市（長唄） 鳥羽屋善蔵 藤兵衛（長唄） 中島忠八 中島定八 市川忠蔵 春（声色） 正伝陸奥太夫 平二（三味線） 森竹幸十郎（人形遣） 豊屋宗右衛門 白兔 富士蔵 富次郎（長唄）

⑤惣芸者世話役 都八重太夫、竹本岩太夫、野沢次郎吉

69:明和7・春 1770

①小泉忠五郎 ②天理【細 157-1】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 山彦新九郎 山彦半次郎 竹本妻太夫 竹本浜太夫 豊竹名尾太夫 豊竹志津太夫 豊竹民太夫 豊竹歳太夫 野沢文三郎 野沢平吉 野沢喜七 富沢藤五郎 岡村文吉 春富士陸奥太夫 春富士平次 鳥羽屋正佐 荻江藤兵衛 村松野瓶 鳥羽屋弁蔵 鳥羽屋善蔵 嵐定七 嵐新介 市川忠蔵 中島忠八 狐嶋白兔 狐嶋富士蔵 森竹幸十郎 男女川富次郎 豊屋宗右衛門

⑤世話役行司 都八重太夫、竹本岩太夫、野沢次郎吉

70:明和7・秋（序） 1770

①小泉忠五郎 ②都立中央【T-384-3013-3】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 半次郎 竹本妻太夫 竹本浜太夫 竹本名尾太夫 豊竹志津太夫 豊竹民太夫 豊竹歳太夫 野沢文三郎 野沢平吉 野沢喜七 富沢藤五郎 岡村文吉 春富士陸奥太夫 春富士平次 鳥羽屋正佐 荻江藤兵衛 村松野瓶 鳥羽屋弁蔵 鳥羽屋善蔵 嵐定七 嵐新介 市川忠蔵 中島忠八 狐嶋白兔 狐嶋富士蔵 森竹幸十郎 男女川富次郎 豊屋宗右衛門

⑤惣芸者世話役 都八重太夫、竹本岩太夫、野沢次郎吉

※『目明千人』

71:明和7・8月（序） 1770

①鱗形屋 ②加賀【加 384】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 半次郎（三味線） 豊竹志津太夫 豊竹名尾太夫 野沢文三郎 野沢喜七 竹本浜太夫 豊竹織太夫 野沢平吉 富沢藤五郎 鳥羽屋正佐 鳥羽屋弁蔵 鳥羽屋太郎 鳥羽屋岩松 都千国 藤兵衛（長唄） 野平（長唄） 豊屋宗右衛門 忠八（声色） 定八（声色） 忠蔵（声色） 正伝陸奥太夫 平次（三味線） 森竹幸十郎（人形遣） 白兔（人形遣） 富沢林蔵 豊竹里太夫 ■■

忠 富沢■次郎 喜太郎（声色） 五町（声色） 富沢半五郎 春富士哥陸 喜太郎
（長唄）

⑤世話役行司 都八重太夫、竹本岩太夫、野沢次郎吉、岡村文吉

72:明和8・春（序） 1771

①鱗形屋 ②都立中央【T-384-3013-4】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 半次郎（三味線） 豊竹志津太夫 豊竹名尾太夫 野沢文三郎 野沢喜七 竹本浜太夫 豊竹織太夫 野沢平吉 富沢藤五郎 鳥羽屋弁蔵 鳥羽屋太十郎 鳥羽屋岩松 都千国 藤兵衛（長唄） 野平（長唄） 豊屋宗右衛門 男女川正三 富次（三味線） 忠八（声色） 守蔵（声色） 正伝陸奥太夫 平次（三味線） 森竹幸十郎（人形遣） 白兔 富沢林蔵 豊竹里太夫 喜太郎（声色） 富沢半五郎

⑤世話役行司 都八重太夫、竹本岩太夫、野沢次郎吉、岡村文吉

※『黒仕立』

73:明和8・春 1771

①小泉忠五郎 ②岩瀬【15-イ 36】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 半次郎（三味線） 豊竹歳太夫 竹本浜太夫 豊竹志津太夫 竹本名尾太夫 豊竹里太夫 野沢文三郎 野沢平吉 野沢喜七 富沢藤五郎 富沢半五郎 富沢林蔵 森竹幸十郎 春富士陸奥太夫 富沢平次 荻江藤兵衛 村松野瓶 野川正三 鳥羽屋弁蔵 鳥羽屋太十郎 梅沢岩松 男女川富次郎 都千国 豊屋宗右衛門 ■国半次郎 市川忠蔵 中島忠八 芳沢新助 狐嶋白兔 狐嶋喜太郎 大谷五町 市川定七

⑤惣芸者世話役 都八重太夫、竹本岩太夫、野沢次郎吉、岡村文吉

74:安永2・春（序） 1773

①鱗形屋 ②都立中央【T-384-3016-2】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 半次郎（三味線） 豊竹志津太夫 豊竹名尾太夫 喜七 竹本浜太夫 野沢平吉 富沢藤五郎 鳥羽屋弁蔵 鳥羽屋太十郎 鳥羽屋岩松 都千国 藤兵衛（長唄） 豊屋宗右衛門 幸十郎（人形遣） 忠八（声色） 忠蔵（声色） 正伝陸奥太夫 平七（三味線） 豊竹里太夫 喜太郎（声色） 五町（声色） 富沢半五郎 宇八（声色） 富士田仁三郎 富次郎（長唄）

⑤世話役行司 都八重太夫、竹本岩太夫

※『寿黛色』

75:安永2・秋 1773

①鱗形屋 ②都立中央【T-384-3016-3】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 半次郎（三味線） 豊竹志津太夫 野沢平吉
鳥羽屋弁蔵 都千国 藤兵衛（長唄） 幸十郎（人形遣） 富沢半五郎 宇八（声色）
富次郎（長唄） 竹本万里 富沢東五郎 新介 小兵衛 綾太夫（藺八節） 小三郎
（三味線） 和国太夫（藺八節） 友蔵（三味線） 庄十郎（半太夫節） 東喜（箏）
要太夫（義太夫） 栄次郎（三味線） 慶吉（義太夫節） 又市（声色） 正伝陸奥太
夫 平次（三味線） 松蔵（三味線）

⑤芸者世話役 都八重太夫、竹本岩太夫、野沢次郎吉、行事 岡村文吉

※『這娼觀玉盤』

76:安永3・春 1774

①鱗形屋 ②都立中央【T-384-3016-4】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 半次郎（三味線） 春富士陸奥太夫 豊沢平
次 森竹幸十郎 坂東宇八 芳沢新助 野沢平吉 男女川富次郎 都千国 荻江藤兵衛
満太夫万里 鶴沢藤五郎 富沢半五郎 春富士哥陸 鳥羽屋松蔵 宮藺綾太夫 豊沢小
三郎 岩井又市 豊竹菊太夫 野沢栄次郎 江戸章十郎 浪花津和国太夫 豊竹佐賀太
夫 竹沢半四郎 宮橋洞岡

⑤芸者世話 都八重太夫、竹本岩太夫、野沢次郎吉、岡村文吉

※『嗚呼御江戸』

77:安永3・春 1774

①小泉忠五郎 ②岩瀬【153-41】／加賀【加 419】／都立中央【T-384-3016-5】 ③名
寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 半次郎（三味線） 春富士陸奥太夫 豊沢平
次 森竹幸十郎（人形遣） 坂東宇八 芳沢新助 野沢平吉 男女川富次郎 都千国
荻江藤兵衛 満太夫万里 鶴沢東五郎 富沢半五郎 春富士哥陸 鳥羽屋松蔵 宮藺綾
太夫 豊沢小三郎 岩井又市 豊竹菊太郎 野沢栄次郎 江戸章十郎 浪花津和国太夫
豊竹佐賀太夫 竹沢半四郎

⑤惣芸者世話役 都八重太夫、竹本岩太夫、野沢次郎吉、岡村文吉

※『松のしらべ』

78:安永3・秋（序） 1774

①鱗形屋 ②加賀【加 422】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 半次郎（三味線） 江戸亭三郎 章十郎（三
味線） 春富士陸奥太夫 春富士哥陸 満太夫万里 都千国 宮藺喜代太夫 浪花津和
国太夫 豊竹菊太夫 豊竹八代太夫 豊竹五十太夫 森竹幸十郎 豊竹平治 芳沢新助

坂東宇八 岩井又市 山下清次郎 豊沢里公 竹沢半四郎 豊沢小三郎 野沢平吉 野
沢栄次郎 長唄平吉 鳥羽屋松蔵 男女川富治 野沢繁八 富沢伊三郎 宮橋洞鬼

⑤芸者世話行司 都八重太夫、竹本岩太夫、野沢次郎吉、岡村文吉

※『百夜章』

79:安永4・春(序) 1775

①鱗形屋 ②都立中央【T-384-3016-6】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 十寸見東示 半次郎(三味線) 春富士陸奥
太夫 春富士哥陸 平次(三味線) 満太夫万里 都千国 坂東宇八 芳沢新助 豊竹
菊太夫 豊竹五十太夫 野沢平吉 野沢栄次郎 江戸章十郎 江戸享三郎 森竹幸十郎
竹沢半四郎 鳥羽屋松蔵 長唄平吉 豊沢里公 岩井又市 山下清次郎 男女川富次郎
浪花津和国太夫 豊沢小三郎 宮蘭源氏 芳沢嘉吉 男女川豊次

世話役 都八重太夫、竹本岩太夫、野沢次郎吉、岡村文吉

※『花の源』

80:安永4・秋 1775

①小泉忠五郎 ②国会【851-103】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 十寸見東示 山彦半次郎 春富士陸奥太夫
春富士哥陸 豊沢平次 大和屋宇八 男女川富次郎 森竹幸十郎 富沢里かう 鳥羽屋
松蔵 都千国 野沢平吉 芳沢新助 竹本万里 野沢弥八 浪花津和国太夫 豊沢小次
郎 豊竹菊太夫 竹沢半四郎 江戸章十郎 岩井又市 宮蘭源氏 豊竹五十太夫 野沢
栄次郎 中村清次 男女川豊次 浅田東七

⑤芸者世話行司 都八重太夫、竹本岩太夫、野沢次郎吉

81:安永4・秋 1775

①蔦屋重三郎 ②岩瀬【119-119】／都立中央【T-384-3016-7】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 十寸見東示 半次郎(三味線) 春富士陸奥
太夫 春富士哥陸 竹本万里 都千国 江戸章十郎 豊竹菊太夫 豊竹五十太夫 野沢
栄次郎 坂東宇八 男女川富次郎 鳥羽屋松蔵 山下清次郎 岩井又市 宮蘭源氏太夫
豊沢小三郎 浪花津和国太夫 男女川豊次

⑤芸者世話役 都八重太夫、竹本岩太夫、野沢次郎吉

※『籬の花』

82:安永5・春(序) 1776

①鱗形屋 ②岩瀬【124-17】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 十寸見東示 半次郎(三味線) 春富士陸奥

太夫 春富士哥陸 山彦平次 満太夫万里 都千国 坂東宇八 芳沢新助 豊竹菊太夫
豊竹五十太夫 野沢平吉 野沢栄次郎 江戸章十郎 江戸享三郎 森竹幸十郎 竹沢半
四郎 鳥羽屋松蔵 長唄平吉 豊沢里公 岩井又市 山下清次郎 男女川富次郎 浪花
津和国太夫 豊沢小三郎 宮藺源氏 芳沢嘉吉 男女川豊次

⑤世話人 都八重太夫、竹本岩太夫、野沢次郎吉

※『婦多美賀多』

83:安永5・春 1776

①鱗形屋 ②天理【細 164-2】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 十寸見東示 半次郎（三味線） 春富士陸奥
太夫 春富士哥陸 山彦平次 満太夫万里 都千国 坂東宇八 芳沢新助 豊竹菊太夫
豊竹五十太夫 野沢平吉 野沢栄次郎 江戸章十郎 江戸享三郎 森竹幸十郎 竹沢半
四郎 鳥羽屋松蔵 長唄平吉 豊沢里公 岩井又市 山下清次郎 男女川富次郎 浪花
津和国太夫 豊沢小三郎 宮藺源氏 芳沢嘉吉 男女川豊次

⑤世話人 都八重太夫、竹本岩太夫、野沢次郎吉

84:安永5・春（序） 1776

①蔦屋重三郎 ②都立中央【T-384-3016-8】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 十寸見東示 半次郎（三味線） 春富士陸奥
太夫 春富士哥陸 竹本万里 都千国 江戸章十郎 豊竹五十太夫 野沢栄次郎 坂東
宇八 男女川富次郎 鳥羽屋松蔵 山下清次郎 岩井又市 宮藺源氏太夫 浪花津和国
太夫 男女川豊次

⑤芸者世話役 竹本岩太夫、野沢次郎吉、豊沢平次

※『名華選』

85:安永5・秋 1776

①鱗形屋 ②都立中央【T-384-3016-9】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 十寸見東示 半次郎（三味線） 春富士陸奥
太夫 春富士哥陸 山彦平次 満太夫万里 都千国 坂東宇八 芳沢新助 豊竹菊太夫
豊竹五十太夫 野沢平吉 野沢栄次郎 江戸章十郎 江戸享三郎 森竹幸十郎 竹沢半
四郎 鳥羽屋松蔵 長唄平吉 豊沢里公 岩井又市 山下清次郎 男女川富次郎 浪花
津和国太夫 豊沢小三郎 宮藺源氏 芳沢嘉吉 男女川豊次

⑤世話人 都八重太夫、竹本岩太夫、野沢次郎吉

※『嫦娥農色児』、複製

86:安永5・秋 1776

①葛屋重三郎 ②岩瀬【5-24】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 十寸見東示 山彦半次郎 春富士出太夫 春富士哥陸 大和屋宇八 男女川富次郎 鳥羽屋松蔵 江戸章十郎 浪花津和国太夫 豊竹五十太夫 野沢栄次郎 中村清次 宮園七 岩井又市 竹本万里 増田半二郎 西嶋仁三郎 瀧川平吉 竹本小■太夫 都千国 常磐津栴太夫 佐々木豊次郎

⑤芸者世話役 竹本岩太夫、野沢次郎吉、豊沢平次

※『家満人言葉』

87:安永6・春 1777

①鱗形屋 ②天理【細 165-1】／明治【384.91-8-H】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 十寸見東示 山彦半次郎 春富士陸奥太夫 男女川富次郎 鳥羽屋松蔵 庄十郎 和国太夫 栄次郎 洞岡 五十太夫 清次 源氏太夫 又市 半次郎 仁三郎 平吉 都千国 佐々木栄次郎 峯八 岡安京次郎

⑤世話人行司 竹本岩太夫、野沢次郎吉、平次

※『比翼鳥』

88:安永6・秋 1777

①葛屋重三郎 ②都立中央【T-384-3016-10】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 十寸見東示 山彦半次郎 都千国 春富士出太夫 浅住々佳陸 江戸章十郎 浪花津和佐八 豊沢小三郎 豊竹乙女太夫 野沢栄次郎 常磐津栴太夫 佐々木豊次郎 荻江藤兵衛 鳥羽屋松蔵 瀧川平吉 岡安幸次郎 西嶋仁三郎 増田半二郎 大坂屋五町 大薩摩目吉 宮園七

⑤芸者世話役 竹本岩太夫、野沢次郎吉、豊沢平次

※『三津の根色』

89:安永7・春 1778

①鱗形屋 ②都立中央【T-384-3016-11】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 十寸見東示 山彦半次郎 春富士陸奥太夫 男女川富次郎 鳥羽屋松蔵 庄十郎 和国太夫 栄次郎 洞岡 五十太夫 清次 源氏太夫 又市 半次郎 仁三郎 平吉 都千国 佐々木栄次郎 峯八 岡安京次郎

⑤世話人行司 竹本岩太夫、野沢次郎吉、平次

※『可来宵』

90:安永7・春 1778

①葛屋重三郎 ②岩瀬【101-74】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 十寸見蘭示 山彦半次郎 春富士出太夫 浅

住々佳陸 江戸章十郎 浪花津和佐八 豊沢小三郎 豊竹乙女太夫 野沢栄次郎 佐々木豊次郎 荻江藤兵衛 鳥羽屋松蔵 瀧川平吉 岡安幸次郎 西嶋仁三郎 増田半二郎 大坂屋五町 大薩摩目吉 宮園七 長唄仙四郎 竹万里 竹本湊太夫 富本■■■

⑤芸者世話役 竹本岩太夫、野沢次郎吉、豊沢平次

※『人来鳥』

91:安永7・秋 1778

①鱗形屋 ②都立中央【T-384-3016-12】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 十寸見東示 三弦半次 春富士陸奥太夫 春富士哥陸 山彦平次 満太夫万里 都千国 坂東宇八 芳沢新助 豊竹菊太夫 豊竹五十太夫 野沢平吉 野沢栄次郎 江戸章十郎 江戸享三郎 森竹幸十郎 竹沢半四郎 鳥羽屋松蔵 長唄平吉 豊沢里公 岩井又市 山下清次郎 男女川富次郎 浪花津和国太夫 豊沢小三郎 宮園源氏 芳沢嘉吉 男女川豊次

⑤世話人 都八重太夫、竹本岩太夫、野沢次郎吉

※『艶婦娜娛傘』

92:安永7・秋 1778

①蔦屋重三郎 ②天理【細 166-4】 ③名寄せあり

④十寸見蘭示 十寸見東佐 十寸見東洲 山彦 春富士陸奥太夫 浅住々佳陸 西嶋仁三郎 鳥羽屋松蔵 瀧川平吉 野沢栄次郎 宮園源氏太夫 佐々木豊次郎 大坂屋五町 竹本万里 大薩摩目吉 豊竹乙女太夫 竹沢半四郎 増田半二郎 岡安文吉 岡安源次郎

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、蔦屋次郎吉、竹沢平次

※『金鏡の調』

93:安永8・春 1779

①鱗形屋(年表) ②天理【細 167-1】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 十寸見東示 山彦半次郎 春富士陸奥太夫 男女川富次郎 鳥羽屋松蔵 庄十郎 和国太夫 栄次郎 洞岡 五十太夫 清次 源氏太夫 又市 半次郎 仁三郎 平吉 都千国 佐々木栄次郎 峯八 岡安京次郎 五町

⑤世話人行司 豊竹岩太夫、野沢次郎吉、平次

※『常陸帯』

94:安永8・春 1779

①蔦屋重三郎 ②都立中央【T-384-3016-13】／明治【384.91-10-H】 ③名寄せあり

④十寸見蘭示 十寸見東佐 十寸見東洲 山彦 春富士陸奥太夫 浅住々佳陸 西嶋仁

三郎 鳥羽屋松蔵 瀧川平吉 野沢栄次郎 宮藺源氏太夫 佐々木豊次郎 大坂屋五町
竹本万里 大薩摩目吉 豊竹乙女太夫 竹沢半四郎 増田半二郎 岡安文吉 岡安源次郎

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、葛屋次郎吉、竹沢平次

※『扇の的』

95:安永8・秋 1779

①鱗形屋 ②天理【細167-2】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 十寸見東示 山彦半次郎 春富士陸奥太夫
男女川富次郎 鳥羽屋松蔵 万里 和国太夫 栄次郎 洞岡 五十太夫 清次 源氏太夫
又市 半次郎 仁三郎 平吉 佐々木栄次郎 峯八 岡安京次郎 五町

⑤世話人行司 豊竹岩太夫、野沢次郎吉、平次

※『金農町』

96:安永8・秋 1779

①葛屋重三郎 ②国会【852-91】／都立中央【T-384-3016-14】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 山彦半次郎 春富士陸奥太夫 吾妻路宮古太夫
西嶋仁三郎 竹本万里 市川其東 鳥羽屋松蔵 長次郎 瀧川平吉 鳥羽屋太郎
岡安文吉 五町 大薩摩目吉 野沢栄次郎

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、葛屋次郎吉、竹沢平次

※『秋の夕栄』

97:安永9・春 1780

①葛屋重三郎 ②天理【細168-1】／東急【103-16-20-1】 ③名寄せあり

③十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 山彦半次郎 春富士陸奥太夫 吾妻路宮古太夫
西嶋仁三郎 竹本万里 市川其東 鳥羽屋松蔵 長次郎 今春平吉 鳥羽屋太郎
岡安文吉 五町 大薩摩目吉 野沢栄次郎 竹本寿楽 安五郎

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、葛屋次郎吉、竹沢平次

※『五街の松』

98:安永9・春 1780

①葛屋重三郎 ②都立中央【T-384-3016-15】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見東佐 十寸見東洲 十寸見蘭示 山彦半次郎 春富士陸奥太夫
吾妻路宮古太夫 竹本万里 野沢栄次郎 西嶋仁三郎 大谷五町 大薩摩目吉 松本其東
市川長次郎 中村安五郎 荻江藤兵衛 瀧川平吉 鳥羽屋松蔵 鳥羽屋弥十郎 岡安文吉 竹伊勢寿楽

⑤世話役 竹本岩太夫、野沢次郎吉、竹沢平次

99:安永 9・秋 1780

①蔦屋重三郎 ②天理【細 168-2】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見蘭示 十寸見東洲 山彦半次郎 山彦東次郎 吾妻路宮古太夫
春富士陸奥太夫 竹伊勢寿楽 竹本長門太夫万里 野沢栄次郎 荻江藤兵衛 荻江藤吉
鳥羽屋太十郎 鳥羽屋松蔵 富本安和太夫 鳥羽屋豊二 大坂屋五町 西嶋仁三郎 大
薩摩目吉 今春平吉 三為 松本其東 市川長次郎 手妻亀丈 豊次 常盤木同

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、蔦屋次郎吉、竹沢平吉

※『勝良影』

100:安永 10・春 1781

①小泉忠五郎 ②国会【851-102】 ③名寄せあり

④吾妻路宮古太夫 十寸見蘭示 十寸見東洲 山彦半次郎 山彦東次郎 春富士陸奥太
夫 富本安和太夫 鳥羽屋豊二 野沢栄次郎 梅太夫 豊名太夫 豊次郎 荻江藤兵衛
鳥羽屋松蔵 林露 鳥羽屋太十郎 大坂屋五町 市川長次郎 今春平吉 竹本万里 松
本其東 大薩摩目吉 手妻亀丈

⑤惣芸者世話役 蔦屋次郎吉、竹沢平次

※『五葉の松』

101:安永 10・春 1781

①蔦屋重三郎(年表) ②天理【細 170-1】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見蘭示 十寸見東洲 山彦半次郎 山彦東次郎 吾妻路宮古太夫
春富士陸奥太夫 竹伊勢寿楽 竹本長門太夫万里 野沢栄次郎 荻江藤兵衛 荻江林露
鳥羽屋太十郎 鳥羽屋松蔵 富本安和太夫 豊次 大坂屋五町 大薩摩目吉 今春平吉
三為 松本其東 市川長次郎 手妻亀丈 常盤木同 富本豊名太夫 鳥羽屋豊二 竹本
梅太夫

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、蔦屋次郎吉、竹沢平次

※『身通始』

102:天明 2・春 1782

①小泉忠五郎 ②天理【細 171-1】 ③名寄せあり

④吾妻路宮古太夫 十寸見蘭示 十寸見東洲 山彦半次郎 山彦東次郎 春富士陸奥太
夫 富本安和太夫 鳥羽屋富二 野沢栄次郎 梅太夫 富名太夫 富次郎 荻江藤兵衛
鳥羽屋松蔵 林露 鳥羽屋太十郎 大坂屋五町 市川長次郎 今春平吉 竹本万里 松
本其東 大薩摩目吉 手妻亀丈

⑤惣芸者世話役 蔦屋次郎吉、竹沢平次

103:天明2・春 1782

①蔦屋重三郎 ②天理【細171-2】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見蘭示 十寸見東洲 山彦半次郎 富本安和太夫 鳥羽屋里桂 竹寿楽 吾妻路宮古太夫 春富士陸奥太夫 荻江藤兵衛 荻江藤治 荻江松蔵 鳥羽屋太十郎 竹本梅太夫 野沢栄次郎 鳥羽屋喜四郎 大坂屋五町 大薩摩目吉 今春平吉 三為 松本其東 市川長次郎 三味子利八 大谷嘉吉 竹本長門太夫 山彦藤治 富本登喜太夫 宮古路園七

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、蔦屋次郎吉、竹沢平次

104:天明2・秋 1782

①蔦屋重三郎 ②岩瀬【119-4】／東誌【0791-67】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見蘭示 十寸見東洲 山彦半次郎 山彦藤治 富本安和太夫 鳥羽屋里桂 竹寿楽 吾妻路宮古太夫 春富士陸奥太夫 荻江藤兵衛 荻江藤治 荻江松蔵 鳥羽屋太十郎 長門万里 野沢栄次郎 鳥羽屋喜四郎 大坂屋五町 大薩摩目吉 三為 松本其東 市川長次郎 三味子利八 大谷嘉吉 富本登喜太夫 宮古路園七 竹本桐太夫 今春平吉

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、竹沢平次

※『饒の貢』

105:天明3・春 1783

①蔦屋重三郎 ②国会【851-110】／東急【103-16-21-1】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見蘭示 十寸見東洲 山彦半次郎 山彦藤治 安和太夫 鳥羽屋里桂 竹寿楽 吾妻路宮古太夫 春富士陸奥太夫 荻江藤兵衛 荻江藤治 荻江松蔵 鳥羽屋太十郎 長門万里 野沢栄次郎 鳥羽屋喜四郎 大坂屋五町 大薩摩目吉 三為 松本其東 市川長次郎 三味子利八 大谷嘉吉 富本登喜太夫 宮古路園七 竹本桐太夫 今春平吉 千調 藤蔵 文三郎

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、竹沢平次

※『五葉松』

106:天明3・秋 1783

①蔦屋重三郎 ②東急【103-16-22-1】／都立中央【3849-45-3】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見蘭示 十寸見東洲 山彦半次郎 山彦藤治 安和太夫 鳥羽屋里桂 竹寿楽 吾妻路宮古太夫 春富士陸奥太夫 荻江藤兵衛 荻江藤治 松蔵 鳥羽屋太十郎 長門万里 野沢栄次郎 鳥羽屋喜四郎 大坂屋五町 大薩摩目吉 三為 松本

其東 市川長次郎 三味子利八 嘉吉 宮古路園七 竹本桐太夫 今春平吉 富本豊喜太夫 富本豊志太夫 名見崎徳治 荻江藤三郎 荻江藤蔵 荻江文三郎

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、竹沢平次

※『五葉松』

107:天明4・2月 1784

①蔦屋重三郎 ②都立中央【3849-45-4】／明治【384.9-39-H】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見蘭示 十寸見東洲 山彦半次郎 山彦藤治 吾妻路宮古太夫 春富士陸奥太夫 富本豊喜太夫 常磐津安和太夫 常磐津大和太夫 富本加賀路太夫 名見崎徳治 鳥羽屋里桂 名見崎兵助 名見崎市太郎 名見崎八五郎 荻江藤兵衛 荻江藤治 荻江松蔵 荻江藤三郎 荻江藤蔵 荻江文三郎 竹本力太夫 長門万里 野沢栄次郎 大坂屋五町 大薩摩目吉 大薩摩其東 市川長次郎 三味子利八 今春平吉 福舛屋嘉吉

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、野沢平次

※『五葉松』

108:天明4・秋 1784

①蔦屋重三郎 ②東特【和1400】／都立中央【3849-45-5】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見蘭示 十寸見東洲 山彦半次郎 山彦藤治 吾妻路宮古太夫 春富士陸奥太夫 富本豊喜太夫 富本安和太夫 富本加賀路太夫 富本筑波太夫 常磐津大和太夫 名見崎徳治 鳥羽屋里桂 名見崎兵助 名見崎市太郎 名見崎八五郎 名見崎万蔵 荻江藤兵衛 荻江藤治 荻江藤三郎 荻江藤蔵 荻江文三郎 岡安幸次郎 竹本力太夫 長門万里 野沢栄次郎 大坂屋五町 大坂屋其東 三味子利八 今春平吉 福舛屋嘉吉 竹本小紋太夫

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、野沢平吉

※『五手舩』

109:天明5・春 1785

①蔦屋重三郎 ②岩瀬【101-61】／関西【L23-300-77】／筑波【ヤ610-401】／東急【103-16-23-1】／都立中央【3849-45-6】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見蘭示 十寸見東洲 山彦半次郎 山彦藤治 吾妻路宮古太夫 春富士陸奥太夫 富本豊喜太夫 富本安和太夫 富本加賀路太夫 富本筑波太夫 常磐津大和太夫 名見崎徳治 鳥羽屋里桂 名見崎兵助 名見崎市太郎 名見崎八五郎 名見崎万蔵 荻江藤兵衛 荻江藤治 荻江藤三郎 荻江藤蔵 荻江文三郎 岡安幸次郎 竹本力太夫 長門万里 野沢栄次郎 大坂屋五町 大坂屋其東 三味子利八 今春平吉 福舛屋嘉吉 竹本小紋太夫

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、野沢平吉

110:天明5・春 1785

①蔦屋重三郎 ②明治【384.9-40-H】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見蘭示 十寸見東洲 山彦半次郎 山彦藤治 吾妻路宮古太夫 春富士陸奥太夫 富本豊喜太夫 富本安和太夫 富本加賀路太夫 富本筑波太夫 常磐津大和太夫 名見崎徳治 鳥羽屋里桂 名見崎兵助 名見崎市太郎 名見崎八五郎 名見崎万蔵 荻江藤兵衛 荻江藤治 荻江藤蔵 荻江文三郎 岡安幸次郎 竹本万里 野沢栄次郎 大坂屋五町 大坂屋其東 三味子利八

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、野沢平吉

111:天明6・春 1786

①蔦屋重三郎 ②都立中央【3849-45-7】／明治【384.9-41-H】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見蘭示 十寸見東支 山彦半次郎 吾妻路宮古太夫 大坂屋五町 野沢栄次郎 長門万里 今春平吉 荻江藤兵衛 荻江松蔵 松本其東 福舛屋嘉吉 富本安和太夫 鳥羽屋兵助 荻江藤治 荻江藤吉 荻江藤蔵 三味子利八 荻江文三郎 鳥羽屋市太 荻江伊三郎 岡安幸次郎 荻江源蔵 松島莊次郎 岡安恭李 南部屋嘉十 岡安恭助

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、野沢平次、都半卜

112:天明6・秋 1786

①蔦屋重三郎カ(奥付なし) ②都立中央【3849-45-8】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見蘭示 十寸見東支 山彦半次郎 吾妻路宮古太夫 大坂屋五町 野沢栄次郎 長門万里 今春平吉 荻江藤兵衛 荻江藤吉 荻江藤治 荻江松蔵 富本安和太夫 富本加賀太夫 鳥羽屋兵助 其東 福舛屋嘉吉 荻江藤蔵 荻江文三郎 荻江伊三郎 荻江源蔵 荻江恭賀 荻江恭助 荻江源次 三味子利八 松島莊次郎 南部屋嘉十 岡安幸次郎 堤重次郎 宮蘭是太夫 竹本咲太夫 沢村磯八 藤井弥太郎 藤井菊次

④惣芸者世話役 竹本岩太夫、野沢平次、都半卜

113:天明7・春(序) 1787

①蔦屋重三郎 ②岩瀬【119-112】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見蘭示 十寸見東支 山彦半次郎 吾妻路宮古太夫 大坂屋五町 野沢栄次郎 長門万里 今春平吉 荻江藤兵衛 荻江藤吉 荻江藤治 荻江松蔵 富本安和太夫 富本加賀太夫 鳥羽屋兵助 其東 福舛屋嘉吉 荻江藤蔵 荻江文三郎 荻江伊三郎 荻江源蔵 荻江恭賀 荻江恭助 荻江源次 三味子利八 松島莊次郎 南部

屋嘉十 岡安幸次郎 堤重次郎 宮藺是太夫 竹本咲太夫 沢村磯八 藤井弥太郎 藤井菊次

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、野沢平次、都半卜

114:天明7・秋(序) 1787

①蔦屋重三郎 ②都立中央【3849-45-9】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見蘭示 十寸見東支 山彦半次郎 山彦文次郎 山彦文四郎 大坂屋五町 野沢栄次郎 荻江藤兵衛 荻江松蔵 今春平吉 荻江藤吉 荻江藤治 荻江藤蔵 荻江文三郎 富本安和太夫 鳥羽屋兵助 富本加賀太夫 名見崎徳治 名見崎八五郎 松本其東 三味子利八 福舛屋嘉吉 岡安幸次郎 荻江源蔵 名見崎市太郎 荻江源次 荻江恭助 竹本咲太夫 宮藺是太夫 鳥羽屋十次郎 常磐津政太夫 沢村磯八 荻江恭吉 荻江万蔵 竹本十三太夫 鶴沢三作 荻江恭蔵 坂田吉蔵 富本嶋太夫 荻江忠次郎 荻江露泉

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、野沢平次、都半卜

115:天明8・8月 1788

①蔦屋重三郎 ②東急【103-16-24-1】／都立中央【3849-45-10】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 十寸見蘭示 十寸見東支 山彦半次郎 山彦文次郎 山彦文四郎 大坂屋五町 野沢栄次郎 荻江藤兵衛 荻江松蔵 今春平吉 荻江藤吉 荻江藤治 荻江藤蔵 荻江文三郎 富本安和太夫 鳥羽屋兵助 富本加賀太夫 名見崎徳治 名見崎八五郎 松本其東 三味子利八 福舛屋嘉吉 岡安幸次郎 荻江源蔵 名見崎市太郎 荻江源次 荻江恭助 竹本咲太夫 宮藺是太夫 鳥羽屋十次郎 常磐津政太夫 沢村磯八 荻江恭吉 荻江万蔵 竹本十三太夫 鶴沢三作 荻江恭蔵 坂田吉蔵 富本嶋太夫 荻江忠次郎 荻江露泉

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、野沢平次、都半卜

116:寛政2・秋 1790

①蔦屋重三郎 ②東急【103-16-25-1】 ③名寄せあり

④十寸見蘭示 十寸見東支 吾妻路宮古太夫 山彦文次郎 山彦文四郎 大坂屋五町 荻江松蔵 荻江藤吉 野沢栄次郎 富本安和太夫 松本其東 福舛屋嘉吉 三味子利八 南部屋嘉十 荻江恭助 常磐津政太夫 坂田吉蔵 荻江忠次郎 其三味富八 松永小十郎 坂田彦兵衛 荻江藤四郎 荻江恭蔵 荻江恭賀 嶋一徳 鳥羽屋甚三郎 中村安五郎 鶴賀柵太夫 菊沢八十七 荻江源次 荻江栄次 宮藺園七 岸沢金弥 富本美名太夫 名見崎安治 竹本初太夫 荻江徳蔵 宮藺小園太夫

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、荻江藤治、鳥羽屋兵助

117:寛政3・春(序) 1791

- ① 蔦屋重三郎 ② 国会【209-10-228】／天理【細 181-2】 ③ 名寄せあり
④ 十寸見蘭示 十寸見東支 吾妻路宮古太夫 山彦文次郎 山彦文四郎 大坂屋五町
荻江松蔵 荻江藤吉 荻江藤蔵 野沢栄次郎 富本安和太夫 松本其東 福舛屋嘉吉
三味子利八 南部屋嘉十 荻江恭助 坂田吉蔵 荻江忠次郎 其三味富八 松永小十郎
坂田彦兵衛 荻江藤四郎 荻江恭蔵 嶋一徳 鳥羽屋甚三郎 中村安五郎 鶴賀栴太夫
菊沢八十七 荻江源次 宮蘭園七 岸沢金弥 常磐津出雲太夫 名見崎安治 竹本初太
夫 荻江徳蔵 高本斉橘
⑤ 惣芸者世話役 竹本岩太夫、荻江藤治、鳥羽屋兵助

118:寛政4・春(序絵) 1792

- ① 蔦屋重三郎 ② 天理【細 182-1】／東急【103-16-26-1】 ③ 名寄せあり
④ 十寸見蘭示 吾妻路宮古太夫 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江松蔵 荻江藤吉 荻江
藤蔵 野沢栄次郎 富本安和太夫 三味子利八 荻江恭助 坂田吉蔵 荻江忠次郎 坂
田彦兵衛 荻江藤四郎 荻江恭蔵 嶋一徳 中村安五郎 鶴賀栴太夫 菊沢八十七 荻
江源次 常磐津出雲太夫 名見崎安治 竹本初太夫 荻江徳蔵 荻江藤蔵 荻江吉四郎
荻江藤十郎 荻江源蔵 竹本荻太夫 竹本千佐登太夫 鶴沢蟻八 都嘉六
⑤ 惣芸者世話役 竹本岩太夫、荻江藤治、鳥羽屋兵助

119:寛政5・春(序) 1793

- ① 蔦屋重三郎 ② 天理【細 183-1】／明治【384.9-42-H】 ③ 名寄せあり
④ 十寸見蘭洲 都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江松蔵 荻江藤吉 荻江藤治
荻江藤蔵 三味子利八 富本安和太夫 荻江藤兵衛 荻江恭蔵 荻江恭助 岡安源治
坂田吉蔵 荻江徳蔵 鶴賀栴太夫 菊沢八十七 常磐津出雲太夫 岸沢勝治郎 荻江藤
八 荻江吉四郎 坂田彦兵衛 中村安五郎 荻江藤十郎 竹本志喜太夫 都嘉六 富本
宮太夫 名見崎安治 吉田友蔵
⑤ 惣芸者世話役 竹本岩太夫、富本兵助、野沢栄次郎

120:寛政6・春 1794

- ① 蔦屋重三郎 ② 江博【98200146】／阪大【F38】 ③ 名寄せあり
④ 十寸見蘭洲 都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江藤蔵 三味子利
八 富本安和太夫 荻江藤兵衛 荻江恭蔵 荻江恭助 岡安源治 坂田吉蔵 荻江徳蔵
鶴賀栴太夫 菊沢八十七 常磐津出雲太夫 岸沢勝治郎 荻江藤八 荻江吉四郎 坂田
彦兵衛 中村安五郎 荻江藤十郎 竹本志喜太夫 都嘉六 富本宮太夫 名見崎安治
岡安喜三郎 荻江源蔵 十寸見東支 富本秀太夫 鳥羽屋里長 富本志名太夫 名見崎
市十郎 竹本元太夫 野沢彦五郎 常磐津清太夫 富本富士太夫

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、富本兵助、野沢栄次郎

121:寛政7・春(序) 1795

①蔦屋重三郎 ②天理【細 185-1】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 富本安和太夫 三味子利八 荻江伝吉 荻江与市 坂田吉蔵 坂田彦兵衛 荻江藤兵衛 鶴賀榊太夫 菊沢八十七 岡安源治 常磐津出雲太夫 名見崎安治 荻江徳蔵 荻江藤八 荻江吉四郎 荻江藤十郎 荻江源蔵 岸沢勝治郎 岡安喜三郎 富本秀太夫 富本志名太夫 竹本元太夫 十寸見蘭示 喜代太夫 富本富士太夫 富本十五郎 嵐長治 魚明太夫 七平 西川専蔵 竹本久米太夫 鶴沢喜一

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、富本兵助、野沢栄次郎

122:寛政7(年表)・秋(序) 1795

①蔦屋重三郎 ②岩瀬【119-3】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 富本安和太夫 三味子利八 荻江伝吉 荻江与市 坂田吉蔵 坂田彦兵衛 荻江藤兵衛 鶴賀榊太夫 菊沢八十七 岡安源治 常磐津出雲太夫 名見崎安治 荻江徳蔵 荻江藤八 荻江藤十郎 富本秀太夫 富本志名太夫 竹本元太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 岸沢重五郎 喜名瀬長治 魚明太夫 田子七平 竹本久米太夫 鶴沢喜一 常磐津綾蔵 荻江折八 鶴賀若狭太夫 常磐津常盤太夫 岡安伝次郎 荻江半次郎 富本時太夫 名見崎市太郎 常磐津小野太夫 宮蘭是太夫

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、富本兵助、野沢栄次郎

123:寛政8・春 1796

①蔦屋重三郎 ②岩瀬【101-65】／江博【89003218】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 三味子利八 荻江伝吉 荻江与市 坂田吉蔵 坂田彦兵衛 荻江藤兵衛 鶴賀榊太夫 菊沢八十七 岡安源治 常磐津出雲太夫 名見崎安治 荻江徳蔵 荻江藤八 荻江藤十郎 富本秀太夫 富本志名太夫 竹本元太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 岸沢重五郎 喜名瀬長治 魚明太夫 田子七平 竹本久米太夫 鶴沢喜一 常磐津綾蔵 荻江栄蔵 常磐津常盤太夫 荻江半次郎 富本豊喜太夫 名見崎市太郎 常磐津小野太夫 岩次郎 安七 竹本狩の太夫

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、富本兵助、野沢栄次郎

124:寛政8・春 1796

①蔦屋重三郎 ②東急【103-16-27-1】／阪大【F36】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 富本安和太夫 三味子利八 荻江伝吉 荻江与市 坂田吉蔵 坂田彦兵衛 荻江藤兵衛 鶴賀榊太夫 菊沢八十七 岡安源治 常磐津出雲太夫 名見崎安治 荻江徳蔵 荻江藤八 荻江藤十郎 富本秀太夫 富本志名太夫 竹本元太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 岸沢重五郎 喜名瀬長治 魚明太夫 田子七平 竹本久米太夫 鶴沢喜一 常磐津綾蔵 荻江折八 鶴賀若狭太夫 常磐津常盤太夫 岡安伝次郎 荻江半次郎 富本時太夫 名見崎市太郎 常磐津小野太夫 宮菌是太夫

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、富本兵助、野沢栄次郎

125:寛政8・8月 1796

①蔦屋重三郎 ②天理【細 186-2】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江藤治 荻江松蔵 富本安和太夫 三味子利八 荻江伝吉 荻江与市 坂田吉蔵 坂田彦兵衛 荻江藤兵衛 鶴賀榊太夫 菊沢八十七 岡安源治 常磐津出雲太夫 名見崎安治 荻江徳蔵 荻江藤八 荻江藤十郎 富本秀太夫 富本志名太夫 竹本元太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 岸沢重五郎 魚明太夫 喜名瀬長治 田子七平 竹本久米太夫 鶴沢喜一 常磐津綾蔵 荻江栄蔵 常磐津常盤太夫 荻江半次郎 富本豊喜太夫 名見崎市太郎 常磐津小野太夫 岩次郎 安七 竹本狩の太夫 富本市蔵

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、富本兵助、野沢栄次郎

126:寛政9・春 1797

①蔦屋重三郎 ②江博【89210694】／東急【106-16-28-1】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江藤治 荻江松蔵 富本安和太夫 三味子利八 荻江伝吉 荻江与市 坂田吉蔵 坂田彦兵衛 荻江藤兵衛 鶴賀榊太夫 菊沢八十七 岡安源治 常磐津出雲太夫 名見崎安治 荻江徳蔵 荻江藤八 荻江藤十郎 富本秀太夫 富本志名太夫 竹本元太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 魚明太夫 喜名瀬長治 田子七平 竹本久米太夫 鶴沢喜一 常磐津芳蔵 荻江栄蔵 常磐津常盤太夫 荻江半次郎 富本豊喜太夫 岩次郎 桃里安七 竹本狩の太夫 富本市蔵

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、富本兵助、野沢栄次郎

127:寛政9・秋 1797

①蔦屋重三郎 ②岩瀬【119-196】／東急【103-16-29-1】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江藤治 荻江松蔵 富本安和太夫 三味子利八 荻江伝吉 荻江与市 坂田彦兵衛 荻江藤兵衛 鶴賀榊太夫 菊沢八十七 岡安源治 常磐津出雲太夫 名見崎安治 荻江徳蔵 荻江藤八 荻江

藤十郎 富本秀太夫 富本志名太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 岸沢重五郎 喜名瀬長治 田子七平 鶴沢惣助 常磐津芳蔵 荻江栄蔵 荻江半次郎 常磐津加賀太夫 常磐津小野太夫 岩次郎 桃里安七 富本市蔵 岡安幸次郎 喜三郎 荻江甚四郎 坂東金蔵 常磐津和吉 竹本定太夫 竹本瀧太夫

⑤惣芸者世話役 竹本岩太夫、富本兵助、野沢栄次郎

128:寛政10・春 1798

①蔦屋重三郎 ②東急【103-16-30-1】 ③名寄せあり

④十寸見蘭洲 都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江藤治 荻江松蔵 富本安和太夫 三保崎兵助 三味子利八 荻江伝吉 坂田彦兵衛 荻江藤兵衛 鶴賀柵太夫 菊沢八十七 常磐津出雲太夫 名見崎安治 荻江徳蔵 荻江藤十郎 富本秀太夫 富本志名太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 喜名瀬長治 田子七平 鶴沢惣助 常磐津芳蔵 荻江栄蔵 荻江半次郎 常磐津加賀太夫 岩次郎 桃里安七 富本市蔵 岡安幸次郎 荻江甚四郎 坂東金蔵 竹本定太夫 竹本瀧太夫 常磐津久太夫

⑤世話役 竹本岩太夫、野沢栄次郎、鶴沢惣助

129:寛政10・秋 1798

①蔦屋重三郎 ②東急【103-16-31-1】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 富本安和太夫 三保崎兵助 三味子利八 坂田彦兵衛 荻江藤兵衛 鶴賀柵太夫 菊沢八十七 常磐津出雲太夫 名見崎安治 荻江徳蔵 荻江藤十郎 富本秀太夫 富本志名太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 田子七平 常磐津芳蔵 荻江栄蔵 荻江半次郎 常磐津加賀太夫 岩次郎 富本市蔵 岡安幸次郎 荻江甚四郎 坂東金蔵 竹本定太夫 竹本瀧太夫 三保崎吉五郎 野沢富吉 富本妻太夫 名見崎喜惣治 富本嶋太夫 錦屋平治 野沢繁治 鳥羽屋里長

⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

130:寛政11・春 1799

①蔦屋重三郎 ②江博【88202898】／東急【103-17-1-1】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 富本安和太夫 三保崎兵助 三味子利八 坂田彦兵衛 荻江藤兵衛 常磐津出雲太夫 名見崎安治郎 荻江徳蔵 荻江藤十郎 富本秀太夫 富本志名太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 田子七平 常磐津綾蔵 荻江栄蔵 荻江半次郎 常磐津加賀太夫 岩次郎 岡安幸次郎 荻江甚四郎 坂東金蔵 竹本定太夫 竹本瀧太夫 常磐津久太夫 三保崎吉五郎 野沢富吉 富本妻太夫 名見崎喜惣治 富本嶋太夫 錦屋平治 野沢繁治 鳥羽屋里長 富本宮太夫 嘉六 常磐津民太夫 荻江藤七

⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

131:寛政 11・秋 1799

①蔦屋重三郎 ②岩瀬【27-58】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 富本安和太夫 三保崎兵助 三味子利八 坂田彦兵衛 荻江藤兵衛 常磐津出雲太夫 名見崎安治郎 荻江徳蔵 荻江藤十郎 富本秀太夫 富本志名太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 荻江佐之助 田子七平 常磐津綾蔵 荻江栄蔵 荻江半次郎 吾妻加賀太夫 岡安幸次郎 荻江甚四郎 坂東金蔵 竹本定太夫 竹本瀧太夫 常磐津久太夫 三保崎吉五郎 野沢富吉 富本妻太夫 名見崎喜惣治 富本嶋太夫 錦屋惣八 野沢繁治 鳥羽屋里長 富本宮太夫 荻江藤七 季芋 野沢長次郎 竹本信太夫

⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

132:寛政 12・秋 1800

①蔦屋重三郎 ②岩瀬【103-113】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 富本安和太夫 三保崎兵助 三味子利八 坂田彦兵衛 荻江藤兵衛 常磐津出雲太夫 名見崎安治郎 荻江徳蔵 荻江藤十郎 富本秀太夫 富本志名太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 荻江佐之助 田子七平 常磐津綾蔵 荻江栄蔵 荻江半次郎 吾妻加賀太夫 岡安幸次郎 荻江甚四郎 坂東金蔵 竹本定太夫 竹本瀧太夫 常磐津久太夫 三保崎吉五郎 富本妻太夫 富本嶋太夫 錦屋惣八 野沢繁治 鳥羽屋里長 嘉六 荻江藤七 野沢長次郎 竹本信太夫 富本美和太夫 荻江安蔵 鳥羽屋里夕 中村国蔵

⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

133:寛政 12・12月 1800

①蔦屋重三郎 ②阪大【F34】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 富本安和太夫 三保崎兵助 三味子利八 坂田彦兵衛 荻江藤兵衛 常磐津出雲太夫 名見崎安治郎 荻江徳蔵 荻江藤十郎 富本秀太夫 富本志名太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 荻江佐之助 田子七平 常磐津綾蔵 荻江栄蔵 荻江半次郎 吾妻加賀太夫 岡安幸次郎 荻江甚四郎 坂東金蔵 竹本定太夫 竹本瀧太夫 常磐津久太夫 三保崎吉五郎 富本妻太夫 富本嶋太夫 錦屋惣八 野沢繁治 鳥羽屋里長 嘉六 荻江藤七 野沢長次郎 竹本信太夫 富本美和太夫 荻江安蔵 鳥羽屋里夕 中村国蔵

⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

134:寛政 12 1800

①蔦屋重三郎 ②東急【103-17-2-1】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 富本安和太夫 三保崎兵助 三味子利八 坂田彦兵衛 荻江藤兵衛 常磐津出雲太夫 名見崎安治郎 荻江徳蔵 荻江藤十郎 富本秀太夫 富本志名太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 荻江佐之助 田子七平 常磐津綾蔵 荻江栄蔵 荻江半次郎 吾妻加賀太夫 岡安幸次郎 荻江甚四郎 坂東金蔵 竹本定太夫 竹本瀧太夫 常磐津久太夫 三保崎吉五郎 富本妻太夫 富本嶋太夫 錦屋惣八 野沢繁治 鳥羽屋里長 嘉六 荻江藤七 野沢長次郎 竹本信太夫 富本美和太夫 荻江安蔵 鳥羽屋里夕 中村国蔵

⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

135:寛政13・春 1801

①蔦屋重三郎 ②岩瀬【1-42】／東急【103-17-3-1】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 三保崎兵助 三味子利八 荻江藤兵衛 常磐津出雲太夫 名見崎安治 荻江徳蔵 荻江藤十郎 富本秀太夫 富本志名太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 荻江佐之助 田子七平 常磐津綾蔵 荻江栄蔵 荻江半次郎 常磐津加賀太夫 岡安幸次郎 竹本定太夫 竹本瀧太夫 常磐津久太夫 三保崎吉五郎 富本妻太夫 富本嶋太夫 錦屋惣八 野沢繁治 鳥羽屋里長 野沢長次郎 竹本信太夫 野沢仲七 野沢伊佐吉

⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

136:享和元・秋 1801

①蔦屋重三郎 ②岩瀬【1-41】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 富本安和太夫 三保崎兵助 三味子利八 常磐津出雲太夫 名見崎安治 荻江徳蔵 荻江藤十郎 富本秀太夫 富本志名太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 荻江佐之助 田子七平 荻江栄蔵 荻江半次郎 吾妻加賀太夫 岡安幸次郎 竹本定太夫 竹本瀧太夫 富本妻太夫 富本嶋太夫 錦屋惣八 鳥羽屋里長 野沢長次郎 竹本信太夫 野沢伊佐吉

⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

137:享和2・秋 1802

①蔦屋重三郎 ②東急【103-17-5-1】／東誌【0792-70】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 富本安和太夫 三保崎兵助 三味子利八 荻江伝吉 常磐津造酒太夫 名見崎安治郎 荻江徳蔵 荻江藤十郎 富本志名太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 荻江佐之助 田子七平 荻江栄蔵 荻江半次郎 吾妻加賀太夫 岡安幸次郎 竹本定太夫 野沢富吉 富本妻太夫 富本嶋太夫 錦屋惣八 鳥羽屋里長 野沢長次郎 竹本信太夫 野沢伊佐吉 都吉蔵

荻江藤四郎 名見崎市十郎 名見崎友次郎 富士亀徳

⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

138: 享和 2 1802

①不明（奥付なし） ②東急【103-17-4-1】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 富本安和太夫 三保崎兵助 三味子利八 常磐津出雲太夫 名見崎安治 荻江徳蔵 荻江藤十郎 富本志名太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 荻江佐之助 田子七平 荻江栄蔵 荻江半次郎 吾妻加賀太夫 岡安幸次郎 竹本定太夫 竹本瀧太夫 富本妻太夫 富本嶋太夫 錦屋惣八 鳥羽屋里長 野沢長次郎 竹本信太夫 野沢伊佐吉 都吉蔵 荻江藤四郎 名見崎市十郎

⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

139: 享和 3・春 1803

①蔦屋重三郎 ②天理【細 194-1】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 富本安和太夫 三保崎兵助 三味子利八 荻江伝吉 常磐津造酒太夫 名見崎安治郎 荻江徳蔵 荻江藤十郎 富本志名太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 荻江佐之助 田子七平 荻江栄蔵 荻江半次郎 吾妻加賀太夫 岡安幸次郎 竹本定太夫 野沢富吉 富本妻太夫 富本嶋太夫 錦屋惣八 鳥羽屋里長 野沢長次郎 竹本信太夫 野沢伊佐吉 荻江藤四郎 名見崎友次郎 富士亀徳 都吉蔵 荻江伝治 富本春太夫

⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

140: 享和 3・2月 1803

①蔦屋重三郎 ②東急【103-17-6-1】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 三味子利八 常磐津造酒太夫 名見崎安治郎 荻江徳蔵 荻江藤十郎 富本志名太夫 十寸見蘭示 富本富士太夫 荻江佐之助 田子七平 荻江栄蔵 荻江半次郎 吾妻加賀太夫 岡安幸次郎 竹本定太夫 野沢富吉 富本妻太夫 富本嶋太夫 錦屋惣八 野沢長次郎 竹本信太夫 野沢伊佐吉 都嘉六 荻江藤四郎 竹本嶋太夫 名見崎友次郎 富士亀徳 都栄中 荻江伝治 富本春太夫

⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

141: 享和 3・秋 1803

①蔦屋重三郎 ②東誌【0792-71】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 三味子利八

常磐津造酒太夫 名見崎安治郎 荻江徳藏 荻江藤十郎 富本志名太夫 十寸見蘭示
都千仲 荻江佐之助 田子七平 荻江折八 荻江半次郎 吾妻加賀太夫 岡安幸次郎
竹本定太夫 野沢富吉 富本妻太夫 富本豊志太夫 錦屋惣八 野沢長次郎 竹本信太
夫 野沢伊佐吉 都嘉六 荻江藤四郎 名見崎友次郎 富士亀徳 都栄中 富本春太夫
竹本巻太夫 荻江忠次郎

⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

142:享和4・春 1804

①蔦屋重三郎 ②東急【103-17-7-1】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 三味子利八
常磐津造酒太夫 名見崎安治郎 荻江徳藏 荻江藤十郎 富本志名太夫 十寸見蘭示
都千仲 荻江佐之助 田子七平 荻江折八 荻江半次郎 吾妻加賀太夫 岡安幸次郎
竹本定太夫 野沢富吉 富本妻太夫 富本豊志太夫 錦屋惣八 野沢長次郎 竹本信太
夫 野沢伊佐吉 都嘉六 荻江藤四郎 名見崎友次郎 富士亀徳 都栄中 富本春太夫
竹本秀太夫 荻江忠次郎 竹本嶋太夫

⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

143:文化元・秋 1804

①蔦屋重三郎 ②東誌【0792-4】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 三味子利八
常磐津造酒太夫 名見崎安治郎 荻江徳藏 荻江藤十郎 富本志名太夫 十寸見蘭示
都千仲 荻江佐之助 田子七平 荻江折八 荻江半次郎 吾妻加賀太夫 岡安幸次郎
竹本定太夫 富本妻太夫 富本豊志太夫 錦屋惣八 野沢長次郎 竹本信太夫 野沢伊
佐吉 都嘉六 荻江藤四郎 名見崎友次郎 富士亀徳 都栄中 富本春太夫 竹本秀太
夫 荻江忠次郎 竹本嶋太夫 松本源次郎 荻江喜十 富本伊勢太夫

⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

144:文化2・春 1805

①蔦屋重三郎 ②東急【103-17-8-1】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 三味子利八
常磐津造酒太夫 名見崎安治郎 荻江徳藏 荻江藤十郎 富本志名太夫 十寸見蘭示
都千仲 荻江佐之助 田子七平 荻江折八 荻江半次郎 吾妻加賀太夫 岡安幸次郎
竹本定太夫 富本妻太夫 富本豊志太夫 錦屋惣八 野沢長次郎 都嘉六 荻江藤四郎
名見崎友次郎 富士亀徳 都栄中 竹本秀太夫 荻江忠次郎 竹本嶋太夫 松本源次郎
荻江喜十 富本伊勢太夫

⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

145:文化2・秋 1805

①蔦屋重三郎 ②江博【89204833】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 三味子利八
常磐津造酒太夫 名見崎安治郎 荻江藤十郎 富本志名太夫 十寸見蘭示 富本富士太
夫 荻江佐之助 田子七平 荻江折八 荻江半次郎 吾妻加賀太夫 岡安幸次郎 竹本
定太夫 富本妻太夫 富本豊志太夫 錦屋惣八 野沢長次郎 都嘉六 荻江藤四郎 名
見崎友次郎 富士亀徳 都栄中 竹本秀太夫 荻江忠次郎 竹本嶋太夫 松本源次郎
荻江喜十 富本伊勢太夫 中村金平 千登万助 石井不夕
世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

146:文化3・春 1806

①蔦屋重三郎 ②岩瀬【8-20】／国会【209-10-228】／東急【103-17-9-1】 ③名寄せ
あり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 三味子利八
常磐津造酒太夫 名見崎安治郎 荻江藤十郎 富本志名太夫 荻江佐之助 田子七平
荻江折八 荻江半次郎 吾妻加賀太夫 岡安幸次郎 竹本定太夫 富本妻太夫 富本豊
志太夫 錦屋惣八 野沢長次郎 都嘉六 荻江藤四郎 名見崎友次郎 富士亀徳 都栄
中 富本春太夫 竹本秀太夫 荻江忠次郎 竹本嶋太夫 松本源次郎 荻江喜十 富本
伊勢太夫 中村金平 千登万助 石井不夕 荻江鉄次郎 荻江亀次
⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

147:文化3・秋 1806

①蔦屋重三郎 ②東誌【0792-72】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦文次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 三味子利八
常磐津造酒太夫 名見崎安治郎 荻江藤十郎 富本志名太夫 荻江佐之助 田子七平
荻江折八 荻江半次郎 吾妻加賀太夫 岡安幸次郎 竹本定太夫 富本妻太夫 富本豊
志太夫 錦屋惣八 野沢長次郎 都嘉六 荻江藤四郎 名見崎友次郎 富士亀徳 都栄
中 荻江忠次郎 竹本嶋太夫 松本源次郎 荻江喜十 富本伊勢太夫 中村金平 千登
万助 石井不夕 荻江鉄次郎 荻江亀次 富本和泉太夫 三保崎久次 名見崎藤三郎
⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

148:文化5・春 1808

①蔦屋重三郎 ②東急【103-17-10-1】 ③名寄せあり

④都太夫一中 山彦新次郎 山彦文四郎 荻江藤吉 荻江松蔵 荻江藤治 常磐津造酒
太夫 名見崎安治郎 荻江藤十郎 富本志名太夫 荻江佐之助 田子七平 荻江半次郎

吾妻加賀太夫 岡安幸次郎 竹本定太夫 富本妻太夫 富本豊志太夫 錦屋惣八 名見
崎由蔵 名見崎友次郎 富士亀徳 都栄中 竹本嶋太夫 松本源次郎 荻江喜十 富本
伊勢太夫 中村金平 千登万助 石井不夕 荻江鉄次郎 荻江亀次 富本和泉太夫 三
保崎久次 名見崎藤三郎 荻江太吉 十寸見栄示 山彦文次郎 野沢富吉
⑤世話役 野沢栄次郎、鶴沢惣助、荻江伝吉

149:文化5・秋 1808

①蔦屋重三郎 ②江博【84200052】／東特【和1649】 ③名寄せあり
④田子七平 荻江半次郎 荻江喜十 都桃中 大坂屋五町 荻江亀次 荻江太吉 野沢
半次 十寸見河洲 富本湊太夫 富本喜和太夫 宮崎友次 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎
荻江佐吉 富本豊美太夫 竹本嶋太夫 常磐津尾登太夫 常磐津瀧太夫 岸沢三五郎
常磐津明石太夫 中村久蔵 岸沢治助 富本綱太夫 常磐津鈴廉太夫 衣笠扇蔵
⑤世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

150:文化6・秋 1809

①蔦屋重三郎 ②東特【0792-74】 ③名寄せあり
④都太夫一中 山彦新次郎 山彦文四郎 荻江松蔵 荻江藤治 荻江伝吉 常磐津造酒
太夫 名見崎徳治 荻江藤十郎 富本志名太夫 荻江佐之助 田子七平 荻江半次郎
岡安幸次郎 竹本定太夫 富本妻太夫 富本豊志太夫 錦屋惣八 名見崎由蔵 名見崎
友次郎 都栄中 竹本嶋太夫 松本源次郎 荻江喜十 富本伊勢太夫 中村金平 富士
亀徳 千登万助 石井不夕 荻江鉄次郎 荻江亀次 富本安和太夫 三保崎久次 名見
崎藤三郎 住吉太吉 十寸見蘭示 山彦文次郎 多知花介次郎 都弁中 竹沢吾三郎
野沢半次 荻江栄次 富本豊和太夫 十寸見河洲 荻江金次郎
⑤世話役 鶴沢惣助、荻江伝吉

151:文化7・春 1810

①蔦屋重三郎 ②岩瀬【119-229】／東誌【0792-5】 ③名寄せあり
④都太夫一中 山彦新次郎 山彦文四郎 荻江松蔵 荻江藤治 常磐津造酒太夫 名見
崎徳治 荻江藤十郎 富本志名太夫 荻江佐之助 田子七平 荻江半次郎 竹本定太夫
富本妻太夫 富本豊志太夫 錦屋惣八 名見崎由蔵 名見崎友次郎 富士亀徳 都栄中
竹本嶋太夫 松本源次郎 荻江喜十 富本伊勢太夫 中村金平 千登万助 荻江鉄次郎
荻江亀次 富本安和太夫 三保崎久次 名見崎藤三郎 住吉太吉 十寸見蘭示 山彦文
次郎 多知花介次郎 都弁中 野沢専次 荻江栄次 富本豊和太夫 十寸見河洲 荻江
金次郎 三保崎兵介 鶴沢富次郎 荻江喜市 竹沢吾三郎
⑤世話役 鶴沢惣助、荻江伝吉

152:文化7・秋 1810

- ① 蔦屋重三郎 ② 岩瀬【27-54】 ③ 名寄せあり
④ 都太夫一中 山彦新次郎 山彦文四郎 荻江松蔵 荻江藤治 常磐津造酒太夫 名見崎徳治 荻江藤十郎 富本志名太夫 荻江佐之助 田子七平 荻江半次郎 竹本定太夫 富本妻太夫 富本豊志太夫 錦屋惣八 名見崎藤四郎 名見崎友次郎 富士亀徳 都栄中 竹本嶋太夫 松本源次郎 荻江喜十 富本伊勢太夫 中村金平 千登万助 荻江鉄次郎 荻江亀次 富本安和太夫 三保崎久次 名見崎藤三郎 荻江太吉 十寸見蘭示 山彦文次郎 多知花介次郎 都弁中 野沢専次 荻江栄次 富本豊和太夫 十寸見河洲 荻江金次郎 鶴沢富次郎 荻江喜市
⑤ 世話役 鶴沢惣助

153:文化8・春 1811

- ① 蔦屋重三郎 ② 東誌【0792-4】 ③ 名寄せあり
④ 都太夫一中 山彦新次郎 山彦文四郎 荻江松蔵 荻江藤治 常磐津造酒太夫 名見崎徳治 荻江藤十郎 荻江佐之助 田子七平 荻江半次郎 竹本定太夫 富本妻太夫 富本豊志太夫 錦屋惣八 名見崎藤四郎 名見崎友次郎 富士亀徳 都栄中 竹本嶋太夫 松本源次郎 荻江喜十 富本伊勢太夫 中村金平 千登万助 荻江鉄次郎 荻江亀次 富本安和太夫 三保崎久次 名見崎藤三郎 住吉太吉 十寸見蘭示 山彦文次郎 多知花介次郎 都弁中 野沢専次 荻江栄次 富本豊和太夫 十寸見河洲 荻江金次郎 鶴沢富次郎 荻江喜市
⑤ 世話役 鶴沢惣助

154:文化8・秋 1811

- ① 蔦屋重三郎 ② 東急【103-17-11-1】 ③ 名寄せあり
④ 都太夫一中 山彦新次郎 山彦文四郎 荻江松蔵 荻江藤治 常磐津造酒太夫 名見崎徳治 荻江藤十郎 荻江佐之助 田子七平 荻江半次郎 竹本定太夫 富本妻太夫 富本豊志太夫 錦屋惣八 名見崎藤四郎 名見崎友次郎 富士亀徳 都栄中 竹本嶋太夫 松本源次郎 荻江喜十 富本伊勢太夫 中村金平 千登万助 荻江鉄次郎 荻江亀次 富本安和太夫 三保崎久次 名見崎藤三郎 住吉太吉 十寸見蘭示 山彦文次郎 多知花介次郎 都弁中 野沢専次 荻江栄次 富本豊和太夫 十寸見河洲 荻江金次郎 鶴沢富次郎 荻江喜市 竹本久米太夫
⑤ 世話役 鶴沢惣助

155:文化9・春 1812

- ① 蔦屋重三郎 ② 東急【103-17-12-1】 ③ 名寄せあり
④ 都太夫一中 山彦新次郎 山彦文四郎 荻江松蔵 常磐津造酒太夫 名見崎徳治 荻

江佐之助 田子七平 荻江半次郎 竹本定太夫 富本妻太夫 錦屋惣八 名見崎藤四郎
名見崎友次郎 寿老亀徳 都栄中 竹本嶋太夫 松本源次郎 荻江喜十 富本伊勢太夫
中村金平 千登万助 荻江才蔵 荻江亀次 富本安和太夫 三保崎久次 名見崎藤三郎
荻江太吉 十寸見蘭示 山彦文次郎 多知花介次郎 野沢専次 富本豊和太夫 十寸見
河洲 荻江金次郎 鶴沢富次郎 荻江喜市 竹本久米太夫 荻江藤五郎 岡安吉五郎
⑤世話役 鶴沢惣助

156:文化9・秋 1812

①蔦屋重三郎 ②東誌【0792-73】 ③名寄せあり
④都太夫一中 山彦新次郎 山彦文四郎 荻江松蔵 常磐津造酒太夫 名見崎徳治 荻
江佐之助 田子七平 荻江半次郎 竹本定太夫 富本妻太夫 錦屋惣八 名見崎藤四郎
名見崎友次郎 寿老亀徳 都栄中 竹本嶋太夫 松本源次郎 荻江喜十 富本伊勢太夫
中村金平 千登万助 荻江才蔵 荻江亀次 富本安和太夫 三保崎久次 名見崎藤三郎
荻江太吉 十寸見蘭示 山彦文次郎 多知花介次郎 野沢専次 富本豊和太夫 十寸見
河洲 荻江金次郎 鶴沢富次郎 荻江喜市 竹本久米太夫 荻江藤五郎 荻江五助 岡
安文露
⑤世話役 鶴沢惣助

157:文化11・春 1814

①蔦屋重三郎 ②東急【103-17-13-1】／東誌【0792-22】 ③名寄せあり
④都太夫一中 荻江松蔵 常磐津造酒太夫 荻江佐之助 田子七平 荻江半次郎 竹本
定太夫 錦屋惣八 名見崎藤四郎 名見崎友次郎 都栄中 竹本嶋太夫 松本源次郎
荻江喜十 富本伊勢太夫 千登万助 大坂屋五町 荻江亀次 三保崎久次 荻江太吉
十寸見蘭示 山彦文次郎 野沢専次 十寸見河洲 鶴沢富次郎 荻江喜市 荻江藤五郎
荻江五助 富本豊和太夫 富本湊太夫
⑤世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

158:文化11・秋 1814

①蔦屋重三郎 ②東急【103-17-14-1】／東特【和1648】 ③名寄せあり
④都太夫一中 荻江松蔵 常磐津造酒太夫 荻江佐之助 田子七平 荻江半次郎 錦屋
惣八 名見崎藤四郎 名見崎友次郎 都栄中 竹本嶋太夫 松本源次郎 荻江喜十 富
本伊勢太夫 千登万助 大坂屋五町 荻江亀次 三保崎久次 荻江太吉 十寸見蘭示
山彦文次郎 野沢専次 十寸見河洲 鶴沢富次郎 荻江喜市 荻江藤五郎 荻江五助
富本登和太夫 富本湊太夫
⑤世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

159:文化 12・春 1815

① 蔦屋重三郎 ② 東急【103-17-15-1】 ③ 名寄せあり

④ 都太夫一中 荻江松蔵 常磐津造酒太夫 荻江佐之助 田子七平 荻江半次郎 錦屋惣八 名見崎藤四郎 宮崎忠五郎 都栄中 竹本嶋太夫 松本源次郎 荻江喜十 富本伊勢太夫 千登万助 大坂屋五町 荻江亀次 三保崎久次 荻江太吉 十寸見蘭示 山彦文次郎 野沢専次 十寸見河洲 鶴沢富次郎 荻江喜市 荻江藤五郎 荻江五助 富本登和太夫 富本湊太夫 富本安和太夫 常磐津綱太夫 岸沢式佐 富本喜和太夫 竹本喜久太夫

⑤ 世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

160:文化 13・秋 1816

① 蔦屋重三郎 ② 天理【細 208-1】／東急【103-17-16-1】 ③ 名寄せあり

④ 都太夫一中 荻江松蔵 常磐津造酒太夫 荻江佐之助 田子七平 荻江半次郎 錦屋惣八 宮崎忠五郎 都栄中 竹本嶋太夫 松本源次郎 荻江喜十 富本伊勢太夫 千登万助 大坂屋五町 荻江亀次 三保崎久次 荻江太吉 十寸見蘭示 山彦文次郎 野沢専次 十寸見河洲 荻江喜市 荻江藤五郎 荻江五助 富本湊太夫 富本安和太夫 常磐津綱太夫 岸沢式佐 富本喜和太夫 竹本遊里太夫 富本政吉 宮崎友次 富本豊志太夫 鳥羽屋清次 松坂八蔵 宮本辰之助 菅野助七 富本豊満太夫 荻江長次

⑤ 世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

※『新吉原仮宅入細見五葉松』

161:文化 14・4月 1817

① 蔦屋重三郎 ② 岩瀬【103-69】／江博【14000898】／東急【103-17-17-1】／東誌【0792-23】 ③ 名寄せあり

④ 都太夫一中 常磐津造酒太夫 荻江佐之助 田子七平 荻江半次郎 錦屋惣八 宮崎忠五郎 都栄中 松本源次郎 荻江喜十 富本伊勢太夫 千登万助 大坂屋五町 荻江亀次 三保崎久次 荻江太吉 十寸見蘭示 山彦文次郎 野沢専次 十寸見河洲 荻江喜市 荻江藤五郎 荻江五助 富本湊太夫 富本安和太夫 岸沢式佐 富本喜和太夫 竹本遊里太夫 富本政吉 宮崎友次 富本豊志太夫 鳥羽屋清次 松坂八蔵 菅野助七 富本豊満太夫 荻江長次 竹本斧太夫 富本安家太夫

⑤ 世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

※『五葉松』

162:文化 15・春 1818

① 蔦屋重三郎 ② 東急【103-17-18-1】 ③ 名寄せあり

④ 都太夫一中 常磐津造酒太夫 荻江佐之助 田子七平 荻江半次郎 錦屋惣八 宮崎

忠五郎 都栄中 松本源次郎 荻江喜十 富本伊勢太夫 千登万助 大坂屋五町 荻江
亀次 三保崎久次 荻江太吉 山彦文次郎 野沢専次 十寸見河洲 荻江喜市 荻江藤
五郎 荻江五助 富本湊太夫 富本喜和太夫 富本政吉 宮崎友次 富本豊志太夫 鳥
羽屋清次 松坂八蔵 富本豊満太夫 荻江長次 富本安家太夫 菅崎栄蔵 常磐津鳴戸
太夫 岸沢式佐

⑤世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

163:文政元・秋 1818

①蔦屋重三郎 ②東急【103-17-19-1】／東特【和 1705】 ③名寄せあり

④都太夫一中 常磐津造酒賀 荻江佐之助 田子七平 荻江半次郎 錦屋惣八 都栄中
松本源次郎 荻江喜十 富本伊勢太夫 千登万助 大坂屋五町 荻江亀次 三保崎久次
荻江太吉 山彦文次郎 野沢専次 十寸見河洲 荻江藤五郎 荻江五助 富本湊太夫
富本喜和太夫 富本政吉 宮崎友次 松坂八蔵 富本豊満太夫 荻江長次 富本安家太
夫 菅崎栄蔵 常磐津鳴戸太夫 岸沢式佐 常磐津出羽太夫 岸沢造酒蔵 山彦新次郎
十寸見東川 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 竹本嶋太夫

⑤世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

164:文政2・秋 1819

①蔦屋重三郎 ②岩瀬【1-43】／東急【103-17-20-1】 ③名寄せあり

④常磐津造酒賀 荻江佐之助 田子七平 荻江半次郎 錦屋惣八 都栄中 松本源次郎
荻江喜十 富本伊勢太夫 千登万助 大坂屋五町 荻江亀次 三保崎久次 荻江太吉
山彦文次郎 野沢専次 十寸見河洲 荻江藤五郎 富本湊太夫 富本喜和太夫 宮崎友
次 荻江長次 菅崎栄蔵 岸沢式佐 常磐津出羽太夫 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江
佐吉 富本豊美太夫 竹本嶋太夫 常磐津安和太夫 常磐津瀧太夫 岸沢仲助 岸沢吉
五郎

⑤世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

165:文政3・春 1820

①蔦屋重三郎 ②東急【103-17-21-1】 ③名寄せあり

④荻江佐之助 田子七平 荻江半次郎 錦屋惣八 都栄中 松本源次郎 荻江喜十 富
本伊勢太夫 千登万助 大坂屋五町 荻江亀次 三保崎久次 荻江太吉 山彦文次郎
野沢専次 十寸見河洲 富本湊太夫 富本喜和太夫 宮崎友次 荻江長次 岸沢式佐
常磐津出羽太夫 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 竹本嶋太夫 岸
沢吉兵衛 常磐津安和太夫 常磐津瀧太夫 岸沢仲助

⑤世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

166:文政3・秋 1820

- ① 蔦屋重三郎 ② 天理【細 213-1】／東急【103-17-22-1】 ③ 名寄せあり
④ 田子七平 荻江半次郎 錦屋惣八 都栄中 松本源次郎 荻江喜十 富本伊勢太夫
千登万助 大坂屋五町 荻江亀次 荻江太吉 山彦文次郎 野沢専次 十寸見河洲 富
本湊太夫 富本喜和太夫 宮崎友次 荻江長次 岸沢式佐 常磐津出羽太夫 岸沢造酒
蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 竹本嶋太夫 常磐津安和太夫 常磐津瀧太
夫 岸沢仲助 岸沢八兵衛 竹本竹太夫
⑤ 世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

167:文政4・春 1821

- ① 蔦屋重三郎 ② 天理【細 214-1】／東急【103-17-23-1】 ③ 名寄せあり
④ 田子七平 荻江半次郎 都栄中 荻江喜十 富本伊勢太夫 千登万助 大坂屋五町
荻江亀次 荻江太吉 山彦文次郎 野沢専次 十寸見河洲 富本湊太夫 富本喜和太夫
宮崎友次 荻江長次 常磐津出羽太夫 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美
太夫 竹本嶋太夫 常磐津安和太夫 常磐津瀧太夫 岸沢八兵衛 竹本竹太夫 岸沢三
五郎
⑤ 世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

168:文政4・秋 1821

- ① 蔦屋重三郎 ② 天理【細 214-2】／東急【103-17-24-1】 ③ 名寄せあり
④ 田子七平 荻江半次郎 都栄中 荻江喜十 富本伊勢太夫 千登万助 大坂屋五町
荻江亀次 荻江太吉 山彦文次郎 野沢専次 十寸見河洲 富本湊太夫 富本喜和太夫
宮崎友次 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 竹本嶋太夫 常磐津安
和太夫 常磐津瀧太夫 岸沢八兵衛 岸沢三五郎 常磐津長門太夫
⑤ 世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

169:文政5・春 1822

- ① 蔦屋重三郎 ② 天理【細 215-1】／東急【103-17-25-1】 ③ 名寄せあり
④ 田子七平 荻江半次郎 荻江喜十 富本伊勢太夫 大坂屋五町 荻江亀次 荻江太吉
山彦文次郎 野沢専次 十寸見河洲 富本湊太夫 富本喜和太夫 宮崎友次 岸沢造酒
蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 竹本嶋太夫 常磐津安和太夫 常磐津瀧太
夫 岸沢三五郎 常磐津長門太夫 中村久蔵
⑤ 世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

170:文政5・秋 1822

- ① 蔦屋重三郎 ② 江博【87200114】 ③ 名寄せあり

- ④田子七平 荻江半次郎 荻江喜十 都桃中 大坂屋五町 荻江亀次 荻江太吉 野沢専次 十寸見河洲 富本湊太夫 富本喜和太夫 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 竹本嶋太夫 常磐津尾登太夫 常磐津瀧太夫 岸沢三五郎 常磐津明石太夫 中村久蔵 岸沢治助 富本綱太夫 常磐津鈴廉太夫 衣笠扇蔵
- ⑤世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

171:文政6・春 1823

- ②蔦屋重三郎 ③岩瀬【1-44】 ③名寄せあり
- ④田子七平 荻江半次郎 荻江喜十 都桃中 大坂屋五町 荻江亀次 山彦文次郎 野沢専次 十寸見河洲 富本湊太夫 宮崎友次 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 竹本嶋太夫 常磐津尾賀太夫 常磐津瀧太夫 岸沢式佐 岸沢三五郎 常磐津明石太夫 中村久蔵 岸沢治助 富本綱太夫 常磐津鈴廉太夫 衣笠扇蔵 鳥羽屋里七 富本増太夫 荻江新次 岸沢仲助 竹本竹太夫
- ⑤世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

172:文政6・春 1823

- ①蔦屋重三郎 ②国会【209-10-228】／東急【103-17-26-1】／東特【和1599】 ③名寄せあり
- ④田子七平 荻江半次郎 荻江喜十 都桃中 大坂屋五町 荻江亀次 荻江太吉 野沢専次 十寸見河洲 富本湊太夫 宮崎友次 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 竹本嶋太夫 常磐津尾賀太夫 常磐津瀧太夫 岸沢三五郎 常磐津明石太夫 中村久蔵 岸沢治助 富本綱太夫 衣笠扇蔵 富本増太夫 荻江新次 岸沢仲助 竹本竹太夫 松本重次
- ⑤世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

173:文政7・春 1824

- ①蔦屋重三郎 ②岩瀬【119-46】／江博【89204834】／東急【103-17-27-1】 ③名寄せあり
- ④田子七平 荻江半次郎 荻江亀次 野沢専次 十寸見河洲 富本湊太夫 宮崎友次 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 竹本嶋太夫 常磐津尾賀太夫 常磐津瀧太夫 岸沢三五郎 常磐津明石太夫 中村久蔵 富本綱太夫 富本増太夫 岸沢仲助 松本重次 常磐津鳴戸太夫
- ⑤世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

174:文政7・6月 1824

- ①蔦屋重三郎 ②東誌【0792-59】 ③名寄せあり

- ④田子七平 荻江半次郎 荻江亀次 野沢専次 十寸見河洲 富本湊太夫 宮崎友次
岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 竹本嶋太夫 常磐津尾賀太夫 常
磐津瀧太夫 岸沢三五郎 常磐津明石太夫 中村久蔵 富本綱太夫 富本増太夫 岸沢
仲助 松本重次 常磐津鳴戸太夫
⑤世話役 鶴屋惣助、長門屋専助
※匡郭外に「申夏改仮宅入」とある

175:文政8・秋 1825

- ①蔦屋重三郎 ②岩瀬【119-198】／国会【851-104】／天理【細 218-1】／東誌
【0794-4】 ③名寄せあり
④田子七平 荻江半次郎 野沢専次 十寸見河洲 富本湊太夫 岸沢造酒蔵 菅野忠次
郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 竹本嶋太夫 常磐津尾賀太夫 常磐津瀧太夫 岸沢三五
郎 常磐津明石太夫 中村久蔵 富本増太夫 岸沢仲助 松本重次 常磐津鳴戸太夫
石井不夕 大坂屋五町 荻江喜十
⑤世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

176:文政9・春 1826

- ①蔦屋重三郎 ②岩瀬【119-228】 ③名寄せあり
④田子七平 野沢専次 十寸見河洲 富本湊太夫 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉
富本豊美太夫 竹本嶋太夫 常磐津尾賀太夫 常磐津瀧太夫 岸沢三五郎 常磐津明石
太夫 中村久蔵 富本増太夫 岸沢式佐 松本重次 石井不夕 大坂屋五町 荻江喜十
富本志名太夫 宮崎安五郎 宮崎宗三 宮崎友次 富本鯉七
⑤世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

177:文政9・秋 1826

- ①蔦屋重三郎 ②天理【細 219-1】 ③名寄せあり
④田子七平 大坂屋五町 野沢専次 十寸見河洲 富本湊太夫 宮崎友次 岸沢造酒蔵
菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津尾賀太夫 常磐津瀧太夫 岸沢三五郎
常磐津明石太夫 中村久蔵 富本増太夫 松本重次 石井不夕 荻江喜十 富本志名太
夫 宮崎安五郎 富本鯉七 宮崎宗三 鳥羽屋里八 竹本嶋太夫 鶴沢駒助 竹本巻太
夫
⑤世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

178:文政10・春 1827

- ①蔦屋重三郎 ②東急【103-17-28-1】／東誌【0792-7】 ③名寄せあり
④田子七平 大坂屋五町 野沢専次 十寸見河洲 富本湊太夫 宮崎友次 岸沢造酒蔵

菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津尾賀太夫 常磐津瀧太夫 岸沢三五郎
常磐津明石太夫 中村久蔵 富本増太夫 石井不夕 荻江喜十 宮崎安五郎 宮崎宗三
富本鯉七 鳥羽屋里八 竹本嶋太夫 鶴沢駒助 竹本卷太夫 荻江亀次 名見崎与作
⑤世話役 鶴屋惣助、長門屋専助

179:文政10・秋 1827

①蔦屋重三郎 ②東急【103-18-1-1】 ③名寄せあり
④田子七平 野沢専次 十寸見河洲 富本湊太夫 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉
富本豊美太夫 竹本嶋太夫 常磐津尾賀太夫 常磐津瀧太夫 岸沢三五郎 常磐津明石
太夫 中村久蔵 富本増太夫 石井不夕 大坂屋五町 宮崎安五郎 宮崎宗三 富本鯉
七 宮崎友次 鳥羽屋里八 鶴沢駒助 荻江亀次 清元徳兵衛 清元鳴尾太夫 都桃中
富本嶋太夫 富本菌生太夫
⑤世話役 鶴屋惣助、大坂屋五町

180:文政10・秋 1827

①蔦屋重三郎 ②東急【103-18-2-1】 ③名寄せあり
④田子七平 野沢専次 十寸見河洲 富本湊太夫 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉
富本豊美太夫 竹本嶋太夫 常磐津尾賀太夫 常磐津瀧太夫 岸沢三五郎 常磐津明石
太夫 中村久蔵 富本増太夫 石井不夕 大坂屋五町 宮崎安五郎 宮崎宗三 富本鯉
七 宮崎友次 鳥羽屋里八 鶴沢駒助 荻江亀次 清元徳兵衛 清元鳴尾太夫 都桃中
⑤世話役 鶴屋惣助、大坂屋五町

181:文政11・春 1828

①蔦屋重三郎 ②岩瀬【119-227】 ③名寄せあり
④田子七平 野沢専次 富本湊太夫 十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉
富本豊美太夫 竹本嶋太夫 常磐津尾賀太夫 常磐津瀧太夫 岸沢三五郎 常磐津明石
太夫 中村久蔵 富本増太夫 石井不夕 大坂屋五町 宮崎忠五郎 宮崎宗三 富本鯉
七 鳥羽屋里八 鶴沢駒助 清元徳兵衛 清元鳴尾太夫 都桃中 富本嶋太夫 富本菌
生太夫 宮崎与三九 荻江藤治
⑤世話役 鶴屋惣助、大坂屋五町

182:文政11・秋 1828

①蔦屋重三郎 ②東急【103-18-3-1】／東誌【0792-8】 ③名寄せあり
④田子七平 野沢八助 十寸見河洲 富本湊太夫 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉
富本豊美太夫 常磐津尾賀太夫 常磐津瀧太夫 岸沢三五郎 常磐津明石太夫 中村久
蔵 富本増太夫 石井不夕 宮崎安五郎 宮崎宗三 富本鯉七 宮崎忠五郎 鳥羽屋里

八 清元徳兵衛 荻江亀次 竹本嶋太夫 都桃中 富本嶋太夫 荻江藤治 富本八十太夫

⑤世話役 鶴屋惣助、大坂屋五町

183:文政 12・2月 1829

①蔦屋重三郎 ②関西【L23-300-79】／東急【103-18-4-1】／東誌【0792-75】／東誌【0792-9】 ③名寄せあり

④田子七平 野沢八助 十寸見河洲 富本湊太夫 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津尾賀太夫 常磐津瀧太夫 中村久蔵 富本増太夫 石井不夕 宮崎安五郎 宮崎宗三 宮崎忠五郎 鳥羽屋里八 清元徳兵衛 荻江亀次 竹本嶋太夫 都桃中 富本嶋太夫 荻江藤治 富本八十太夫 清元鳴海太夫 富本与佐太夫 都和甫

⑤世話役 鶴屋惣助、大坂屋五町

※『よし原細見五葉松』（袋）

184:文政 13・春 1830

①蔦屋重三郎 ②天理【細 224-1】 ③名寄せあり

④田子七平 十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津瀧太夫 中村久蔵 富本増太夫 石井不夕 名見崎安治 宮崎宗三 宮崎忠五郎 鳥羽屋里八 清元徳兵衛 竹本嶋太夫 都桃中 荻江藤治 富本林蔵 清元鳴海太夫 富本与佐太夫 都和甫 常磐津喜代太夫 岸沢三五郎 名見崎喜十 都千中 都民中 菅野秀次 清元倉太夫 清元若太夫 清元菌生太夫 十寸見東洲 菅野長次 清元佐賀太夫

⑤世話役 鶴屋惣助、大坂屋五町

185:文政 13・春 1830

①蔦屋重三郎 ②東急【103-18-5-1】 ③名寄せあり

④田子七平 十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津瀧太夫 中村久蔵 富本増太夫 石井不夕 名見崎安治 宮崎宗三 宮崎忠五郎 鳥羽屋里八 清元徳兵衛 竹本嶋太夫 都桃中 荻江藤治 富本林蔵 清元鳴海太夫 富本与佐太夫 都和甫

⑤世話役 鶴屋惣助、大坂屋五町

186:文政 13・秋 1830

①蔦屋重三郎 ②江博【88200123】 ③名寄せあり

④十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津瀧太夫 中村久蔵 富本増太夫 名見崎安治 宮崎宗三 鳥羽屋里八 清元徳兵衛 都桃中 荻江藤治 富本林蔵 清元鳴海太夫 富本与佐太夫 都和甫 常磐津喜代太夫 名見崎喜十

都千中 都民中 菅野秀次 清元倉太夫 清元若太夫 清元蘭生太夫 十寸見東洲 菅野長次 清元佐賀太夫 富本千代太夫 都重三

⑤世話役 鶴屋惣助、大坂屋五町

187:天保2・春 1831

①蔦屋重三郎 ②東急【103-18-6-1】／東誌【0792-37】 ③名寄せあり

④十寸見河東 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津瀧太夫 中村久蔵 富本増太夫 名見崎安治 宮崎宗三 鳥羽屋里八 清元徳兵衛 都桃中 荻江藤治 富本林蔵 清元鳴海太夫 富本与佐太夫 都和甫 常磐津喜代太夫 名見崎喜十 都民中 菅野秀次 清元倉太夫 清元若太夫 十寸見東洲 菅野長次 清元佐賀太夫 富本千代太夫 富本仲太夫 都重三 岸沢松蔵

⑤世話役 鶴屋惣助、大坂屋五町

188:天保2・秋 1831

①蔦屋重三郎 ②岩瀬【5-36】／江博【84200051】 ③名寄せあり

④十寸見河洲 菅野清蔵 岸沢造酒蔵 富本豊美太夫 荻江佐吉 常磐津瀧太夫 中村久蔵 富本増太夫 宮崎宗三 鳥羽屋里八 清元徳兵衛 都桃中 荻江藤治 富本林蔵 清元鳴海太夫 都民中 清元佐賀太夫 清元倉太夫 清元若太夫 十寸見東洲 菅野長次 富本千代太夫 都重三 岸沢松蔵

⑤世話役 鶴屋惣助、大坂屋五町

※『吉原細見五葉松』

189:天保3・春 1832

①蔦屋重三郎 ②天理【細 226-1】／天理【細 226-2】／東急【103-18-7-1】 ③名寄せあり

④十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津瀧太夫 中村久蔵 富本増太夫 名見崎安治 宮崎宗三 鳥羽屋里八 清元徳兵衛 都桃中 荻江藤治 富本林蔵 清元鳴海太夫 都民中 清元若太夫 十寸見東洲 菅野長次 都重三 岸沢松蔵 竹本沢太夫 成田紋次

⑤世話役 鶴屋惣助、大坂屋五町

190:天保3・秋 1832

①蔦屋重三郎 ②天理【細 226-3】／東急【103-18-8-1】 ③名寄せあり

④十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津瀧太夫 中村久蔵 富本増太夫 名見崎安治 宮崎宗三 鳥羽屋里八 清元徳兵衛 都桃中 荻江藤治 富本林蔵 清元鳴海太夫 都民中 清元若太夫 十寸見東洲 菅野長次 都重三

岸沢松蔵 竹本沢太夫 成田紋次 菅野才蔵 宇治新口 高松喜鶴

⑤世話役 鶴屋惣助、大坂屋五町

191:天保4・春 1833

①蔦屋重三郎 ②岩瀬【119-199】／天理【細 227-1】／東急【103-18-9-1】 ③名寄せあり

④十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津瀧太夫 中村久蔵 富本増太夫 名見崎安治 宮崎宗三 鳥羽屋里八 清元徳兵衛 都桃中 荻江藤治 富本林蔵 清元鳴海太夫 都民中 清元若太夫 十寸見東洲 菅野長次 都重三 岸沢松蔵 成田紋次 菅野才蔵 宇治新口 高松喜鶴

⑤世話役 鶴屋惣助、大坂屋五町

192:天保4・秋 1833

①蔦屋重三郎 ②東急【103-18-10-1】 ③名寄せあり

④十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 中村久蔵 富本増太夫 名見崎安治 宮崎宗三 鳥羽屋里八 清元徳兵衛 都桃中 荻江藤治 富本林蔵 清元鳴海太夫 都民中 十寸見東洲 菅野長次 都重三 岸沢松蔵 成田紋次 宇治新口 高松喜鶴 富本袖太夫 清元秀太夫 荻江万蔵 竹伊勢屋住太郎 玉屋庄八

⑤世話役 鶴屋惣助、大坂屋五町

193:天保5・春 1834

①蔦屋重三郎 ②岩瀬【8-18】／岩瀬【119-238】 ③名寄せあり

④十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 中村久蔵 富本増太夫 名見崎安治 宮崎宗三 鳥羽屋里八 清元徳兵衛 荻江藤治 富本林蔵 清元鳴海太夫 都民中 十寸見東洲 菅野長次 都重三 岸沢松蔵 成田紋次 宇治新口 富本袖太夫 清元秀太夫 荻江万蔵

⑤世話役 鶴屋惣助、大坂屋五町

194:天保5・秋 1834

①蔦屋重三郎 ②東急【103-18-11-1】／東誌【0792-10】 ③名寄せあり

④十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 中村久蔵 富本増太夫 名見崎安治 宮崎宗三 鳥羽屋里八 清元徳兵衛 荻江藤治 富本林蔵 清元鳴海太夫 都民中 十寸見東洲 菅野長次 岸沢松蔵 成田紋次 宇治新口 富本袖太夫 清元秀太夫 荻江万蔵 鶴沢幸二 清元七兵衛 清元倉太夫

⑤世話役 鶴屋惣助、大坂屋五町

195:天保6・春 1835

- ①蔦屋重三郎 ②岩瀬【119-200】／天理【細 229-1】／東急【103-18-12-1】 ③名寄せあり
- ④十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 中村久蔵 富本増太夫 名見崎安治 宮崎宗三 鳥羽屋里八 清元徳兵衛 荻江藤治 富本林蔵 清元鳴海太夫 都民中 十寸見東洲 菅野長次 岸沢松蔵 成田紋次 宇治新口 清元秀太夫 荻江万蔵 鶴沢幸二 清元七兵衛 清元倉太夫
- ⑤世話役 鶴屋惣助、大坂屋五町

196:天保7・春 1836

- ①蔦屋重三郎 ②東急【103-18-13-1】 ③名寄せあり
- ④十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 中村久蔵 富本増太夫 名見崎安治 宮崎宗三 鳥羽屋里八 清元徳兵衛 荻江藤治 富本林蔵 清元鳴海太夫 都民中 十寸見東洲 菅野長次 岸沢松蔵 成田紋次 清元秀太夫 荻江万蔵 鶴沢幸二 清元七兵衛 清元倉太夫 清元磯八 清元宮古太夫
- ⑤世話役 大坂屋五町

197:天保8・春 1837

- ①蔦屋重三郎 ②天理【細 231-1】 ③名寄せあり
- ④十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 富本増太夫 名見崎安治 宮崎宗三 清元徳兵衛 荻江藤治 富本林蔵 清元鳴海太夫 都民中 十寸見東洲 菅野長次 岸沢松蔵 成田紋次 清元秀太夫 荻江万蔵 鶴沢幸二 清元七兵衛 清元倉太夫 清元磯八 清元宮古太夫 菅野才蔵 富本竹作 富本豊和太夫
- ⑤世話役 大坂屋五町

198:天保8・秋 1837

- ①蔦屋重三郎 ②東誌【0792-11】 ③名寄せあり
- ④岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 富本増太夫 名見崎安治 清元徳兵衛 荻江藤治 清元鳴海太夫 都民中 十寸見東洲 菅野長次 岸沢松蔵 成田紋次 清元秀太夫 荻江万蔵 鶴沢幸二 清元七兵衛 清元倉太夫 清元齋兵衛 清元宮古太夫 菅野才蔵 富本竹作 富本豊和太夫 林屋鯉昇 菅野平次 宇治新口 石井宗叔
- ⑤世話役 大坂屋五町

199:天保8・12月 1837

- ①伊勢屋三次郎 ②東急【103-18-14-1】／東誌【0792-36】 ③名寄せあり
④岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 富本増太夫 名見
崎安治 清元徳兵衛 荻江藤治 清元鳴海太夫 都民中 十寸見東洲 菅野長次 岸沢
松蔵 成田紋次 清元秀太夫 荻江万蔵 鶴沢幸二 清元七兵衛 清元倉太夫 清元齋
兵衛 清元宮古太夫 菅野才蔵 富本竹作 富本豊和太夫 林屋鯉昇 菅野平次 宇治
新口 石井宗叔
⑤世話役 大坂屋五町

200:天保10・春 1839

- ①伊勢屋三次郎 ②関西【L23-300-80】 ③名寄せあり
④十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 富本
増太夫 清元徳兵衛 富本林蔵 清元鳴海太夫 都民中 十寸見東洲 菅野長次 岸沢
松蔵 清元秀太夫 鶴沢幸二 清元倉太夫 清元宮古太夫 富本竹作 富本豊和太夫
林屋鯉昇 菅野平次 宇治新口 清元三登明太夫 鶴沢市造 富本清次 清元政次郎
⑤世話役 大坂屋五町

201:天保10・2月 1839

- ①伊勢屋三次郎 ②江博【88208411】／江博【92200097】／東急【103-18-15-1】 ③
名寄せあり
④十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 富本
増太夫 清元徳兵衛 富本林蔵 清元鳴海太夫 都民中 十寸見東洲 菅野長次 岸沢
松蔵 清元秀太夫 鶴沢幸二 清元倉太夫 清元宮古太夫 富本竹作 富本豊和太夫
林屋鯉昇 菅野平次 宇治新口 清元三登勢太夫 清元新三 鶴沢市造 富本清次
⑤世話役 大坂屋五町

202:天保10・秋 1839

- ①伊勢屋三次郎 ②天理【細 233-1】／東急【103-18-16-1】 ③名寄せあり
④十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 清元
徳兵衛 富本林蔵 清元鳴海太夫 都民中 十寸見東洲 菅野長次 岸沢松蔵 清元秀
太夫 鶴沢幸二 清元倉太夫 清元宮古太夫 富本竹作 富本豊和太夫 林屋鯉昇 菅
野平次 宇治新口 清元新三 鶴沢市造 富本清次 清元政次郎 都栄蔵
⑤世話役 大坂屋五町

203:天保11・春 1840

- ①伊勢屋三次郎／山下半兵衛 ②岩瀬【1-45】／東急【103-18-17-1】／東誌【0792-

67】 ③名寄せあり

④十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 清元徳兵衛 富本林蔵 清元鳴海太夫 都民中 十寸見東洲 菅野長次 岸沢松蔵 清元秀太夫 鶴沢幸二 清元倉太夫 清元宮古太夫 富本竹作 富本豊和太夫 林屋鯉昇 菅野平次 宇治新口 清元新三 鶴沢市造 富本清次 清元政次郎 都梅中 富本与佐太夫

⑤世話役 大坂屋五町

※『新よし原細見記五葉松』（東誌本の袋）

204:天保 11・秋 1840

①伊勢屋三次郎／山下半兵衛 ②東急【103-18-18-1】 ③名寄せあり

④十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 清元徳兵衛 富本八十太夫 清元鳴海太夫 都民中 十寸見東洲 菅野長次 岸沢松蔵 清元秀太夫 鶴沢幸二 清元倉太夫 清元宮古太夫 富本竹作 富本豊和太夫 林屋鯉昇 菅野平次 宇治新口 鶴沢市造 富本清次 清元政次郎 都梅中 富本与佐太夫 常磐津静太夫 富本斎二 桜川常次郎

⑤世話役 大坂屋五町

205:天保 12・春 1841

①伊勢屋三次郎／山下半兵衛 ②東急【103-18-19-1】／東誌【0792-38】 ③名寄せあり

④十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 清元徳兵衛 富本八十太夫 清元鳴海太夫 都民中 十寸見東洲 菅野長次 岸沢松蔵 清元秀太夫 鶴沢幸二 清元宮古太夫 富本竹作 林屋鯉昇 菅野平次 宇治新口 鶴沢市造 富本清次 清元政次郎 都梅中 富本与佐太夫 常磐津静太夫 富本斎二 田子七平 菅野松次 清元民太夫

⑤世話役 平野屋伝七、大坂屋五町

※『新よし原細見記五葉松』（袋）

206:天保 12・秋 1841

①伊勢屋三次郎／山下半兵衛 ②東急【103-18-20-1】 ③名寄せあり

④十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 清元徳兵衛 富本八十太夫 清元鳴海太夫 都民中 十寸見東洲 菅野長次 岸沢松蔵 清元秀太夫 鶴沢幸二 清元宮古太夫 富本竹作 林屋鯉昇 菅野平次 宇治新口 鶴沢市造 富本清次 清元政次郎 都梅中 富本与佐太夫 常磐津静太夫 富本喜勢太夫 田子七平 菅野松次 清元民太夫

⑤世話役 平野屋伝七

207:天保13・春 1842

①伊勢屋三次郎／山下半兵衛 ②天理【細236-1】 ③名寄せあり

④十寸見河洲 岸沢造酒蔵 菅野忠次郎 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 富本林蔵 清元鳴海太夫 都民中 十寸見東洲 菅野長次 岸沢松蔵 清元秀太夫 鶴沢幸二 清元宮古太夫 富本竹作 林屋鯉昇 竹■作 宇治新口 鶴沢市造 富本清次 清元政次郎 都梅中 富本与佐太夫 常磐津静太夫 富本喜勢太夫 田子七平 菅野松次 清元民太夫

⑤世話役 平野屋伝七

208:天保13・秋 1842

①山下半兵衛／星野源次郎 ②岩瀬【119-192】／東急【103-18-21-1】 ③名寄せあり

④十寸見河洲 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 富本林蔵 清元鳴海太夫 都民中 菅野長次 岸沢松蔵 清元秀太夫 鶴沢幸二 清元宮古太夫 林屋鯉昇 宇治新口 富本清次 清元政次郎 富本与佐太夫 常磐津静太夫 田子七平 菅野松次 清元民太夫 桜川三孝 清元斎兵衛 富本六次 桜川善孝 富本松太夫 清元磯八

⑤世話役 平野屋伝七、岸沢造酒蔵

※『よし原さい見記五葉松』（袋）

209:天保14・2月 1843

①山下半兵衛／星野源次郎 ②関西【L23-300-81】／東急【103-18-22-1】／東誌【0792-76】 ③名寄せあり

④十寸見河洲 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 富本林蔵 清元鳴海太夫 都民中 菅野長次 岸沢松蔵 清元秀太夫 荻江幸二 松山宮治 林屋鯉昇 宇治新口 富本清次 清元政次郎 富本与佐太夫 常磐津静太夫 田子七平 菅野松次 清元民太夫 清元栄五郎 桜川三孝 大野里八 富本六次 桜川善孝 富本松太夫 清元磯八 鶴沢桂蔵 竹藤次 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎

⑤世話役 平野屋伝七、岸沢造酒蔵

210:天保14・秋 1843

①山下半兵衛／星野源次郎 ②江博【89201790】／天理【細237-2】／東急【103-18-23】 ③名寄せあり

④十寸見河洲 荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 富本林蔵 清元鳴海太夫 都民中 菅野長次 岸沢松蔵 清元秀太夫 荻江幸二 松山美家子 林屋鯉昇 宇治新口 富本清次 清元政次郎 富本与佐太夫 常磐津静太夫 田子七平 菅野松次 清元民太夫

夫 清元栄五郎 桜川三孝 大野里八 富本六次 桜川善孝 富本松太夫 清元磯八
鶴沢桂蔵 竹藤次 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎

⑤世話役 平野屋伝七、岸沢造酒蔵

211:天保 15・春 1844

①山下半兵衛／星野源次郎 ②岩瀬【119-195】／東急【103-18-24】／東誌【0792-12】 ③名寄せあり

④荻江佐吉 富本豊美太夫 常磐津文緑 富本林蔵 都民中 菅野長次 岸沢松蔵 清元秀太夫 荻江幸二 松山美家子 林屋鯉昇 宇治新口 富本清次 清元政次郎 富本与佐太夫 常磐津静太夫 田子七平 菅野松次 清元民太夫 清元栄五郎 桜川三孝 大野里八 富本六次 富本松太夫 清元磯八 鶴沢桂蔵 竹藤次 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫

⑤世話役 平野屋伝七、岸沢造酒蔵

212:天保 15・秋 1844

①山下半兵衛／星野屋源次郎 ②国会古典【851-138】／東急【103-18-25-1】 ③名寄せあり

④荻江佐吉 中村南甫 常磐津文緑 富本林蔵 都民中 岸沢松蔵 清元秀太夫 荻江幸二 松山美家子 竹藤次 林屋鯉昇 宇治新口 富本清次 清元政次郎 富本与佐太夫 常磐津静太夫 田子七平 菅野松次 清元民太夫 清元栄五郎 桜川三孝 大野里八 都六二 富本松太夫 富本磯八 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 西川米太郎 富本仲太夫 荻江千代次 清元巴満太夫

⑤世話役 平野屋伝七、岸沢造酒蔵、同添役 荻江佐吉、中村南甫、同添役並 常磐津文緑

213:天保 15・秋(序) 1844

①不明(奥付なし) ②江博【87200116】 ③名寄せあり

④富本林蔵 都民中 岸沢松蔵 清元秀太夫 荻江幸二 松山美家子 竹藤次 林屋鯉昇 宇治新口 富本清次 清元政次郎 富本与佐太夫 常磐津静太夫 田子七平 菅野松次 清元民太夫 清元栄五郎 桜川三孝 大野里八 都六二 富本松太夫 富本磯八 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 西川米太郎 富本仲太夫 荻江千代次 清元巴満太夫

⑤世話役 平野屋伝七、岸沢造酒蔵、同添役 荻江佐吉、中村南甫、同添役並 常磐津文緑

214:弘化 2・春 1845

①山下半兵衛／星野屋源次郎 ②岩瀬【103-78】／国会古典【856-101】／東急【103-18-26-1】／東誌【0792-64】 ③名寄せあり

④丸谷紫暁 都民中 岸沢松蔵 清元秀太夫 荻江幸二 松山美家子 竹藤次 林屋鯉昇 宇治新口 富本清次 清元政次郎 富本与佐太夫 常磐津静太夫 田子七平 菅野松次 清元民太夫 清元栄五郎 桜川三孝 荻江里八 都六二 富本松太夫 荻江藤三郎 富本新次 鳥羽屋小三次 富本徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 西川林蔵 富本仲太夫 荻江千代作 清元巴満太夫

⑤世話役 平野屋伝七、岸沢造酒蔵、同添役 中村南甫、荻江佐吉、同添役並 常磐津文緑

215: 弘化2・秋 1845

①山下半兵衛／星野屋源次郎 ②東特【和 1597】 ③名寄せあり

④都民中 岸沢松蔵 清元秀太夫 荻江幸二 松山美家子 竹藤次 林屋鯉昇 宇治新口 富本清次 清元政次郎 都文中 常磐津静太夫 田子七平 菅野松次 清元民太夫 清元栄五郎 桜川三孝 荻江里八 都六二 富本松太夫 荻江藤三郎 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 西川林蔵 富本仲太夫 荻江千代作 清元巴満太夫 鶴沢桂蔵

⑤世話役 平野屋伝七、岸沢造酒蔵、同添役 中村南甫、荻江佐吉、添役並同隠居 常磐津文緑、丸谷紫暁

216: 弘化3・春 1846

①山下半兵衛／星野屋源次郎 ②岩瀬【27-51】／関西【L23-300-82】／東急【103-18-28-1】 ③名寄せあり

④都民中 岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 竹藤次 林屋鯉昇 宇治新口 富本清次 清元政次郎 都文中 常磐津静太夫 田子七平 菅野松次 清元民太夫 清元栄五郎 荻江里八 都六二 富本松太夫 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 西川林蔵 富本安和太夫 荻江千代作 清元巴満太夫 鶴沢桂蔵 清元磯海太夫

⑤世話役 平野屋伝七、岸沢造酒蔵、同添役 中村南甫、荻江佐吉、添役並同隠居 常磐津文緑、丸谷紫暁

217: 弘化3・春 1846

①山下屋半兵衛／星野源次郎 ②東急【103-18-27-1】 ③名寄せあり

④都民中 岸沢松蔵 清元秀太夫 荻江幸二 松山美家子 竹藤次 林屋鯉昇 宇治新口 富本清次 清元政次郎 都文中 常磐津静太夫 田子七平 菅野松次 清元民太夫 清元栄五郎 荻江里八 都六二 富本松太夫 荻江藤三郎 富本新次 鳥羽屋小三次

名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 西川林蔵 富本仲太夫 荻江千代作 清元巴満太夫 鶴沢桂蔵 清元磯海太夫

⑤世話役 平野屋伝七、岸沢造酒蔵、同添役 中村南甫、荻江佐吉、添役並同隠居 常磐津文緑、丸谷紫暁

218: 弘化3・秋 1846

①三河屋甚助 ②東誌【0794-5】 ③名寄せあり

④都民中 岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 竹藤次 林屋鯉昇 宇治新口 富本清次 清元政次郎 都文中 常磐津静太夫 田子七平 菅野松次 清元民太夫 清元栄五郎 荻江里八 都六二 富本松太夫 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 西川林蔵 富本安和太夫 荻江千代作 清元巴満太夫 鶴沢桂蔵 清元磯海太夫

⑤世話役 平野屋伝七、岸沢造酒蔵、同添役 中村南甫、荻江佐吉、添役並同隠居 常磐津文緑、丸谷紫暁

※『いつ葉の松』

219: 弘化3・秋 1846

①山下屋半兵衛／星野源次郎 ②東急【103-18-29-1】／東誌【0792-63】 ③名寄せあり

④都民中 岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 竹藤次 林屋鯉昇 宇治新口 富本清次 清元政次郎 都文中 常磐津静太夫 田子七平 清元民太夫 清元栄五郎 荻江里八 都六二 富本松太夫 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 西川林蔵 富本安和太夫 荻江千代作 清元巴満太夫 鶴沢桂蔵 清元磯海太夫 清元栄喜太夫

⑤世話役 平野屋伝七、岸沢造酒蔵、同添役 中村南甫、荻江佐吉、添役並同隠居 常磐津文緑、丸谷紫暁

220: 弘化4・春 1847

①三河屋甚助 ②岩瀬【1-52】／国会古典【856-26】／東急【103-18-30-1】 ③名寄せあり

④都民中 岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 竹藤次 林屋鯉昇 宇治新口 富本清次 清元政次郎 都文中 常磐津静太夫 田子七平 清元民太夫 清元栄五郎 荻江里八 都六二 富本松太夫 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 富本綱太夫 荻江露助 西川林蔵 富本安和太夫 荻江千代作 清元巴満太夫 鶴沢桂蔵 清元磯海太夫 清元栄喜太夫

⑤世話役 平野屋伝七、岸沢造酒蔵、同添役 中村南甫、荻江佐吉、添役並同隠居 常

磐津文録、丸谷紫暁

221: 弘化 4・春 1847

- ①三河屋甚助 ②東誌【0794-5】 ③名寄せあり
④都民中 岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 竹藤次 林屋鯉昇 宇治新口 富本清次 清元政次郎 都文中 常磐津静太夫 田子七平 菅野松次 清元民太夫 清元栄五郎 荻江里八 都六二 富本松太夫 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 西川林蔵 富本安和太夫 荻江千代作 清元巴満太夫 鶴沢桂蔵 清元磯海太夫
⑤世話役 平野屋伝七、岸沢造酒蔵、同添役 中村南甫、荻江佐吉、添役並同隠居 常磐津文録、丸谷紫暁

222: 弘化 4・春 1847

- ①山下屋半兵衛／星野屋源次郎 ②岩瀬【27-52】／東急【103-18-31-1】／東誌【0792-58】 ③名寄せあり
④都民中 岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 竹藤次 林屋鯉昇 宇治新口 富本清次 清元政次郎 都文中 常磐津静太夫 田子七平 清元民太夫 清元栄五郎 荻江里八 都六二 富本松太夫 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 西川林蔵 富本安和太夫 荻江千代作 清元巴満太夫 鶴沢桂蔵 清元磯海太夫 清元栄喜太夫
⑤世話役 岸沢造酒蔵、同添役 中村南甫、荻江佐吉、添役並同 常磐津文録、丸谷紫暁

223: 弘化 4・春 1847

- ①山下屋半兵衛／星野屋源次郎 ②東急【103-18-34-1】 ③名寄せあり
④都民中 岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 竹藤次 林屋鯉昇 富本清次 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 田子七平 清元民太夫 清元栄五郎 荻江里八 都六二 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 西川林蔵 富本安和太夫 荻江千代作 鶴沢桂蔵 清元磯海太夫 清元栄喜太夫 清元鳴海太夫 清元新三 桜川三孝
⑤世話役 岸沢造酒蔵、同添役 中村南甫、荻江佐吉、添役並同 常磐津文録、丸谷紫暁

224: 弘化 4・秋 1847

- ①山下屋半兵衛／星野屋源次郎 ②天理【細 242-5】 ③名寄せあり
④都民中 岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 竹藤次 林屋鯉昇 富本清次 清元政

次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 田子七平 清元民太夫 清元栄五郎 荻江里八 都六二 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 西川林蔵 富本安和太夫 荻江千代作 鶴沢桂蔵 清元磯海太夫 清元栄喜太夫 清元鳴海太夫

⑤世話役 岸沢造酒蔵、同添役 中村南甫、荻江佐吉、添役並同 常磐津文緑、丸谷紫暁

225: 弘化 4・秋 1847

①山下屋半兵衛／星野屋源次郎 ②東急【103-18-32-1】 ③名寄せあり

④都民中 岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 竹藤次 林屋鯉昇 富本清次 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 田子七平 清元民太夫 清元栄五郎 荻江里八 都六二 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 西川林蔵 富本安和太夫 荻江千代作 清元巴満太夫 鶴沢桂蔵 清元磯海太夫 清元栄喜太夫 清元鳴海太夫

⑤世話役 岸沢造酒蔵、同添役 中村南甫、荻江佐吉、添役並同 常磐津文緑、丸谷紫暁

226: 弘化 5・春 1848

①山下屋半兵衛／星野屋源次郎 ②天理【細 244-1】 ③名寄せあり

④都民中 岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 竹藤次 林屋鯉昇 富本清次 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 田子七平 清元民太夫 清元栄五郎 荻江里八 都六二 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 西川林蔵 富本安和太夫 荻江千代作 鶴沢桂蔵 清元磯海太夫 清元栄喜太夫 清元鳴海太夫 清元新三 桜川三孝

⑤世話役 岸沢造酒蔵、同添役 中村南甫、荻江佐吉、添役並同 常磐津文緑、丸谷紫暁

227: 嘉永元・秋 1848

①玉屋山三郎 ②江博【89204840】／東急【103-19-1-1】 ③名寄せあり

④都民中 岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 竹藤次 林屋鯉昇 富本清次 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 田子七平 清元民太夫 清元栄五郎 荻江里八 都六二 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 西川林蔵 富本安和太夫 荻江千代作 鶴沢桂蔵 清元磯海太夫 清元栄喜太夫 清元鳴海太夫 清元新三 桜川三孝

⑤世話役 岸沢造酒蔵、同添役 中村南甫、荻江佐吉、添役並同 常磐津文緑、丸谷紫暁

228: 嘉永 2・春 1849

①玉屋山三郎 ②岩瀬【119-47】／東急【103-19-2-1】／東特【和 1602】 ③名寄せあり

④岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 竹藤次 林屋鯉昇 富本清次 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 田子七平 清元民太夫 清元栄五郎 荻江里八 都六二 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 西川林蔵 富本安和太夫 荻江千代作 鶴沢桂蔵 清元磯海太夫 清元栄喜太夫 清元鳴海太夫 清元新三 桜川三孝 鎌六平

⑤世話役 岸沢造酒蔵、同添役 中村南甫、荻江藤十郎、添役並 都民中、丸谷紫暁

229: 嘉永 2・秋 1849

①玉屋山三郎 ②岩瀬【119-49】／東急【103-19-3-1】／東誌【0792-13】 ③名寄せあり

④岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 竹藤次 林屋鯉昇 富本清次 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 田子七平 清元民太夫 宇治栄紫 荻江里八 都六二 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 西川林蔵 富本安和太夫 荻江千代作 鶴沢桂蔵 清元磯海太夫 清元栄喜太夫 清元鳴海太夫 清元新三 桜川三孝 鎌六平 桜川善二

⑤世話役 岸沢造酒蔵、同添役 中村南甫、荻江藤十郎、添役並 都民中、丸谷紫暁

230: 嘉永 3・春 1850

①玉屋山三郎 ②岩瀬【104-54】／東急【103-19-4-1】／東誌【0792-42】／東誌【0792-46】 ③名寄せあり

④岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 林屋鯉昇 富本清次 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 清元民太夫 宇治栄紫 荻江里八 都六二 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 花柳林蔵 富本安和太夫 荻江千代作 鶴沢桂蔵 清元磯海太夫 清元栄喜太夫 清元鳴海太夫 清元新三 桜川三孝 鎌六平 桜川善二 宇治新口

⑤世話役 岸沢造酒蔵、同添役 中村南甫、荻江藤十郎、添役並 都民中、丸谷紫暁

231: 嘉永 3・秋 1850

①玉屋山三郎 ②岩瀬【1-ホ 53】／岩瀬【119-205】／東急【103-19-5-1】／東誌【0792-14】／東誌【0792-40】 ③名寄せあり

④岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 林屋鯉昇 富本清次 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 清元民太夫 宇治栄紫 荻江里八 都六二 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 花柳林蔵 富本安和太夫 荻江千

代作 鶴沢桂蔵 清元栄喜太夫 清元鳴海太夫 清元新三 桜川三孝 鎌六平 桜川善二 荻江五郎助 桜川善孝

⑤世話役 岸沢造酒蔵、添役 中村南甫、都民中

232: 嘉永 4・春 1851

①玉屋山三郎 ②岩瀬【1-ニ 53】／東急【103-19-6-1】／東誌【0792-34】 ③名寄せあり

④岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 林屋鯉昇 富本清次 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 清元民太夫 宇治栄紫 荻江里八 都六二 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 花柳林蔵 富本安和太夫 荻江千代作 清元栄喜太夫 清元鳴海太夫 清元新三 桜川三孝 鎌六平 桜川善二 荻江五郎助 桜川善孝 富本多喜太夫

⑤世話役 岸沢造酒蔵、添役 中村南甫、都民中

233: 嘉永 4・秋 1851

①玉屋山三郎 ②岩瀬【8-16】／東急【103-19-7-1】 ③名寄せあり

④岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 林屋鯉昇 富本清次 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 清元民太夫 宇治栄紫 荻江里八 都六二 富本新次 名見崎徳三郎 十寸見沙洲 富本綱太夫 荻江露助 花柳林蔵 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 清元新三 桜川三孝 鎌六平 桜川善二 荻江五郎助 桜川善孝 富本多喜太夫 桜川孝三

⑤世話役 岸沢造酒蔵、添役 中村南甫、都民中

234: 嘉永 5・春 1852

①玉屋山三郎 ②東急【103-19-8-1】／東誌【0792-15】 ③名寄せあり

④岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 林屋鯉昇 富本清次 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 清元民太夫 荻江里八 都六二 富本新次 名見崎徳三郎 十寸見沙洲 富本綱太夫 荻江露助 花柳林蔵 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 清元新三 桜川三孝 菅野六平 桜川善二 桜川善孝 富本多喜太夫 桜川孝二郎 桜川由次郎 都有中 岸沢才二

⑤世話役 岸沢造酒蔵、添役 中村南甫、都民中

235: 嘉永 5・秋 1852

①玉屋山三郎 ②東急【103-19-9-1】 ③名寄せあり

④岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 林屋鯉昇 富本清次 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 清元民太夫 宇治栄紫 荻江里八 都六二 富本新次 鳥羽屋小三次

名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 花柳林蔵 富本安和太夫 荻江千代作 清元栄喜太夫 清元鳴海太夫 清元新三 桜川三孝 鎌六平 桜川善二 荻江五郎助 桜川善孝 富本多喜太夫

⑤世話役 岸沢造酒蔵、添役 中村南甫、都民中

236: 嘉永 5・秋 1852

①玉屋山三郎 ②東特【和 1596】 ③名寄せあり

④岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 林屋鯉昇 富本清次 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 清元民太夫 荻江里八 都六二 富本新次 名見崎徳三郎 富本綱太夫 花柳林蔵 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 清元新三 桜川三孝 菅野六平 桜川善二 桜川善孝 桜川孝二郎 桜川由次郎 都有中 岸沢才二 宇治紫遊 萱野序立

⑤世話役 岸沢造酒蔵、添役 中村南甫、都民中

237: 嘉永 6・春 1853

①玉屋山三郎 ②岩瀬【9-42】／東急【103-19-10-1】 ③名寄せあり

④岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 林屋鯉昇 荻江清寿 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 清元民太夫 荻江里八 都六二 富本新次 菅野徳三郎 富本綱太夫 花柳林蔵 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川三孝 菅野六平 桜川善二 桜川善孝 桜川孝二郎 桜川由次郎 岸沢才二 宇治紫有蝶 菅野序立 荻江亀次 都有中

⑤世話役 岸沢造酒蔵、添役 中村南甫、都民中

238: 嘉永 6・春 1853

①玉屋山三郎 ②東誌【0792-62】 ③名寄せあり

④岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 林屋鯉昇 富本清次 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 清元民太夫 宇治栄紫 荻江里八 都六二 富本新次 鳥羽屋小三次 名見崎徳三郎 十寸見和洲 富本綱太夫 荻江露助 花柳林蔵 富本安和太夫 荻江千代作 清元栄喜太夫 清元鳴海太夫 清元新三 桜川三孝 鎌六平 桜川善二 荻江五郎助 桜川善孝 富本多喜太夫

⑤世話役 岸沢造酒蔵、添役 中村南甫、都民中

239: 嘉永 6・秋 1853

①玉屋山三郎 ②天理【細 249-2】／東急【103-19-11-1】 ③名寄せあり

④岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 花柳鯉昇 荻江清寿 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 清元民太夫 荻江里八 都六二 富本新次 菅野徳三郎 富本綱太夫 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川三孝 菅野六平 桜川善二 桜川善孝 桜

川孝二郎 桜川由次郎 都有中 岸沢才二 宇治紫有蝶 菅野序立 荻江亀次
⑤世話役 岸沢造酒蔵、添役 中村南甫、都民中

240: 嘉永 7・春 1854

①玉屋山三郎 ②東急【103-19-12-1】／東特【和 1389】 ③名寄せあり
④岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 林屋鯉昇 荻江清寿 清元政次郎 都与佐太夫
常磐津静太夫 清元民太夫 荻江里八 都六二 富本新次 菅野徳三郎 富本綱太夫
荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 菅野六平 桜川善二 桜川善孝 桜川孝二郎
桜川由次郎 都有中 岸沢才二 菅野序好
⑤世話役 岸沢造酒蔵、中村南甫

241: 嘉永 7・秋 1854

①玉屋山三郎 ②関西【L23-300-83】／東急【103-19-13-1】／東誌【0792-20】 ③名寄せあり
④岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 林屋鯉昇 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 清元民太夫 荻江里八 都六二 富本新次 菅野徳三郎 富本綱太夫 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 菅野六平 桜川善二 桜川善孝 桜川由次郎 都有中 岸沢才二 菅野序好
⑤世話役 岸沢造酒蔵

242: 安政 2・春 1855

①玉屋山三郎 ②岩瀬【1-36】／江博【87201070】／関西【L23-300-84】／東急【103-19-14-1】／東誌【0792-32】 ③名寄せあり
④岸沢松蔵 清元秀太夫 松山美家子 花柳鯉昇 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 清元民太夫 荻江里八 都六二 富本新次 菅野徳三郎 富本綱太夫 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 菅野六平 桜川善二 桜川善孝 桜川由次郎 都有中 岸沢才二 菅野序好 清元新三 桜川孝二郎 桜川孝三 菅野序作 田子七平 都甚作
⑤世話役 岸沢造酒蔵

243: 安政 2・秋 1855

①玉屋山三郎 ②岩瀬【119-203】 ③名寄せあり
④岸沢松蔵 清元秀太夫 花柳鯉昇 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 清元民太夫 荻江里八 都六二 富本新次 菅野徳三郎 富本綱太夫 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川善二 桜川善孝 桜川由次郎 都有中 岸沢才二 菅野序好 桜川孝二郎 桜川孝三 菅野序作 田子七平 都甚作 宇治新口 宇治喜美太夫
⑤世話役 岸沢造酒蔵

244:安政2・冬 1855

- ①不明 ②岩瀬【119-206】 ③名寄せあり
- ④花柳鯉昇
- ⑤世話人 岸川施餓鬼
- ※『吉原たいへん』

245:安政2・12月 1855

- ①不明（奥付なし） ②天理【細 252-2】／東急【103-19-17-1】／東誌【0792-30】
- ③名寄せあり
- ④岸沢松蔵 清元秀太夫 清元政次郎 都与佐太夫 常磐津静太夫 清元民太夫 荻江里八 都六二 富本新次 菅野徳三郎 富本綱太夫 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川善二 桜川善孝 桜川由次郎 都有中 岸沢才二 菅野序好 桜川孝二郎 桜川孝三 菅野序作 田子七平 都甚作 宇治新口 宇治喜美太夫
- ⑤世話人 不明（記載なし）

246:安政3・春 1856

- ①不明（奥付なし） ②東急【103-19-18-1】 ③名寄せあり
- ④清元秀太夫 都与佐太夫 清元政次郎 常磐津静太夫 清元民太夫 荻江里八 都六二 富本新次 菅野徳三郎 富本綱太夫 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川善二 桜川善孝 桜川由次郎 都有中 岸沢才二 菅野序好 桜川孝三 菅野序作 都甚作 宇治喜美太夫 荻江藤吉 桜川孝二郎
- ⑤世話役 岸沢松蔵

247:安政3・5月 1856

- ①玉屋山三郎 ②岩瀬【1-35】／江博【87201507】／天理【細 253-1】 ③名寄せあり
- ④清元秀太夫 都与佐太夫 清元政次郎 常磐津静太夫 清元民太夫 荻江里八 都六二 富本新次 菅野徳三郎 富本綱太夫 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川善二 桜川善孝 桜川由次郎 都有中 岸沢才二 菅野序好 桜川孝三 菅野序作 都甚作 宇治喜美太夫 荻江藤吉 桜川孝二郎
- ⑤世話役 岸沢松蔵

248:安政5・春 1858

- ①玉屋山三郎 ②岩瀬【37-15】／関西【L23-300-85】／東急【103-19-21-1】／東誌【0792-21】／東誌【0792-52】 ③名寄せあり
- ④清元政次郎 清元民太夫 荻江里八 都六二 富本新次 菅野徳三郎 荻江千代作

清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川善孝 桜川由次郎 都有中 岸沢才二 菅野序好 菅野
文次郎 宇治喜美太夫 荻江三造 桜川兼次郎 清元権平 杵屋米八 十寸見平洲 田
子七平 清元斎造 荻江千蔵 荻江正次

⑤世話役 清元秀太夫、都与佐太夫

249:安政6・春 1859

①玉屋山三郎 ②岩瀬【1-ト 53】／江博【90204127】／加賀【加 402】／関西【L23-
300-86】／国会古典【856-30】／東急【103-19-22-1】／東誌【0792-35】 ③名寄せあ
り

④都六二 富本新次 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川善孝 桜川由次郎
都有中 岸沢才二 菅野のん子 菅野文次郎 宇治喜美太夫 荻江三造 桜川兼次郎
都権平 杵屋米八 十寸見平洲 田子七平 荻江千蔵 常磐津三満寿太夫 都東作

⑤世話役 清元民太夫、清元政次郎、荻江里八

250:安政6・秋 1859

①玉屋山三郎 ②岩瀬【1-32】／加賀【加 429】 ③名寄せあり

④都六二 富本新次 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川善孝 都有中 岸沢
才二 菅野のん子 菅野文次郎 宇治喜美太夫 荻江三造 桜川兼次郎 都権平 都米
八 十寸見平尔 田子七平 荻江千蔵 常磐津三満寿太夫 都東作 桜川長次

⑤世話役 清元民太夫、清元政次郎、荻江里八

251:安政7・春 1860

①玉屋山三郎 ②岩瀬【119-210】／国会古典【856-29】／天理【細 258-2】／東急
【103-19-23-1】／東誌【0792-3】 ③名寄せあり

④都六二 富本新次 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川善孝 都有中 岸沢
才二 菅野のん子 菅野文次郎 宇治喜美太夫 荻江三造 桜川兼次郎 都権平 都米
八 十寸見平尔 田子七平 荻江千蔵 常磐津三満寿太夫 都東作 桜川長次

⑤世話役 清元民太夫、清元政次郎、荻江里八

252:万延元・秋(序) 1860

①玉屋山三郎 ②岩瀬【1-37】／東急【103-19-24-1】／東誌【0792-61イ】 ③名寄せ
あり

④都六二 富本新次 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川善孝 都有中 岸沢
才二 菅野文次郎 宇治喜美太夫 荻江三造 桜川兼次郎 都権平 都米八 田子七平
荻江千蔵 都東作 桜川長次 富本半平 富本仲助

⑤世話役 清元民太夫、清元政次郎、荻江里八

253:万延年間(序) 1860~1861

- ①五町園 ②岩瀬【1-21】／東急【103-19-26-1】 ③名寄せあり
④都六二 富本新次 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川善孝 都有中 岸沢才二 菅野のん子 菅野文次郎 宇治喜美太夫 荻江三造 桜川兼次郎 都権平 都米八 十寸見平尔 田子七平 荻江千蔵 常磐津三満寿太夫 都東作 桜川長次
⑤世話役 清元民太夫、清元政次郎、荻江里八

254:文久元・春(序) 1861

- ①玉屋山三郎 ②東急【103-19-27-1】 ③名寄せあり
④都六二 富本新次 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川善孝 都有中 岸沢才二 菅野文次郎 宇治喜美太夫 荻江三造 桜川兼次郎 都権平 都米八 田子七平 荻江千蔵 都東作 桜川長次 富本半平 富本仲助
⑤世話役 清元民太夫、清元政次郎、荻江里八

255:文久元・秋 1861

- ①玉屋山三郎 ②岩瀬【119-212】／東急【103-20-1-1】／東誌【0792-26】 ③名寄せあり
④都六二 富本新次 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川善孝 都有中 岸沢才二 菅野文次郎 宇治喜美太夫 荻江三造 桜川兼次郎 都権平 都米八 田子七平 荻江千蔵 桜川長次 富本半平 富本仲助 桜川寿六 桜川由次郎 荻江錦助 荻江喜久造
⑤世話役 清元民太夫、清元政次郎、荻江里八

256:文久2 1862

- ①玉屋山三郎 ②岩瀬【119-208】／東急【103-20-2-1】／東誌【0792-17】／東誌【0792-17ア】 ③名寄せあり
④都六二 富本新次 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川善孝 都有中 岸沢才二 菅野文次郎 宇治喜美太夫 荻江三造 桜川兼次郎 都権平 都米八 田子七平 荻江千蔵 桜川長次 富本半平 富本仲助 桜川寿六 桜川由次郎 荻江錦助 荻江喜久造 都鯉中
⑤世話役 清元民太夫、清元政次郎、荻江里八

257:文久3・秋 1863

- ①玉屋山三郎 ②岩瀬【1-47】／国会古典【856-27】／東急【103-20-3-1】／東誌【0792-31】 ③名寄せあり

- ④都六二 富本新次 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川善孝 都有中 岸沢才二 菅野文次郎 宇治喜美太夫 荻江三造 桜川兼次郎 都権平 都米八 田子七平 荻江千蔵 桜川長次 富本半平 富本仲助 桜川寿六 桜川由次郎 荻江喜久造 都鯉中 清元好寿太夫 桜川孝三
- ⑤世話役 清元民太夫、清元政次郎、荻江里八

258:慶應元・夏(序) 1865

- ①玉屋山三郎 ②岩瀬【119-62】／東急【103-20-4-1】 ③名寄せあり
- ④都六二 富本新次 荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川善孝 菅野文次郎 宇治喜美太夫 荻江三造 桜川兼次郎 都権平 都稲八 田子七平 荻江千蔵 富本半平 富本仲助 桜川寿六 桜川由次郎 荻江喜久造 都有中 桜川孝三 清元登美太夫 桜川松二 都久寿八 宇治鯉昇 清元喜代寿太夫
- ⑤世話役 清元民太夫、清元政次郎

259:慶応4・春(序) 1868

- ①玉屋山三郎 ②岩瀬【1-イ 53】／江博【84200053】／東誌【0792-45】 ③名寄せあり
- ④荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川善孝 菅野文次郎 宇治喜美太夫 荻江三造 桜川兼次郎 都権平 都稲八 田子七平 荻江千蔵 富本仲助 桜川寿六 荻江喜久造 花柳鯉昇 清元喜代寿太夫 清元文作 桜川正孝 清元家満太夫 桜川春孝 桜川松二 松の屋吉次 松の屋民中 菅野序橋 桜川孝八 松の屋緑枝 都呂中 菅野序作 松の屋志らく
- ⑤世話役 清元民太夫、都六二、富本新次

260:慶応4・4月(序) 1868

- ①玉屋山三郎 ②岩瀬【1-48】／関西【L23-300-87】／東急【103-20-5-1】／東誌【0792-33】 ③名寄せあり
- ④荻江千代作 清元栄喜太夫 花柳鳴助 桜川善孝 菅野文次郎 荻江三造 桜川兼次郎 都権平 都稲八 田子七平 荻江千蔵 富本仲助 桜川寿六 荻江喜久造 花柳鯉昇 清元喜代寿太夫 清元文作 桜川正孝 清元家満太夫 桜川春孝 桜川松二 松の屋吉次 松の屋民中 菅野序橋 桜川孝八 松の屋緑枝 都呂中 菅野序作 松の屋志らく
- ⑤世話役 清元民太夫、都六二、富本新次

4. 芸名索引

- ・芸名の読みは原則として推定による。
- ・芸名の表記は、同一人物と推定される芸名の中で一番多い表記を用いたが、周知の芸名は一般的な表記に統一した。また、芸名の別表記は[]内に記した。
- ・一つの芸名であるいていどの空白期間がある場合、世数が異なる、ないしその期間に別の芸名を名乗っていた可能性を含めて検討が必要だが、ここでは「/」を付すに留めた。
- ・専門分野がわかる肩書きが併記されている場合は()内に記した。ただし、その表記は一般的なものに改めた。
- ・男芸者名寄せの末尾に「惣芸者世話役」等の取りまとめ役として掲載されていた者については、芸名のあとに「★」を付した。
- ・芸名ごとに記した番号は、本文の通し番号に対応する。
- ・別名同一人物の可能性が高い場合には「→◎」として参考芸名を記したので、併せて参照されたい。
- ・「※」は筆者注。

【あ行】

浅住々佳陸…88、90、92、94

浅田東七…80

吾妻加賀太夫…131、132、133、134、136、
137、138、139、140、141、142、143、
144、145、146、147、148

→◎常磐津加賀太夫、富本加賀太夫、富本
加賀路太夫

吾妻路宮古太夫…96、97、98、99、100、
101、102、103、104、105、106、107、
108、109、110、111、112、113、116、
117、118

綾太夫 [あや太夫] (蘭八節) …75

嵐定七…67、69、70

嵐新介…69、70

→◎新介、中島新介

嵐長治…121

安和太夫…105、106

→◎常磐津安和太夫、富本安和太夫

石井宗叔…198、199

石井不夕 [石井不石、石井木石]…145、146、
147、148、150、175、176、177、178、
179、180、181、182、183、184、185

五十太夫…87、89、93、95

→◎豊竹五十太夫

市いち [一いち] (三味線) …20、24、25、
27、29、30

市川其東…96、97

→◎大坂屋其東、大薩摩其東、其東、松本
其東

市川定七…73

市川忠蔵…67、68、69、70、73

→◎忠蔵

市川長次郎 [市川長次、市川長二郎]…98、
99、100、101、102、103、104、105、
106、107

→◎長次郎

市郎兵衛 (三味線) …18

岩井又市…76、77、78、79、80、81、82、
83、84、85、86、91

→◎又市

岩次郎…123、125、126、127、128、129、

- 130
- 宇右衛門（河丈三味線）…5、6、7、8
 （三味線）…10、17、18、23、26、29、30、34
- 魚明太夫…121、122、123、124、125、126
- 宇治栄紫…229、230、231、232、233、235、238
- 宇治喜美太夫…243、245、246、247、248、249、250、251、252、253、254、255、256、257、258、259
- 宇治紫遊…236
 →㊦宇治紫有蝶
- 宇治紫有蝶…237、239
 →㊦宇治紫遊
- 宇治新口…190、191、192、193、194、195、198、199、200、201、202、203、204、205、206、207、208、209、210、211、212、213、214、215、216、217、218、219、220、221、222、230、243、245
- 宇治鯉昇…258
 →㊦林屋鯉昇、花柳鯉昇
- 宇八（声色）…74、75
 →㊦坂東宇八、大和屋宇八
- 宇平次〔宇兵治〕（河東流浄瑠璃）…3、4、8
 →㊦河丈
- 梅沢岩松…73
- 梅沢里八（三味線）…34、36、40、41、43、45、46、47、49、50、51、52、53、54、55、56、57、58、59、60、62
- 梅太夫…100、102
 →㊦竹本梅太夫
- 栄次郎…87、89、93、95
 （三味線）…75
 →㊦野沢栄次郎
- 永中〔栄中〕…15、21、24、25、27、29、30、32
 （一中節）…33、34、35、37
 （長唄）…38、41、43、45、46、48、50、51、52、53、54、55、56、58、59、60、61、62、63、64、65
 →㊦栄中
 栄中（一中節浄瑠璃）…36
 →㊦永中
- 江戸河東…22、24、27、29、30
 →㊦江戸太夫河東、十寸見河東
- 江戸享三郎…78、79、82、83、85、91
- 江戸章十郎…76、77、79、80、81、82、83、84、85、86、88、90、91
 →㊦庄十郎、章十郎
- 江戸太夫河東…9、10、14、15、17、18、19、20、23、26、29、30
 →㊦江戸河東、十寸見河東
- 海老屋幸介〔忍ひや幸介〕（浄瑠璃、声色、座持ち）…24
- 大坂屋其東…108、109、110
 →㊦市川其東、大薩摩其東、其東、松本其東
- 大坂屋五町★…88、90、92、94、99、100、101、102、103、104、105、106、107、108、109、110、111、112、113、114、115、116、117、149、157、158、159、160、161、162、163、164、165、166、167、168、169、170、171、172、175、176、177、178、179、180、181、182、183、184、185、186、187、188、189、190、191、192、193、194、195、196、197、198、199、200、201、202、203、204、205
 →㊦大谷五町（声色）、五町（声色）
- 大薩摩其東…107
 →㊦市川其東、大坂屋其東、其東、松本其東

大薩摩目吉…88、90、92、94、96、97、98、
 99、100、101、102、103、104、105、106、
 107
 大谷嘉吉…103、104、105
 大谷五町…73、98
 →㊦大坂屋五町（声色）、五町（声色）
 大谷小八（声色）…36、39、40、41、43
 →㊦小八（声色）
 大野里八…209、210、211、212、213
 岡村文吉★〔岡むら文吉〕…69、70、71、
 72、73、75、76、77、78、79
 岡安喜三郎…120、121
 岡安吉五郎…155
 岡安京次郎〔岡安京次郎〕…87、89、93、
 95
 岡安恭助…111
 岡安恭李…111
 岡安源治…119、120、121、122、123、124、
 125、126、127
 岡安源次郎…92、94
 岡安幸次郎〔岡安孝治郎、岡安幸治郎〕…88、
 90、108、109、110、111、112、113、114、
 115、127、128、129、130、131、132、
 133、134、135、136、137、138、139、
 140、141、142、143、144、145、146、
 147、148、150
 岡安伝次郎…122、124
 岡安文吉…92、94、96、97、98
 岡安文露…156
 荻江伊三郎…111、112、113
 荻江栄次…116、150、151、152、153、154
 荻江栄蔵…123、125、126、127、128、129、
 130、131、132、133、134、135、136、
 137、138、139、140、
 荻江折八…122、124、141、142、143、144、
 145、146、147
 荻江亀次〔荻江亀治〕…146、147、148、149、
 150、151、152、153、154、155、156、
 157、158、159、160、161、162、163、
 164、165、166、167、168、169、170、
 171、172、173、174、178、179、180、
 182、183、237、239
 荻江喜市…151、152、153、154、155、156、
 157、158、159、160、161、162
 荻江喜久造…255、256、257、258、259、
 260
 荻江喜十…143、144、145、146、147、148、
 149、150、151、152、153、154、155、
 156、157、158、159、160、161、162、
 163、164、165、166、167、168、169、
 170、171、172、175、176、177、178
 荻江吉四郎…118、119、120、121
 荻江恭賀…112、113、116
 荻江恭吉…114、115
 荻江恭助…112、113、114、115、116、117、
 118、119、120
 荻江恭蔵…114、115、116、117、118、119、
 120
 荻江金次郎…150、151、152、153、154、
 155、156
 荻江錦助…255、256
 荻江幸二…209、210、211、212、213、214、
 215、217
 荻江源次〔荻江源二〕…112、113、114、115、
 116、117、118
 荻江源蔵…111、112、113、114、115、118、
 120、121
 荻江五助…156、157、158、159、160、161、
 162、163
 荻江五郎助…231、232、233、235、238
 荻江才蔵…155、156
 荻江佐吉★…149、163、164、165、166、

- 167、168、169、170、171、172、173、
 174、175、176、177、178、179、180、
 181、182、183、184、185、186、187、
 188、189、190、191、191、192、193、
 194、195、196、197、198、199、200、
 201、202、203、204、205、206、207、
 208、209、210、211、212、213、214、
 215、216、217、218、219、220、221、
 222、223、224、225、226、227
- 荻江佐之助[荻江佐之介]…131、132、133、
 134、135、136、137、138、139、140、
 141、142、143、144、145、146、147、
 148、150、151、152、153、154、155、
 156、157、158、159、160、161、162、
 163、164、165
- 荻江三造…248、249、250、251、252、253、
 254、255、256、257、258、259、260
- 荻江正次…248
- 荻江松蔵…103、104、105、107、111、112、
 113、114、115、116、117、118、119、
 121、122、123、124、125、126、127、
 128、129、130、131、132、133、134、
 135、136、137、138、139、140、141、
 142、143、144、145、146、147、148、
 150、151、152、153、154、155、156、
 157、158、159、160
 →[㊦]松蔵、鳥羽屋松蔵
- 荻江新次…171、172
- 荻江甚四郎…127、128、129、130、131、
 132、133、134
- 荻江清寿…237、239、240
- 荻江千蔵…248、249、250、251、252、253、
 254、255、256、257、258、259、260
- 荻江太吉…148、149、152、155、156、157、
 158、159、160、161、162、163、164、
 165、166、167、168、169、170、172
- 荻江忠次郎[荻江忠二郎、荻江忠治]…114、
 115、116、117、118、141、142、143、
 144、145、146、147
- 荻江長次…160、161、162、163、164、165、
 166、167
- 荻江千代作…214、215、216、217、218、
 219、220、221、222、223、224、225、
 226、227、228、229、230、231、232、
 233、234、235、236、237、238、239、
 240、241、242、243、245、246、247、
 248、249、250、251、252、253、254、
 255、256、257、258、259、260
- 荻江千代次…212、213
- 荻江鉄次郎[荻江鉄治郎]…146、147、148、
 150、151、152、153、154
- 荻江伝吉★…121、122、123、124、125、
 126、127、128、129、130、131、132、
 133、134、135、136、137、138、139、
 140、141、142、143、144、145、146、
 147、148、150、151
- 荻江伝治…139、140
- 荻江藤吉…99、111、112、113、114、115、
 116、117、118、119、120、121、122、
 123、124、125、126、127、128、129、
 130、131、132、133、134、135、136、
 137、138、139、140、141、142、143、
 144、145、146、147、148/246、247
- 荻江藤五郎…155、156、157、158、159、
 160、161、162、163、164
- 荻江藤三郎[荻江藤三]…106、107、108、
 109/214、215、217
- 荻江藤治★[荻江藤次]…103、104、105、
 106、107、108、109、110、111、112、
 113、114、115、116、117、118、119、
 125、126、127、128、130、131、132、
 133、134、135、136、137、138、139、

- 140、141、142、143、144、145、146、
147、148、150、151、152、153、154、
181、182、183、184、185、186、187、
188、189、190、191、192、193、194、
195、196、197、198、199
- 荻江藤七…130、131、132、133、134
- 荻江藤十郎★…118、119、120、121、122、
123、124、125、126、127、128、129、
130、131、132、133、134、135、136、
137、138、139、140、141、142、143、
144、145、146、147、148、150、151、
152、153、154、228、229、230
- 荻江藤四郎…116、117、118/137、138、
139、140、141、142、143、144、145、
146、147
- 荻江藤蔵…106、107、108、109、110、111、
112、113、114、115、117、118、119、
120
→㊦藤蔵
- 荻江藤八…119、120、121、122、123、124、
125、126、127
- 荻江藤兵衛…69、70、73、76、77、88、90、
98、99、100、101、102、103、104、105、
106、107、108、109、110、111、112、
113、114、115、119、120、121、122、
123、124、125、126、127、128、129、
130、131、132、133、134、135
(長唄) …66、67
→㊦藤兵衛
- 荻江徳蔵…116、117、118、119、120、121、
122、123、124、125、126、127、128、
129、130、131、132、133、134、135、
136、137、138、139、140、141、142、
143、144
- 荻江半次郎…122、123、124、125、126、
127、128、129、130、131、132、133、
134、135、136、137、138、139、140、
141、142、143、144、145、146、147、
148、149、150、151、152、153、154、
155、156、157、158、159、160、161、
162、163、164、165、166、167、168、
169、170、171、172、173、174、175
→㊦三弦半次、半次郎(三味線)、山彦半
次郎
- 荻江文三郎[荻江文三]…106、107、108、
109、110、111、112、113、114、115
→㊦文三郎
- 荻江万蔵…114、115/192、193、194、195、
196、197、198、199
- 荻江安蔵…132、133、134
- 荻江与市[荻江與市、荻江与一]…121、122、
123、124、125、126、127
- 荻江里八★…214、215、216、217、218、
219、220、221、222、223、224、225、
226、227、228、229、230、231、232、
233、234、235、236、237、238、239、
240、241、242、243、245、246、247、
248、249、250、251、252、253、254、
255、256、257
- 荻江林露…101
- 荻江露助[荻江露介]…212、213、214、215、
216、217、218、219、220、221、222、
223、224、225、226、227、228、229、
230、231、232、233、234、235、238
- 荻江露泉…114、115
- 男女川正三…72
- 男女川富治…78
- 男女川富次郎[男女川富次]…69、70、73、
76、77、79、80、81、82、83、84、85、
86、87、89、91、93、95
- 男女川豊次[男女川豊治]…79、80、81、
82、83、84、85、91

【か行】

嘉吉…106

河丈（宇平次事）…8

（河東節浄瑠璃）…6、7

→㊦宇平次 [宇兵治]（河東流浄瑠璃）

嘉太夫（三味線）…36

要太夫（義太夫）…75

嘉兵衛 [かゑい]（河東三味線）…3、4

（狂言師 三味線）…6、7

（浄瑠璃）…16

（浄瑠璃 狂言師）…8

（三味線指南）…11

→㊦車屋嘉兵衛

鎌六平…228、229、230、231、232、233、
235、238

嘉六…130、132、133、134

→㊦都嘉六

季芋…131

菊沢八十七…116、117、118、119、120、
121、122、123、124、125、126、127、
128、129

喜三郎…127

岸川施餓鬼★…244

岸沢勝治郎…119、120、121

岸沢吉五郎…164

岸沢吉兵衛…165

岸沢金弥…116、117

岸沢才二…234、236、237、239、240、241、
242、243、245、246、247、248、249、
250、251、252、253、254、255、256、
257

岸沢三五郎…149/167、168、169、170、
171、172、173、174、175、176、177、
178、179、180、181、182、184

岸沢式佐…159、160、161、162、163、164、

165、166、171、176

岸沢治助…149、170、171、172

岸沢重五郎…122、123、124、125、127

岸沢松蔵★ [岸沢松造] …187、188、189、
190、191、192、193、194、195、196、
197、198、199、200、201、202、203、
204、205、206、207、208、209、210、
211、212、213、214、215、216、217、
218、219、220、221、222、223、224、
225、226、227、228、229、230、231、
232、233、234、235、236、237、238、
239、240、241、242、243、245、246、
247

岸沢仲助 [岸沢仲介]…164、165、166、171、
172、173、174、175

岸沢造酒蔵★ [岸沢酒造蔵] …149、163、
164、165、166、167、168、169、170、
171、172、173、174、175、176、177、
178、179、180、181、182、183、184、
185、186、187、188、189、190、191、
192、193、194、195、196、197、198、
199、200、201、202、203、204、205、
206、207、208、209、210、211、212、
213、214、215、216、217、218、219、
220、221、222、223、224、225、226、
227、228、229、230、231、232、233、
234、235、236、237、238、239、240、
241、242、243

岸沢八兵衛…166、167、168

喜七…74

→㊦野沢喜七

喜太郎（声色）…71、72、74

（長唄）…71

→㊦狐嶋喜太郎

吉十郎（三味線）…18

其東…112、113

- ㊦市川其東、大坂屋其東、大薩摩其東、
松本其東
喜名瀬長治…122、123、124、125、126、
127、128
衣笠扇藏…149/170、171、172、
杵屋米八…248、249
→㊦都米八
久右衛門（三味線）…17、18、20、22、23、
24、25、26、29、30、40、42、44
きょうせい（浄瑠璃）…18
喜世竹八十五郎〔清竹八十五郎、喜代竹八十
五郎、喜世竹八十郎〕（三味線）…46、49、
50、51、53、54、56、57、58、59、60、
61、62、63、65、66、67
→㊦清竹、千代竹八十五郎
喜代太夫…121
清元磯八…196、197、208、209、210、211
清元磯海太夫〔清元磯海太夫〕…216、217、
218、219、220、221、222、223、224、
225、226、227、228、229、230
清元栄喜太夫…219、220、222、223、224、
225、226、227、228、229、230、231、
232、233、234、235、236、237、238、
239、240、241、242、243、245、246、
247、248、249、250、251、252、253、
254、255、256、257、258、259、260
清元栄五郎…209、210、211、212、213、
214、215、216、217、218、219、220、
221、222、223、224、225、226、227、
228
清元喜代寿太夫…258、259、260
清元倉太夫…184、186、187、188、194、
195、196、197、198、199、200、201、
202、203、204
清元権平…248
→㊦都権平
清元齋造…248
清元齋兵衛〔清元齋兵衛〕…198、199、208
清元佐賀太夫…184、186、187、188
清元七兵衛…194、195、196、197、198、
199
清元新三…201、202、203/223、226、227、
228、229、230、231、232、233、234、
235、236、238、242
清元菌生太夫…184、186
→㊦富本菌生太夫
清元民太夫★…205、206、207、208、209、
210、211、212、213、214、215、216、
217、218、219、220、221、222、223、
224、225、226、227、228、229、230、
231、232、233、234、235、236、237、
238、239、240、241、242、243、245、
246、247、248、249、250、251、252、
253、254、255、256、257、258、259、
260
清元徳兵衛…179、180、181、182、183、
184、185、186、187、188、189、190、
191、192、193、194、195、196、197、
198、199、200、201、202、203、204、
205、206
清元登美太夫…258
清元鳴尾太夫…179、180、181
清元鳴海太夫…183、184、185、186、187、
188、189、190、191、192、193、194、
195、196、197、198、199、200、201、
202、203、204、205、206、207、208、
209、210、223、224、225、226、227、
228、229、230、231、232、235、238
清元巴満太夫…212、213、214、215、216、
217、218、219、220、221、222、225
清元秀太夫★…192、193、194、195、196、
197、198、199、200、201、202、203、

- 204、205、206、207、208、209、210、
211、212、213、214、215、216、217、
218、219、220、221、222、223、224、
225、226、227、228、229、230、231、
232、233、234、235、236、237、238、
239、240、241、242、243、245、246、
247、248
- 清元文作…259、260
- 清元政次郎★[清元政治郎、清元政次、清元
政治]…200、202、203、204、205、206、
207、208、209、210、211、212、213、
214、215、216、217、218、219、220、
221、222、223、224、225、226、227、
228、229、230、231、232、233、234、
235、236、237、238、239、240、241、
242、243、245、246、247、248、249、
250、251、252、253、254、255、256、
257、258
- 清元三登勢太夫…201
- 清元三登明太夫…200
- 清元宮古太夫…196、197、198、199、200、
201、202、203、204、205、206、207、
208
- 清元家満太夫…259、260
- 清元好寿太夫…257
- 清元若太夫[清元若太]…184、186、187、
188、189、190、191
- 清竹(三味線)…64
→◎喜世竹八十五郎(三味線)
- 久重なには太夫(浄瑠璃)…17
- 車屋嘉兵衛[車屋かゑい]…9
(浄瑠璃)…10
→◎嘉兵衛
- 慶吉(義太夫節)…75
- 源氏太夫…87、89、93、95
→◎宮藺源氏、宮藺源氏太夫
- 幸十郎(人形遣)…59、60、61、62、63、
64、65、74、75
→◎森竹幸十郎
- 小三郎(三味線)…75
→◎豊沢小三郎
- 狐嶋喜太郎…73
→◎喜太郎(声色)
- 狐嶋白兔[狐島白兎]…69、70、73
→◎白兔(人形遣)
- 狐嶋富士蔵[狐嶋富士ぞう]…69、70
→◎富士蔵
- 五町…93、95、96、97
(声色)…71、74、
- 小八(声色)…17、20、23
→◎大谷小八
- 小兵衛…75
- 今春平吉[こん春平吉、こんぱる平吉]…97、
99、100、101、102、103、104、105、
106、107、108、109、111、112、113、
114、115
- 【さ行】**
- 坂田吉蔵…114、115、116、117、118、119、
120、121、122、123、124、125、126
- 坂田彦兵衛…116、117、118、119、120、
121、122、123、124、125、126、127、
128、129、130、131、132、133、134
- 桜川兼次郎[桜川兼治郎]…248、249、250、
251、252、253、254、255、256、257、
258、259、260
- 桜川孝二郎[桜川孝二、桜川孝次郎、桜川孝
次]…234、236、237、239、240、242、243、
245、246、247
- 桜川孝三…233、242、243、245、246、247、
257、258
- 桜川孝八…259、260

桜川三孝…208、209、210、211、212、213、
 214、215、223、226、227、228、229、
 230、231、232、233、234、235、236、
 237、238、239
 桜川寿六…255、256、257、258、259、260
 桜川長次…250、251、252、253、254、255、
 256、257
 桜川常次郎…204
 桜川春孝…259、260
 桜川正孝…259、260
 桜川松二…258、259、260
 桜川善二…229、230、231、232、233、234、
 235、236、237、238、239、240、241、
 242、243、245、246、247
 桜川由次郎[桜川由二郎]…234、236、237、
 239、240、241、242、243、245、246、
 247、248、249、255、256、257、258
 桜川善孝[桜川善好]…208、209、210、231、
 232、233、234、235、236、237、238、
 239、240、241、242、243、245、246、
 247、248、249、250、251、252、253、
 254、255、256、257、258、259、260
 佐々木栄次郎…87、89、93、95
 佐々木豊次郎[佐々木豊治郎]…86、88、
 90、92、94
 左七(声色)…17、20、23
 定八(声色)…71
 →◎中島定八
 さわいち[さはいち](河東節)…28
 (三味線)…36
 沢村磯八…112、113、114、115
 三為…99、101、103、104、105、106
 三弦半次…91
 →◎荻江半次、半次郎、山彦半次郎
 次左衛門(三味線)
 七平…121
 →◎田子七平
 嶋一徳…116、117、118
 三味子利八…103、104、105、106、107、
 108、109、110、111、112、113、114、
 115、116、117、118、119、120、121、
 122、123、124、125、126、127、128、
 129、130、131、132、133、134、135、
 136、137、138、139、140、141、142、
 143、144、145、146、147
 寿老亀徳…155、156
 →◎富士亀徳
 正佐(浄瑠璃三味線)…12、13
 →◎鳥羽屋正佐
 庄十郎…87、89、93
 (半太夫節)…75
 →◎江戸章十郎、章十郎
 章十郎(三味線)…78
 →◎江戸章十郎、庄十郎
 松蔵…106
 (三味線)…75
 →◎荻江松蔵、鳥羽屋松蔵
 正伝陸奥太夫[正伝節陸奥太夫]…67、68、
 71、72、74、75
 庄八(河東節三味線)…6、7
 新介…75
 →◎嵐新介、中島新介
 すいりうけん(講釈)…45
 菅崎栄蔵…162、163、164
 菅野才蔵…190、191、197、198、199
 菅野序橋…259、260
 菅野序好…240、241、242、243、245、246、
 247、248
 菅野序作…242、243、245、246、247、259、
 260
 菅野序立[萱野序立]…237、239
 菅野助七…160、161

- 菅野清蔵…188
- 菅野忠次郎…149、163、164、165、166、
167、168、169、170、171、172、173、
174、175、176、177、178、179、180、
181、182、183、184、185、186、187、
189、190、191、192、193、194、195、
196、197、198、199、200、201、202、
203、204、205、206、207
- 菅野長次[菅野丁子]…184、186、187、188、
189、190、191、192、193、194、195、
196、197、198、199、200、201、202、
203、204、205、206、207、208、209、
210、211
- 菅野徳三郎…237、239、240、241、242、
243、245、246、247、248
→㊦富本徳三郎、名見崎徳三郎
- 菅野のん子…249、250、251、253
- 菅野秀次…184、186、187
- 菅野文次郎…248、249、250、251、252、
253、254、255、256、257、258、259、
260
- 菅野平次…198、199、200、201、202、203、
204、205、206
- 菅野松次[菅野松治]…205、206、207、208、
209、210、211、212、213、214、215、
216、217、218、221
- 菅野六平…234、236、237、239、240、241、
242
- 住吉太吉…150、151、153、154
- 清右衛門（声色）…20、23、24、25、26、
27、30、34
- 清三郎[清三]（三味線）…10、16、28、36、
40、42、44、46、47、48、49、50、51、
52、53、54、55、56、57、58、59、60、
61、62、63、64、65
- 清次…87、89、93、95
- ㊦中村清次、山下清次郎
- 清八（声色）…28
- 千調…105
- 千登万助[千登万介]…145、146、147、148、
150、151、152、153、154、155、156、
157、158、159、160、161、162、163、
164、165、166、167、168
- 其三味富八…116、117
- 【た行】**
- 高松喜鶴…190、191、192
- 高本齊橘…117
- 瀧川平吉 [瀧川平吉] …86、88、90、92、
94、96、98
→㊦長唄平吉、平吉
- 竹伊勢寿楽…98、99、101
→㊦竹本寿楽
- 竹伊勢屋住太郎…192
- 竹沢吾三郎…150、151
- 竹沢半四郎…76、77、78、79、80、82、83、
85、91、92、94
- 竹沢平吉★…99
- 竹沢平次★…92、94、96、97、98、100、
101、102、103、104、105、106
→㊦春富士平次、富沢平次、豊沢平次、山
彦平次、平次、野沢平次
※芸姓が複雑に変遷しているので要精査。
- 竹寿楽…103、104、105、106
→㊦竹伊勢寿楽、竹本寿楽
- 竹藤次…209、210、211、212、213、214、
215、216、217、218、219、220、221、
222、223、224、225、226、227、228、
229
- 竹万里…90
→㊦竹本万里、長門万里、万里、満太夫万
里

- 竹本岩太夫★…66、68、69、70、71、72、
73、74、75、76、77、78、79、80、81、
82、83、84、85、86、87、88、89、90、
91、92、94、96、97、98、99、101、103、
104、105、106、107、108、109、110、
111、112、113、114、115、116、117、
118、119、120、121、122、123、124、
125、126、127、128
→豊竹岩太夫
- 竹本梅太夫…51、101、103
→㊦梅太夫
- 竹本菝太夫…66、67、118
- 竹本斧太夫…161
- 竹本狩の太夫…123、125、126
- 竹本喜久太夫…159
- 竹本桐太夫…104、105、106
- 竹本久米太夫…121、122、123、124、125、
126、154、155、156
- 竹本小太夫…2、3、4、5
- 竹本小紋太夫…108、109
- 竹本小■太夫…86
- 竹本咲太夫…112、113、114、115
- 竹本定太夫…127、128、129、130、131、
132、133、134、135、136、137、138、
139、140、141、142、143、144、145、
146、147、148、150、151、152、153、
154、155、156、157
- 竹本沢太夫…189、190
- 竹本志喜太夫…119、120
- 竹本志津太夫…59、60、61、62、63
→㊦豊竹志津太夫
- 竹本嶋太夫…140、142、143、144、145、
146、147、148、149、150、151、152、
153、154、155、156、157、158、159、
160、163、164、165、166、167、168、
169、170、171、172、173、174、175、
176、177、178、179、180、181、182、
183、184、185
- 竹本寿楽…97
→㊦竹伊勢寿楽
- 竹本信太夫…131、132、133、134、135、
136、137、138、139、140、141、142、
143
- 竹本新太夫…6、7、42、68
→㊦豊竹新太夫
- 竹本瀧太夫…127、128、129、130、131、
132、133、134、135、136、138
- 竹本竹太夫…166、167、171、172
- 竹本千佐登太夫…118
- 竹本常太夫…6、7、
- 竹本妻太夫…12、13、16/59、60、61、66、
67、68、69、70
- 竹本十三太夫…114、115
- 竹本名尾太夫…70、73
→㊦豊竹名尾太夫
- 竹本長門太夫…11、12、13/103
→㊦豊竹長門太夫、竹本長門太夫万里
- 竹本長門太夫万里…99、101
- 竹本初太夫…116、117、118
- 竹本浜太夫 [竹本濱太夫] …66、67、68、
69、70、71、72、73、74
- 竹本万里…75、80、81、84、86、92、94、
96、97、99、100、102、110
→㊦竹万里、長門万里、万里、満太夫万里
- 竹本秀太夫…141、142、143、144、145、
146
- 竹本巻太夫…141、177、178
- 竹本町太夫…46、47、48、49、50
- 竹本湊太夫…90
→㊦湊太夫 (義太夫節)、豊竹湊太夫
- 竹本元太夫…120、121、122、123、124、
125、126

竹本森太夫…34
 竹本遊里太夫…160、161
 竹本力太夫…107、108、109
 竹■作…207
 田子七平〔多子七平〕…122、123、124、125、
 126、127、128、129、130、131、132、
 133、134、135、136、137、138、139、
 140、141、142、143、144、145、146、
 147、148、149、150、151、152、153、
 154、155、156、157、158、159、160、
 161、162、163、164、165、166、167、
 168、169、170、171、172、173、174、
 175、176、177、178、179、180、181、
 182、183、184、185／205、206、207、
 208、209、210、211、212、213、214、
 215、216、217、218、219、220、221、
 222、223、224、225、226、227、228、
 229、242、243、245、248、249、250、
 251、252、253、254、255、256、257、
 258、259、260
 →㊦七平
 多知花介次郎〔多知花助次郎、多知花助治
 郎〕…150、151、152、153、154、155、
 156
 玉屋庄八…192
 忠五郎（三味線）…15、17、21、22、23、
 24、26、27、29、30、31、32、34
 忠蔵（声色）…71、74
 →㊦市川忠蔵
 忠八（声色）…71、72、74
 →㊦中島忠八
 長次郎…96、97
 →㊦市川長次郎
 千代竹八十五郎…41、43
 →㊦清竹、喜世竹八十五郎
 蔦屋次郎吉★〔蔦屋治郎吉〕…92、94、96、
 97、99、100、101、102、103
 →㊦野沢次郎吉
 蔦屋太十郎〔蔦屋太重郎〕（三味線）…51、
 53、54、55、56、57
 堤重次郎…112、113
 鶴賀柵太夫〔鶴賀升太夫〕…116、117、118、
 119、120、121、122、123、124、125、
 126、127、128、129
 鶴賀若狭太夫…122、124
 鶴沢蟻八…118
 鶴沢市造…200、201、202、203、204、205、
 206、207
 鶴沢喜一…121、122、123、124、125、126
 鶴沢桂蔵…209、210、211、215、216、217、
 218、219、220、221、222、223、224、
 225、226、227、228、229、230、231
 鶴沢幸二〔鶴沢幸次〕…194、195、196、197、
 198、199、200、201、202、203、204、
 205、206、207、208
 鶴沢駒助〔鶴沢高麗助〕…177、178、179、
 180、181
 鶴沢三作…114、115
 鶴沢惣助★〔鶴沢宗助、鶴沢惣介〕…127、
 128、129、130、131、132、133、134、
 135、136、137、138、139、140、141、
 142、143、144、145、146、147、148、
 150、151、152、153、154、155、156
 鶴沢藤五郎…76
 →㊦鶴沢東五郎、富沢藤五郎、富沢東五郎
 鶴沢東五郎…77
 →㊦鶴沢藤五郎、富沢藤五郎、富沢東五郎
 鶴沢富次郎…151、152、153、154、155、
 156、157、158、159
 鶴屋惣助★…149、157、158、159、160、
 161、162、163、164、165、166、167、
 168、169、170、171、172、173、174、

- 175、176、177、178、179、180、181、
182、183、184、185、186、187、188、
189、190、191、192、193、194、195
- 手妻龜丈…99、100、101、102
- 東喜（箏）…75
- 洞岡…87、89、93、95
→㊦宮橋洞岡
- 桃里安七…126、127、128
→㊦安七
- 藤蔵…105
→㊦荻江藤蔵
- 藤兵衛（長唄）…68、71、72、74、75
→㊦荻江藤兵衛
- 常盤木同…99、101
- 常磐津明石太夫…149／170、171、172、173、
174、175、176、177、178、179、180、
181、182
- 常磐津綾蔵…122、123、124、125、130、
131、132、133、134、135
- 常磐津安和太夫…107、164、165、166、167、
168、169
→㊦安和太夫、富本安和太夫
- 常磐津出雲太夫…117、118、119、120、121、
122、123、124、125、126、127、128、
129、130、131、132、133、134、135、
136、138
- 常磐津尾賀太夫…171、172、173、174、175、
176、177、178、179、180、181、182、
183
- 常磐津尾登太夫…149、170
- 常磐津小野太夫…122、123、124、125、127
- 常磐津加賀太夫…127、128、129、130、135
→㊦吾妻加賀太夫、富本加賀太夫、富本加
賀路太夫
- 常磐津清太夫…120
- 常磐津喜代太夫…184、186、187
- 常磐津静太夫…204、205、206、207、208、
209、210、211、212、213、214、215、
216、217、218、219、220、221、222、
223、224、225、226、227、228、229、
230、231、232、233、234、235、236、
237、238、239、240、241、242、243、
245、246、247
- 常磐津鈴廉太夫…149、170、171
- 常磐津瀧太夫 [常磐津滝太夫] 149、164、
165、166、167、168、169、170、171、
172、173、174、175、176、177、178、
179、180、181、182、183、184、185、
186、187、188、189、190、191
- 常磐津民太夫…130
- 常磐津綱太夫…159、160
→㊦富本綱太夫
- 常磐津出羽太夫…163、164、165、166、167
- 常磐津常盤太夫…122、123、124、125、126
- 常磐津長門太夫…168、169
- 常磐津鳴戸太夫…162、163、173、174、175
- 常磐津久太夫…128、130、131、132、133、
134、135
- 常磐津文録★ [常磐津文録、常磐津文六] …
192、193、194、195、196、197、198、
199、200、201、202、203、204、205、
206、207、208、209、210、211、212、
213、214、215、216、217、218、219、
220、221、222、223、224、225、226、
227
- 常磐津政太夫…114、115、116
- 常磐津柵太夫…86、88
- 常磐津造酒賀…163、164
- 常磐津造酒太夫…137、139、140、141、142、
143、144、145、146、147、148、150、
151、152、153、154、155、156、157、
158、159、160、161、162

常磐津三満寿太夫…249、250、251、253
 常磐津大和太夫…107、108、109、110
 常磐津芳蔵…126、127、128、129
 常磐津和吉…127
 鳥羽屋…22
 鳥羽屋市太…111
 鳥羽屋岩松…71、72、74
 鳥羽屋右京…50、51、52、53、54、55、57、
 58
 鳥羽屋喜四郎…103、104、105、106
 鳥羽屋吉十郎…34、36
 鳥羽屋小三次…209、210、211、212、213、
 214、215、216、217、218、219、220、
 221、222、223、224、225、226、227、
 228、229、230、231、232、235、238
 鳥羽屋十次郎…114、115
 鳥羽屋正佐 [鳥羽屋正佐 (三味線)] …17、
 18、20、22、23、26、29、30、34、35、
 36、38、39、40、41、42、43、44、45、
 46、48、49、50、51、52、53、55、56、
 58、59、60、61、62、63、64、65、66、
 67、68、69、70、71
 →◎正佐 (浄瑠璃三味線)
 鳥羽屋松蔵 [鳥羽屋庄蔵] …76、77、78、
 79、80、81、82、83、84、85、86、87、
 88、89、90、91、92、93、94、95、96、
 97、98、99、100、101、102
 →◎荻江松蔵、松蔵
 鳥羽屋甚三郎…116、117
 鳥羽屋清次…160、161、162
 鳥羽屋善蔵 [鳥羽屋善ぞう] …66、67、68、
 69、70
 鳥羽屋太十郎 [鳥羽屋太十] …71、72、73、
 74、96、97、99、100、101、102、103、
 104、105、106
 鳥羽屋富二…102
 →◎鳥羽屋豊二の誤記か。
 鳥羽屋豊二…99、100、101
 →◎鳥羽屋富二
 鳥羽屋兵助★…111、112、113、114、115、
 116、117、118
 →◎富本兵助、名見崎兵助
 鳥羽屋弁蔵 [鳥羽屋弁ぞう] …69、70、71、
 72、73、74、75
 鳥羽屋弥十郎…98
 鳥羽屋里桂 [鳥羽屋里慶] …103、104、105、
 106、107、108、109、110
 鳥羽屋里七…171
 鳥羽屋里夕…132、133、134
 鳥羽屋里長…120/129、130、131、132、
 133、134、135、136、137、138、139
 鳥羽屋里八…177、178、179、180、181、
 182、183、184、185、186、187、188、
 189、190、191、192、193、194、195、
 196
 富沢伊三郎…78
 富沢乙吉…48
 富沢藤五郎…66、67、69、70、71、72、73、
 74
 →◎鶴沢藤五郎、鶴沢東五郎、富沢東五郎
 富沢東五郎…75
 →◎鶴沢藤五郎、鶴沢東五郎、富沢藤五郎
 富沢半五郎 [富沢半五、富沢半吾] …71、
 72、73、74、75、76、77
 富沢文次郎 [富沢文次] …66、67
 富沢平次…73
 →◎春富士平次、平次、豊沢平次、山彦平
 次、竹沢平次、野沢平次
 ※芸姓が複雑に変遷しているので要精査。
 富沢里かう [富沢利かう、富沢りかう]…41、
 42、43、44、47、49、50、51、52、53、
 54、58、59、60、61、62、63、65/80

- ㊦利香
- 富沢林蔵 [富沢りんぞう、富沢りんそう、富沢里んそう、富沢里ん蔵、富沢りん蔵] …46、47、50、51、52、53、56、57、58、59、60、61、62、63、64、66、67、71、72、73
- 富沢■次郎…71
- 富次（三味線）…72
- 富次郎…102
（長唄）…68、74、75
- 富名太夫…102
- 富本安家太夫…161、162、163
- 富本安和太夫 [富本阿波太夫] …99、100、101、102、103、104、108、109、110、111、112、113、114、115、116、117、118、119、120、121、122、124、125、126、127、128、129、130、131、132、133、134、136、137、138、139、150、151、152、153、154、155、156、159、160、161/216、218、219、220、221、222、223、224、225、226、227、228、229、230、231、232、235、238
→㊦安和太夫、常磐津安和太夫
- 富本和泉太夫…147、148
- 富本伊勢太夫 [富本伊世太夫] …143、144、145、146、147、148、150、151、152、153、154、155、156、157、158、159、160、161、162、163、164、165、166、167、168、169
- 富本磯八…212、213
- 富本市蔵…125、126、127、128、129
- 富本斎宮…46、47、48、49、50、51、52
- 富本斎宮太夫…38、39、40、41、44
- 富本加賀路太夫…107、108、109、110
→㊦吾妻加賀太夫、常磐津加賀太夫、富本加賀太夫
- 富本加賀太夫…112、113、114、115
→㊦吾妻加賀太夫、常磐津加賀太夫、富本加賀路太夫
- 富本喜勢太夫…206、207
- 富本喜和太夫…149、159、160、161、162、163、164、165、166、167、168、169、170
- 富本鯉七 [富本こみ七] …176、177、178、179、180、181、182
- 富本斎二…204、205
- 富本志名太夫…120、121、122、123、124、125、126、127、128、129、130、131、132、133、134、135、136、137、138、139、140、141、142、143、144、145、146、147、148、150、151、152、176、177
- 富本嶋太夫…114、115/129、130、131、132、133、134、135、136、137、138、139、140、179、181/182、183
- 富本十五郎…121
- 富本新次★ [富本新治、富本新二] …209、210、211、212、213、214、215、216、217、218、219、220、221、222、223、224、225、226、227、228、229、230、231、232、233、234、235、236、237、238、239、240、241、242、243、245、246、247、248、249、250、251、252、253、254、255、256、257、258、259、260
- 富本清次 [富本清二] …200、201、202、203、204、205、206、207、208、209、210、211、212、213、214、215、216、217、218、219、220、221、222、223、224、225、226、227、228、229、230、231、232、233、234、235、236、238
- 富本袖太夫…192、193、194

- 富本蘭生太夫…179、181
→㊦清元蘭生太夫
- 富本多喜太夫…232、233、234、235、238
- 富本竹作…197、198、199、200、201、202、
203、204、205、206、207
- 富本たみ…48
- 富本千代太夫…186、187、188
- 富本筑波太夫…108、109、110
- 富本綱太夫…149／170、171、172、173、
174／211、212、213、214、215、216、
217、218、219、220、221、222、223、
224、225、226、227、228、229、230、
231、232、233、234、235、236、237、
238、239、240、241、242、243、245、
246、247
→㊦常磐津綱太夫
- 富本妻太夫…129、130、131、132、133、
134、135、136、137、138、139、140、
141、142、143、144、145、146、147、
148、150、151、152、153、154、155、
156
- 富本登喜太夫…103、104、105
- 富本時太夫…122、124
- 富本徳三郎…214
→㊦名見崎徳三郎、菅野徳三郎
- 富本豊喜太夫…106、107、108、109、110
／123、125、126
- 富本豊志太夫…106／141、142、143、144、
145、146、147、148、150、151、152、
153、154、160、161、162
- 富本豊満太夫…160、161、162、163
- 富本豊美太夫…149／163、164、165、166、
167、168、169、170、171、172、173、
174、175、176、177、178、179、180、
181、182、183、184、185、186、187、
188、189、190、191、192、193、194、
195、196、197、198、199、200、201、
202、203、204、205、206、207、208、
209、210、211
- 富本豊名太夫…101
- 富本豊和太夫…150、151、152、153、154、
155、156、157／197、198、199、200、
201、202、203、204
- 富本登和太夫…158、159
- 富本仲助…252、254、255、256、257、258、
259、260
- 富本仲太夫…187／212、213、214、215、
217
- 富本春太夫…139、140、141、142、143、
146
- 富本半平…252、254、255、256、257、258
- 富本秀太夫…120、121、122、123、124、
125、126、127、128、129、130、131、
132、133、134、135、136
- 富本富士太夫…120、121、122、123、124、
125、126、127、128、129、130、131、
132、133、134、135、136、137、138、
139、140、145
- 富本豊前掾…38、41
- 富本兵助★…119、120、121、122、123、
124、125、126、127
→㊦鳥羽屋兵助、名見崎兵助
- 富本政吉…160、161、162、163
- 富本増太夫…171、172、173、174、175、
176、177、178、179、180、181、182、
183、184、185、186、187、188、189、
190、191、192、193、194、195、196、
197、198、199、200、201
- 富本松太夫…208、209、210、211、212、
213、214、215、216、217、218、219、
220、221、222
- 富本美名太夫…116

- 富本湊太夫…149、157、158、159、160、
161、162、163、164、165、166、167、
168、169、170、171、172、173、174、
175、176、177、178、179、180、181、
182、183
- 富本宮太夫…119、120、130、131
- 富本美和太夫…132、133、134
- 富本八十太夫…182、183/204、205、206
- 富本与佐太夫〔富本与三太夫〕…183、184、
185、186、187/203、204、205、206、
207、208、209、210、211、212、213、
214
→㊦都与佐太夫
- 富本林蔵…184、185、186、187、188、189、
190、191、192、193、194、195、196、
197、200、201、202、203、207、208、
209、210、211、212、213
- 富本六次…208、209、210、211
- 富本■■■…90
- 友蔵（三味線）…75
- 豊沢小三郎〔豊澤小三郎〕…76、77、78、
79、81、82、83、85、88、90、91
→㊦小三郎（三味線）
- 豊沢小次郎…80
- 豊沢平次★…76、77、80、84、86、88、90
→㊦春富士平次、富沢平次、平次、山彦平
次、竹沢平次、野沢平次
※芸姓が複雑に変遷しているので要精査。
- 豊沢里公〔豊沢利香〕…78、79、82、83、
85、91
- 豊次…99、101
→㊦豊次郎
- 豊次郎…100
→㊦豊次
- 豊竹麻太夫…19、21、22、24、25、27、28、
29、30、32、33、34、35、37、38、40、
41、43、45、46、47、49、50、51、52、
53、54、56、57、58
→㊦豊竹浅太夫
- 豊竹浅太夫…17、18/42、44、48
→㊦豊竹麻太夫
- 豊竹いせ吉…46、47、49
- 豊竹五十太夫…78、79、80、81、82、83、
84、85、86、91
→㊦五十太夫
- 豊竹岩太夫★…67/93、95
→㊦竹本岩太夫
- 豊竹荻作太夫…51、52
- 豊竹荻太夫…38、41、43、45、58、59、60、
61、62
- 豊竹乙女太夫…88、90、92、94
- 豊竹織太夫…71、72
- 豊竹折太夫…58、59、60、61、62
- 豊竹兼太夫〔豊竹かね太夫〕…18、19、20、
21、22、24、25、26、27、29、30、32、
33、34、37、38、41、42、43、44、45、
46、47、49、50、51、52、53、54、55、
57、58、59、60、61、62、63
→㊦豊竹金太夫
- 豊竹金太夫…48
→㊦豊竹兼太夫
- 豊竹菊太夫…76、78、79、80、81、82、83、
85、91
- 豊竹菊太郎…77
※「豊竹菊太夫」の誤りか。
- 豊竹喜代太夫…32、33、34
- 豊竹佐賀太夫…76、77
- 豊竹里太夫…71、72、73、74
- 豊竹志加太夫…53、54、55、57、58
- 豊竹志津太夫〔豊竹しつ太夫〕…66、67、
68、69、70、71、72、73、74、75
→㊦竹本志津太夫

豊竹嶋太夫…9、10、17、18、20、22、24、
25、27、29、30

豊竹新太夫…5、8/38、41、43、45、46、
47、48、50、51、52、53、54、55、56、
57、58、59、60、61、62、63、64、66、
67

→㊦竹本新太夫

豊竹民太夫 [豊竹たみ太夫] …69、70

豊竹妻太夫…14、15、17、18、20、22、23、
24、25、26、27、29、30、32、33、34、
37、38、40、41、42、43、44、45、46、
47、49、50、58

豊竹歳太夫 [豊竹年太夫] …69、70、73

豊竹名尾太夫 [豊竹なを太夫、豊竹直太夫]
…66、67、68、69、71、72、74

→㊦竹本名尾太夫

豊竹長門太夫…14、15、16/32、33、34

→㊦竹本長門太夫

豊竹平治…78

豊竹湊太夫…46

→㊦竹本湊太夫、湊太夫（義太夫節）

豊竹八代太夫…78

豊名太夫…100、101

【な行】

長唄仙四郎…90

長唄平吉…78、79、82、83、85、91

→㊦瀧川平吉、平吉

中島新介…67

→㊦嵐新介、新介

中島忠八…67、68、69、70、73

→㊦忠八

中島定八…68

→㊦定八

長門万里…104、105、106、107、108、109、
111、112、113

→㊦竹万里、竹本万里、万里、満太夫万里
長門屋専助★…149、157、158、159、160、
161、162、163、164、165、166、167、
168、169、170、171、172、173、174、
175、176、177、178

中村久蔵…149、169、170、171、172、173、
174、175、176、177、178、179、180、
181、182、183、184、185、186、187、
188、189、190、191、192、193、194、
195、196

中村金平…145、146、147、148、150、151、
152、153、154、155、156

中村国蔵…132、133、134

中村清次…80、86

→㊦清次、山下清次

中村南甫★…212、213、214、215、126、
217、218、219、220、221、222、223、
224、225、226、227、228、229、230、
231、232、233、234、335、236、237、
238、239、240

中村安五郎…98、116、117、118、119、120

浪花津和国太夫…76、77、78、79、80、81、
82、83、84、85、86、91

→㊦和国太夫

浪花津和佐八…88、90

名見崎市十郎…120、137、138

名見崎市太郎 [名見崎市太] …107、108、
109、110、114、115、122、123、124、
125

名見崎喜十…184、186、187

名見崎喜惣治 [名見崎喜惣二] …129、130、
131

名見崎藤三郎…147、148、150、151、152、
153、154、155、156

名見崎藤四郎…152、153、154、155、156、
157、158、159

- 名見崎徳三郎…209、210、211、212、213、
215、216、217、218、219、220、221、
222、223、224、225、226、227、228、
229、230、231、232、233、234、235、
236、238
→㊦富本徳三郎、菅野徳三郎
- 名見崎徳治…106、107、108、109、110、
114、115/150、151、152、153、154、
155、156
- 名見崎八五郎…107、108、109、110、114、
115
- 名見崎兵助…107、108、109、110
→㊦鳥羽屋兵助、富本兵助
- 名見崎万蔵…108、109、110
- 名見崎安治…116、117、118、119、120、
121、122、123、124、125、126、127、
128、129、135、136、138/184、185、
186、187、189、190、191、192、193、
194、195、196、197、198、199
→㊦名見崎安治郎
- 名見崎安治郎…130、131、132、133、134、
137、139、140、141、142、143、144、
145、146、147、148
→㊦名見崎安治
- 名見崎友次郎 [名見崎友次、名見崎友治] …
137、139、140、141、142、143、144、
145、146、147、148、150、151、152、
153、154、155、156、157、158
- 名見崎与作…178
- 名見崎由蔵 [名見崎芳蔵] …148、150、151
- 成田紋次…189、190、191、192、193、194、
195、196、197、198、199
- 南部屋嘉十 [南部屋河十] …111、112、113、
116、117
- 西川専蔵…121
- 西川米太郎…212、213
- 西川林蔵…214、215、216、217、218、219、
220、221、222、223、224、225、226、
227、228、229
→㊦花柳林蔵
- 錦屋惣八 [錦や惣八] …131、132、133、134、
135、136、137、138、139、140、141、
142、143、144、145、146、147、148、
150、151、152、153、154、155、156、
157、158、159、160、161、162、163、
164、165、166
- 錦屋平治…129、130
- 西嶋仁三郎 [西島仁三郎] …86、88、90、
92、94、96、97、98、99
→㊦仁三郎、富士田仁三郎
- 仁三郎…87、89、93、95
→㊦西嶋仁三郎、富士田仁三郎
- 野川正三…73
- 野沢伊佐吉…135、136、137、138、139、
140、142、142、143
- 野沢栄次郎★…76、77、78、79、80、81、
82、83、84、85、86、88、89、90、91、
92、94、96、97、98、99、100、101、102、
103、104、105、106、107、108、109、
110、111、112、113、114、115、116、
117、118、119、120、121、122、123、
124、125、126、127、128、129、130、
131、132、133、134、135、136、137、
138、139、140、141、142、143、144、
145、146、147、148
→㊦栄次郎、栄次郎 (三味線)
- 野沢喜七…66、67、68、69、70、71、72、
73
→㊦喜七
- 野沢繁治…129、130、131、132、133、134、
135
- 野沢繁八…78

野沢次郎吉★[野沢治郎吉]…66、67、68、
69、70、71、72、73、75、76、77、78、
79、80、81、82、83、84、85、86、87、
88、89、90、91、93、95、98
→㊦葛屋次郎吉

野沢専次…151、152、153、154、155、156、
157、158、159、160、161、162、163、
164、165、166、167、168、169、170、
171、172、173、174、175、176、177、
178、179、180、181

野沢長次郎[野沢長治郎]…131、132、133、
134、135、136、137、138、139、140、
141、142、143、144、145、146、147

野沢富吉…129、130、131、137、139、140、
141、142、148

野沢仲七…135

野沢半次…149、150

野沢彦五郎…120

野沢文三郎…41、42、43、44、45、46、47、
51、52、53、54、55、57、58、59、60、
61、62、63、64、65、68、69、70、71、
72、73

野沢平吉★…66、67、69、70、71、72、73、
74、75、76、77、78、79、80、82、83、
85、91/108、109、110

野沢平次★…107、111、112、113、114、115
→㊦春富士平次、富沢平次、豊沢平次、山
彦平次、竹沢平次、平次
※芸姓が複雑に変遷しているので要精査。

野沢紋三郎…51、53、54、55、56、57、58、
59、60、61、62、63、65、66、67

野沢八助「やすけ」…182、183

野沢弥八…80

【は行】

はいじゅ (三味線) …20

白兎…68、72
(人形遣) …71
→㊦狐嶋白兎

花柳鳴助…233、234、236、237、239、240、
241、242、243、245、246、247、248、
249、250、251、252、253、254、255、
256、257、258、259、260

花柳鯉昇…239、242、243、244、259、260
→㊦宇治鯉昇、林屋鯉昇

花柳林蔵…230、231、232、233、234、235、
236、237、238
→㊦西川林蔵

林屋鯉昇…198、199、200、201、202、203、
204、205、206、207、208、209、210、
211、212、213、214、215、216、217、
218、219、220、221、222、223、224、
225、226、227、228、229、230、231、
232、233、234、235、236、237、238、
240、241
→㊦宇治鯉昇、花柳鯉昇

春 (声色) …68

春富士出太夫…86、88、90

春富士哥陸 [かろく (正伝節)、春富士かろ
く] …71、76、77、78、79、80、81、82、
83、84、85、86、91

春富士正伝…52、53、54、55、57、58

春富士平次…69、70
→㊦平次、富沢平次、豊沢平次、山彦平次、
竹沢平次、野沢平次
※芸姓が複雑に変遷しているので要精査。

春富士陸奥太夫…69、70、73、76、77、78、
79、80、81、82、83、84、85、87、89、
91、92、93、94、95、96、97、98、99、
100、101、102、103、104、105、106、
107、108、109、110

半九郎 (三味線) …16、17、18

半次郎…70、87、89、93、95
（三味線）…68、71、72、73、74、75、
76、77、78、79、81、82、83、84、85
→㊦荻江半次郎、山彦半次郎
伴中（浄瑠璃）…21
→㊦宮古路伴中
坂東宇八…76、77、78、79、81、82、83、
84、85、91
→㊦宇八（声色）、大和屋宇八
坂東金蔵…127、128、129、130、131、132、
133、134
万里…95
→㊦竹万里、竹本万里、長門万里、満太夫
万里
平野屋伝七★…205、206、207、208、209、
210、211、212、213、214、215、216、
217、218、219、220、221
福舩屋嘉吉〔福升屋嘉吉〕…107、108、109、
111、112、113、114、115、116、117
→㊦嘉吉
ふけん（半太夫三味線）…46、47、49、50、
51、52
藤井菊次…112、113
藤井弥太郎…112、113
富士亀徳…137、139、140、141、142、143、
144、145、146、147、148、150、151、
152、153、154
→㊦寿老亀徳
富士蔵〔ふじ蔵〕…68
→㊦狐嶋富士蔵
富士田仁三郎…74
→㊦西嶋仁三郎、仁三郎
文三郎…105
→㊦荻江文三郎
平吉…87、89、93、95
→㊦瀧川平吉、長唄平吉

平次★…93
（三味線）…67、71、72、75、76、79
→㊦春富士平次、富沢平次、豊沢平次、山
彦平次、竹沢平次、野沢平次
※芸姓が複雑に変遷しているので要精査。
平二（三味線）…68
平七（三味線）…74
平四郎（河東節浄瑠璃）…6、7

【ま行】

増田半二郎〔増田半次郎〕…86、88、90、
92、94
十寸見栄示…148
十寸見河洲〔十寸見河州〕…149、150、151、
152、153、154、155、156、157、158、
159、160、161、162、163、164、165、
166、167、168、169、170、171、172、
173、174、175、176、177、178、179、
180、181、182、183、184、185、186、
188、189、190、191、192、193、194、
195、196、197、200、201、202、203、
204、205、206、207、208、209、210
十寸見河東…187
→㊦江戸河東、江戸太夫河東
十寸見沙洲…233、234
十寸見東佐…61、62、63、64、65、66、67、
68、69、70、71、72、73、74、75、76、
77、78、79、80、81、82、83、84、85、
86、87、88、89、90、91、92、93、94、
95、96、97、98
十寸見東支…111、112、113、114、115、116、
117、120
十寸見東示…79、80、81、82、83、84、85、
86、87、88、89、91、93、95
十寸見東洲…61、62、63、64、65、66、67、
68、69、70、71、72、73、74、75、76、

- 77、78、79、80、81、82、83、84、85、
86、87、88、89、90、91、92、93、94、
95、96、97、98、99、100、101、102、
103、104、105、106、107、108、109、
110／184、186、187、188、189、190、
191、192、193、194、195、196、197、
198、199、200、201、202、203、204、
205、206、207
- 十寸見東川…163
- 十寸見平洲…248、249
→㊦十寸見平尔
- 十寸見平尔…250、251、253
→㊦十寸見平洲
- 十寸見蘭示〔十寸見蘭爾、十寸見蘭次〕…90、
92、94、98、99、100、101、102、103、
104、105、106、107、108、109、110、
111、112、113、114、115、116、117、
118、121、122、123、124、125、126、
127、128、129、130、131、132、133、
134、135、136、137、138、139、140、
141、142、143、144、145、150、151、
152、153、154、155、156、157、158、
159、160、161
- 十寸見蘭洲〔十寸見らんじゅ、十寸見らんし
ゅ〕…42、47、50、51、52、54、58、59、
60、61、63、64、65、66、67、68、69、
70、71、72、73、74、75、76、77、78、
79、80、81、82、83、84、85、86、87、
88、89、90、91、93、95、96、97、98、
99、101、103、104、105、106、107、
108、109、110、111、112、113、114、
115、119、120、121、122、123、124、
125、126、127、128
- 十寸見和洲…211、212、213、214、215、
216、217、218、219、221、222、223、
224、225、226、227、228、229、230、
231、232、235、238
- 又市…87、89、93、95
(声色) …75
→㊦岩井又市
- 松坂八蔵…160、161、162、163
- 松島莊次郎…111、112、113
- 松永小十郎…116、117
- 松の屋吉次…259、260
- 松の屋志らく…259、260
- 松の屋民中…259、260
- 松の屋緑枝…259、260
- 松本其東…98、99、100、101、102、103、
104、105、106、111、114、115、116、
117
→㊦市川其東、大坂屋其東、大薩摩其東、
其東
- 松本源次郎〔松本源次、松本源治〕…143、
144、145、146、147、148、150、151、
152、153、154、155、156、157、158、
159、160、161、162、163、164、165、
166
- 松本重次〔松本重治、松本十治〕…172、173、
174、175、176、177
- 松山美家子〔松山宮子〕…210、211、212、
213、214、215、216、217、218、219、
220、221、222、223、224、225、226、
227、228、229、230、231、232、233、
234、235、236、237、238、239、240、
241、242
- 松山宮治…209
- 丸谷紫暁★…214、215、216、217、218、
219、220、221、222、223、224、225、
226、227、228、229、230
- 味中(浄瑠璃) …20、24
- 満太夫万里〔三津太夫万里、満太夫満里〕…
76、77、78、79、82、83、85、91

- ㊦竹万里、竹本万里、長門万里、万里
湊太夫（義太夫節）…36
→㊦竹本湊太夫、豊竹湊太夫
峯八…87、89、93、95
三保崎吉五郎…129、130、131、132、133、
134、135
三保崎久次〔三保崎久治〕…147、148、150、
151、152、153、154、155、156、157、
158、159、160、161、162、163、164、
165
三保崎兵助…128、129、130、131、132、
133、134、135、136、137、138、139
三保崎兵介…151
都稲八…258、259、260
都栄蔵…202
都栄中〔都栄仲〕…140、141、142、143、144、
145、146、147、148、150、151、152、
153、154、155、156、157、158、159、
160、161、162、163、164、165、166、
167、168
都嘉六…118、119、120／140、141、142、
143、144、145、146、147
→㊦嘉六
都吉蔵…137、138、139
都久寿八…258
都慶中…63、64、65
都権平…249、250、251、252、253、254、
255、256、257、258、259、260
→㊦清元権平
都三中…6、7
宮古路園七〔宮古路蘭七〕…103、104、105、
106
宮古路妻太夫…36
都重三…186、187、188、189、190、191、
192、193
都甚作…242、243、245、246、247
都千国〔都千こく、都仙国、都仙こく〕…41、
43、45、46、47／71、72、73、74、75、
76、77、78、79、80、81、82、83、84、
85、86、87、88、89、91、93
都千中…50、51、52、53、54、55、57、58
／184、186
都千仲…141、142、143、144
都太夫一中〔都太夫一仲〕…119、120、121、
122、123、124、125、126、127、128、
129、130、131、132、133、134、135、
136、137、138、139、140、141、142、
143、144、145、146、147、148、150、
151、152、153、154、155、156、157、
158、159、160、161、162、163
都太夫二中…23、26、29、30
宮古太夫伴中…6、7
→㊦伴中（浄瑠璃）
都東作…249、250、251、252、253、254
都桃中〔都藤中〕…149／170、171、172、
179、180、181、182、183、184、185、
186、187、188、189、190、191、192
都半中…67
都半卜★…111、112、113、114、115
都梅中…203、204、205、206、207
都文中…215、216、217、218、219、220、
221、222
都弁中…150、151、152、153、154
都味中（浄瑠璃）…4
都民中★〔都民仲〕…184、186、187、188、
189、190、191、192、193、194、195、
196、197、198、199、200、201、202、
203、204、205、206、207、208、209、
210、211、212、213、214、215、216、
217、218、219、220、221、222、223、
224、225、226、227、228、229、230、
231、232、233、234、235、236、237、

- 238、239
- 都八重太夫★…42、46、47、48、49、50、
51、53、54、55、56、57、58、59、60、
61、62、67、68、69、70、71、72、73、
74、75、76、77、78、79、80、81、82、
83、85、91
- 都八十太夫林中…19
- 都有中…234、236、237、239、240、241、
242、243、245、246、247、248、249、
250、251、252、253、254、255、256、
257、258
- 都与佐太夫★…223、224、225、226、227、
228、229、230、231、232、233、234、
235、236、237、238、239、240、241、
242、243、245、246、247、248
→㊦富本与佐太夫
- 都米八…250、251、252、253、254、255、
256、257
→㊦杵屋米八
- 都鯉中…256、257
- 都六二★〔都六次〕…212、213、214、215、
216、217、218、219、220、221、222、
223、224、225、226、227、228、229、
230、231、232、233、234、235、236、
237、238、239、240、241、242、243、
245、246、247、248、249、250、251、
252、253、254、255、256、257、258、
259、260
- 都呂中…259、260
- 都和甫…183、184、185、186、187
- 宮崎しうや（三味線）…28
- 宮崎宗三〔宮崎笑三、宮崎正三〕…176、177、
178、179、180、181、182、183、184、
185、186、187、188、189、190、191、
192、193、194、195、196、197
- 宮崎忠五郎…20、28、35、36／159、160、
161、162、181、182、183、184、185
- 宮崎文右衛門…64
- 宮崎安五郎…176、177、178、179、180、
182、183
- 宮崎友次〔宮崎友治〕…149／160、161、
162、163、164、165、166、167、
168、169、171、172、173、174、
176、177、178、179、180
- 宮崎与三九…181
- 宮沢乙吉（三味線）…34、36
- 宮菌綾太夫…76、77
- 宮菌喜代太夫…78
- 宮菌源氏…79、80、82、83、85、91
→㊦源氏太夫、宮菌源氏太夫
- 宮菌源氏太夫…81、84、92、94
→㊦源氏太夫、宮菌源氏
- 宮菌小園太夫…116
- 宮菌是太夫…112、113、114、115、122、
124
- 宮菌園七…86、88、90、116、117
- 宮橋洞岡…76
→㊦洞岡
- 宮橋洞鬼…78
- 宮本辰之助…160
- 村松野瓶〔むらまつ野瓶、村衾野瓶〕…69、
70、73
- 茂七〔宮崎茂七〕（三味線）…17
- 守蔵（声色）…72
- 森竹幸十郎…69、70、73、76、78、79、80、
82、83、85、91
（人形遣）…68、71、72、77
→㊦幸十郎
- 森竹小八…58
（人形遣）46、48

【や行】

弥市（長唄）…66、67、68
弥三五郎（三味線）…33
→㊦弥三郎
弥三郎（三味線）…20、21、22、23、24、
25、26、27、28、29、30、35、37、38
安五郎…97
安五郎（三味線）…28、36
安七…123、125
→桃里安七
八十五郎（声色）…34
（三味線）…20、23、24、25、26、27、
29、30
野平（長唄）…71、72
山下清次郎 [山下清次、山下清治] …78、
79、81、82、83、84、85、91
→㊦清次、中村清次
大和屋宇八…80、86
→㊦宇八（声色）、坂東宇八
山彦…92、94
→㊦荻江半次郎、三弦半次、半次郎、山
彦半次郎
山彦新九郎…54、55、66、67、68、69
山彦新次郎…148、150、151、152、153、
154、155、156、163
山彦藤治 [山彦藤二]…103、104、105、106、
107、108、109、110
→㊦山彦東次郎
山彦東次郎…99、100、101、102
→㊦山彦藤治
山彦半次郎 [山彦半二郎、山彦半治、山彦半
二、山彦半次] …69、80、86、87、88、
89、90、93、95、96、97、98、99、100、
101、102、103、104、105、106、107、
108、109、110、111、112、113、114、
115
→㊦荻江半次郎、三弦半次、半次郎、山

彦
山彦平次…82、83、85、91
→㊦春富士平次、富沢平次、豊沢平次、平
次、竹沢平次、野沢平次
※芸姓が複雑に変遷しているので要精査。
山彦文四郎…114、115、116、117、118、119、
120、121、122、123、124、125、126、
127、128、129、130、131、132、133、
134、135、136、137、138、139、140、
141、142、143、144、145、146、147、
148、150、151、152、153、154、155、
156
山彦文次郎…114、115、116、117、118、119、
120、121、122、123、124、125、126、
127、128、129、130、131、132、133、
134、135、136、137、138、139、140、
141、142、143、144、145、146、147、
148、150、151、152、153、154、155、
156、157、158、159、160、161、162、
163、164、165、166、167、168、169、
171
豊屋宗右衛門 [ゆたかや宗右衛門] …68、
69、70、71、72、73、74、83
芳沢嘉吉…79、82、83、85、91
芳沢新助 [よし沢新介、芳沢新介] …73、
76、77、78、79、80、82、83、85、91
吉田友蔵…119
与兵衛（箏）…4

【ら行】

楽中（浄瑠璃）…22
蘭示 [らんし]（河東節）…32
（浄瑠璃）…21、22、29、30
蘭洲（河東節）…27
（河東節浄瑠璃）…33
利香（三味線）…38

→㊦富沢里かう

利八（三味線）…15、21、22、23、24、25、
26、27、28、29、30、32、33、35、37、
38

林露…100、101、102

【わ行】

和国太夫…87、89、93、95

（菌八節）…75

→㊦浪花津和国太夫

【■】

■国半次郎…73

■■忠…71

5. 「吉原細見」に見られる男芸者小考

1) 「吉原細見」からみた初期富本節

曾村みずき

1. はじめに

今回の「吉原細見」調査を通して、男芸者一覧の中には劇場で活動している演奏者の名前が多く見られたというのが印象的で、とりわけ富本節については、演奏者の人数も、その登場回数も、他の豊後系浄瑠璃と比較すると大差をつけて多かった。本稿は、「吉原細見」で見られる男芸者のうち富本節の創始者である富本豊前掾を中心に、その周辺の富本節演奏者の吉原での活動から、初期富本節の展開について再考するものである。

富本節は、寛延1(1748)年8月に初世富本豊志太夫(後の初世富本豊前掾)が樹立した三味線音楽の一流派で、江戸豊後系浄瑠璃に属する種目である。富本節の歴史については岩沙慎一氏の『江戸豊後浄瑠璃史』¹⁾に詳しいが、現在にはその音楽が残っていないこともあり、他の豊後系浄瑠璃に比べるとあまり研究が進められていない。今回の調査で扱った「吉原細見」では、宝暦4(1754)年に初めて「富本」の芸姓が現れるが、それは富本節流祖である初世富本豊前掾とその弟子であり師匠のワキをつとめた初世富本斎宮太夫であった。そこで本稿では、初世、二世富本豊前掾を軸に、この二人が活躍した時期に彼らを支えた周囲の富本節奏者との関係性を示しながら、初期富本節の活動範囲を劇場出勤記録と照合させて明らかにしたい。

本稿の構成は、まず初世富本豊前掾とワキをつとめた初世富本斎宮太夫の動向から、富本節の草創期を確認する。続いて二世豊前掾の三味線方をつとめた初世、二世鳥羽屋里長、鳥羽屋兵助を取り上げ、一時は常磐津節にも属していた鳥羽屋里長、兵助の「吉原細見」での出演記録から、富本節の豊後系浄瑠璃の中での位置づけを考察する。なお、本稿で具体的な「吉原細見」の資料を参照する際には、前掲の「男芸者一覧(稿)」で付した通し番号も適宜併記する。

2. 初世富本豊前掾と初世富本斎宮太夫

本項では、富本節を樹立した初世富本豊前掾とワキの初世富本斎宮太夫の活動をまとめ、「吉原細見」でみられる出演状況と照らし合わせて富本節草創期を概観する。

初世富本豊前掾(1716-1764)は、豊後節の始祖である宮古路豊後掾(?-1750)の門弟で、初名は宮古路品太夫という。江戸で大流行した豊後節が元文1(1736)年に禁止されると、同門の文字太夫が関東、常磐津と改めて延享4(1747)年に常磐津節が成立し、品太夫はそのワキを語って、関東小文字太夫、初世常磐津小文字太夫となった。そして、寛延1(1748)年8月に小文字太夫は常磐津節から独立し、初世富本豊志太夫として富本節を樹立した。その後の改名時期は明らかではないが、宝暦1(1751)年11月までに初世富本豊前太夫を名乗り、さらに宝暦2(1752)年春までに受領して富本豊前掾藤原敬親となった。

¹⁾ 岩沙慎一『江戸豊後浄瑠璃史』 くろしお出版、1968年。

²江戸三座にも出演していた豊前掾であったが、初世常磐津文字太夫が全盛期を迎えていたこともあり、劇場出勤の数はそれほど多くはなかった。そして、宝暦9(1759)年春の森田座での出勤の後、宝暦11(1761)年3月中村座で富本筑前掾としてタテで出演しているの、それまでの2年間のうちに再び受領をして筑前掾となった。これ以降は劇場での演奏を中心に活動していったが、明和1(1764)年に49歳で病没した。

初世富本齋宮太夫(1727-1802)は、筑前で生まれ、寛保3(1743)年に江戸へ出て古路品太夫(後の初世富本豊前掾)の弟子となる。寛延1(1748)年の富本節樹立の際に富本齋宮太夫と名乗り、宝暦2-11(1752-61)年に師のワキをつとめたが、翌年には町人となり、清水太兵衛として米穀商となったと伝えられている。師の没後明和3(1766)年7月からは、師の子であり後に二世豊前掾となる午之助の後見として、清水権次郎の名で出勤するようになる。明和7(1770)年には富本伊津喜太夫、安永6(1777)年には富本齋宮太夫、天明7(1787)年には一時清水太兵衛を名乗り、さらに寛政6(1794)年に剃髪して延寿齋、5年後には延寿と改め出勤していたが、その後は二世齋宮太夫の後見をつとめた。名人と知られ、富本の基礎を固めた初世齋宮太夫であったが、享和2(1802)年に没した。また、高弟であった二世齋宮太夫は、後に清元節を成立させた初世清元延寿太夫となる人物であり、初世齋宮太夫の晩年には、共に清元節の礎となるような新しい浄瑠璃の工夫につとめた。

それでは具体的に「吉原細見」の内容をみてみよう。上記二名に関連した名前としては、初世富本豊前掾については宝暦4、5(1754、55)年(38、41)の「富本豊前掾」、初世富本齋宮太夫については宝暦4、5年(38-41、44)の「富本齋宮太夫」、宝暦7-10(1757-60)年(46-52)の「富本齋宮」がみられた。まずは「富本豊前掾」についてだが、初世豊前掾を受領したのが宝暦2(1752)年以前であること、また二世豊前掾の生年が宝暦4(1754)年であることから、この人物は初世富本豊前掾だと推定できる。続いて「富本齋宮太夫」、「富本齋宮」についてだが、初世富本齋宮太夫がこの名で活動していた期間は寛延1-宝暦11(1748-1761)年であり、今回の調査で登場した両名前もこの期間と合致するので、「富本齋宮太夫」、「富本齋宮」は共に初世富本齋宮太夫であると推定できる。また、「吉原細見」で両名の位置関係を確認すると、「富本齋宮太夫」は「あげ屋町」、「富本齋宮」は「中の町」と異なっているもののそれほど遠くはないので、同一人物とみてよいのではないかと思われる。宝暦12(1762)年から齋宮太夫は町人となってしまう、その後別名で劇場出勤をしてはいるものの、町人となった「清水太兵衛」、二世豊後掾の後見となった「清水権次郎」を始めとする改名後の名前は、以降の「吉原細見」ではみられない。

「富本豊前掾」は必ず「富本齋宮太夫」と共に登場しており、あげ屋町の同じ枠内に「富本豊前掾／ワキ富本齋宮太夫」と表記されていた。また、この両名が登場した資料2点(38、41)は共に版元が鱗形屋であったが、「富本齋宮太夫」のみが登場した資料3点(39、40、44)は版元が山本九左衛門であり、それぞれ異なっていることを指摘したい。

ここで、初世豊前掾の劇場出勤の少なさについてふれておく。同時期に初世常磐津文字太

² 安田文吉『常磐津節の基礎的研究』、70頁。

夫が劇場を中心に活動を行っていた一方で、初世豊前掾は「劇場出演に熱心でなかった」³ ということはこれまでも指摘されてきている。というのも、初世豊前掾は武家出身であったため、通人の大名たちを中心とした武士階級の愛護を受けており、劇場出演が少なくても地位を保つことができたからだとされる。今回の「吉原細見」調査の中では、初世豊前掾の名前が登場したのは2回だけであったが、座敷での演奏活動が中心であったようだ。そして、初世豊前掾が晩年に筑前掾を受領した意図について安田氏は、「それまでとは方針を変えて積極的に劇場に出演するためであった」⁴可能性を指摘している。豊前掾は筑前掾受領後数年でこの世を去ることとなったが、その間「筑前掾」の名前は「吉原細見」にはみられず、また二世以降の「豊前掾」の名前も挙がることはなかった。

以上のように、富本節創始期における初世富本豊前掾と初世富本斎宮太夫の動向について、「吉原細見」の情報から再考してきた。初世豊前掾は、その身の上からも座敷浄瑠璃を多く語っていたようで、その活動範囲が吉原にも及んでおり、劇場出勤をしながら座敷での活動も並行して行っていたことが再度明らかになった。晩年には劇場出勤を増やしていった初世豊前掾であったが、その傾向は二世豊前掾にも受け継がれ、富本節は劇場でも人気を博すこととなる。「吉原細見」と劇場出勤記録を照合することで、初世豊前掾の活動の意図がより具体的に示されたといえるだろう。

3. 二世富本豊前掾を支えた富本節三味線方

続いて本項では、初世富本豊前掾の子である二世豊前掾（1754－1822）を支えた、富本節三味線方であった初世、二世鳥羽屋里長、鳥羽屋兵助の吉原での動向を確認する。

まず二世豊前掾についてであるが、彼は初世の子として生まれ、初名は午之助⁵、前名は二世豊志太夫であった。安永6（1777）年1月に二世豊前太夫を襲名し、このころから常磐津をしのぐ名声を得始め、文化14（1817）年10月に受領して富本豊前掾藤原敬政となった。二世豊前掾で富本節の最盛期を迎え、その後は清元節の人気に押されて次第に衰退していく。二世豊前掾の三味線をつとめたのは、名見崎徳治、鳥羽屋里長（初世、二世）、鳥羽屋兵助らであり、本稿ではこのうち鳥羽屋里長、兵助について以下に詳述する。

3.1 初世、二世鳥羽屋里長

初世鳥羽屋里長（1738－1794/95）は上総生まれの盲人で、安永8（1779）年11月市村座には名見崎徳治とともにタテ三味線格で上演記録に初出し、以降天明3（1783）年3月中村座まで富本の三味線を弾いた。初世常磐津兼太夫（後の二世文字太夫）に招かれて一門の里桂、兵助らと共に常磐津に入り、同年8月にはタテ三味線格で常磐津を演奏した。当時常磐津三味線方の第一人者であった二世岸沢古式部が、この興行を三日目から病欠し翌月

³ 安田文吉『常磐津節の基礎的研究』、73頁。

⁴ 同上、73頁。

⁵ 前述の通り、初世富本斎宮太夫は午之助の後見をつとめている。

に亡くなっていることもあり、その健康状態からも、当時すでにベテランであった初世里長が初世兼太夫によって抜擢された。しかし、原因は不明であるが、寛政4(1792)年1月には常磐津を離れることとなる。同年3月に五世都太夫一中の依頼により「けいせい浅間嶽」を作曲したが失敗に終わり、そして同年11月市村座での興行からは富本へと戻ってタテ三味線をつとめた。没年は不明であるが、寛政6(1794)年7月都座の興行が最後の記録となっている。

二世鳥羽屋里長(初世鳥羽屋里桂)は、師の初世里長と共に富本節、常磐津節と三味線方をつとめた人物で、安永9(1780)年7月から天明3(1783)年3月まで富本の上調子格であった。同年8月からは常磐津の三味線方となり、初世里長の上調子として出勤する傍ら、タテ三味線もしばしばつとめるようになった。寛政4年の師匠常磐津脱退の際にはそのまま常磐津に残り、同年2月河原崎座からは姓を故沢と改めタテ三味線に進んだ。初世里長が故人になって以降と思われる寛政7(1795)年8月河原崎座の興行で鳥羽屋に戻って里慶と名乗り、翌年11月都座で二世鳥羽屋里長を襲名した。寛政10(1798)年3月桐座からは、門弟の二世鳥羽屋里夕らと共に常磐津を去って富本へと戻った。生没年は未詳だが、文政3(1820)年冬から番付に名がなくなっていることから、そのころに病没したと考えられる。

それでは、「吉原細見」に現れる「鳥羽屋里長」と「鳥羽屋里桂」について詳述する。まず「鳥羽屋里長」についてであるが、この名がみられるのは寛政6(1794)年(120)と、寛政10-享和3(1798-1803)年(129-139)である。年代を確認してみると、寛政6年の「鳥羽屋里長」は、常磐津から富本へと戻って活動していた最晩年の初世里長、寛政10-享和3年の「鳥羽屋里長」は、寛政8年にはすでに里長を襲名していることから、おそらく二世里長だと推定できる。前述の通り、初世里長は寛政4年に、二世里長は寛政10年に常磐津から富本へと移っており、「鳥羽屋里長」の名前がみられるのは初世であれ二世であれ、富本に属している期間のみであることがわかる。とりわけ二世里長に関しては、富本へ戻ってすぐとなる寛政10年秋(129)の「吉原細見」に名前が挙がっているというのは特徴的である。

次に「鳥羽屋里桂」であるが、こちらは天明2-5(1782-1785)年(103-110)に登場し、そのうち天明4、5年(107-110)については「鳥羽屋里慶」と表記されている。⁶里桂の名は富本と常磐津、どちらに属しているときもみられるが、初世里桂が劇場出勤で里慶と名乗ったのは寛政7(1795)年からとされており、「吉原細見」に登場する期間とは合致しない。ただし、「鳥羽屋里慶」が「吉原細見」に登場するのは、初世里桂が富本から常磐津へ移った後、すなわち天明3年8月より後となっている。この時期から正式に「里慶」の表記で劇場出勤していたという記録はみられないが、何らかの形で富本から常磐津へと移ったという事実を示しそうとしたのかもしれない。

⁶ 「男芸者一覧(稿)」では「鳥羽屋里桂」に統一して表記した。

3.2 鳥羽屋兵助（名見崎兵助、富本兵助、三保崎兵助）

鳥羽屋兵助は、天明期から文化期（1781－1818）に常磐津と富本の三味線方をつとめた人物である。天明3（1783）年8月中村座では常磐津に属して岸沢市治の上調子、同年11月森田座では初世鳥羽屋里桂の上調子を弾き、その後天明7（1787）年11月森田座まで初世鳥羽屋里長、二世岸沢式佐の上調子として興行に出勤し、その後常磐津を離れた。しばらくして寛政4（1792）年3月中村座では五世都太夫一中の三味線を弾いたが、翌年2月市村座以降は初世鳥羽屋里長に従い、富本兵助として富本の三味線方となった。さらに寛政9（1797）年頃からは、三保崎兵助としてタテ三味線をつとめるようになり、文化7（1810）年1月まで劇場に出勤した。

「吉原細見」において「兵助」の名は、天明4－享和3（1784－1803）年（107－139）に断続的にみられる。その間に芸姓は三度変わっており、天明4、5（1784、85）年（107－110）は名見崎姓、天明6－寛政4（1786－1792）年（111－118）は鳥羽屋姓、寛政5－9（1793－1797）年（119－127）は富本姓、寛政10－享和3（1798－1803）年（128－139）は三保崎姓として名前がみられた。さらに、このうち鳥羽屋姓の途中から富本姓の期間である寛政2－9（1790－1797）年

（116－127）は、惣芸者世話役として名前が記載されている。「兵助」の芸姓の変遷については、〔表1〕にまとめた。

鳥羽屋兵助を名乗ったのは、常磐津に属した天明3（1783）年からとされているが、⁷「吉原細見」では天明4、5年に名見崎姓を名乗っており、またこれが「兵助」の初出である。「吉原細見」での名寄せの順番については、前後の顔ぶれは異なるものの、どちらともほぼ同じ位置で登場しているので、「名見崎兵助」と「鳥羽屋兵助」はおそらく同一人物だと思

〔表1〕「吉原細見」に登場する「兵助」一覧

芸姓	番号	刊年(和暦／西暦)
名見崎	107	天明4・2月／1784
	108	天明4・秋／1784
	109	天明5・春／1785
	110	天明5・春／1785
鳥羽屋	111	天明6・春／1786
	112	天明6・秋／1786
	113	天明7・春／1787
	114	天明7・秋／1787
	115	天明8・8月／1788
鳥羽屋 (惣芸者世話役)	116	寛政2・秋／1790
	117	寛政3・春／1791
	118	寛政4・春／1792
富本 (惣芸者世話役)	119	寛政5・春／1793
	120	寛政6・春／1794
	121	寛政7・春／1795
	122	寛政7・秋／1795
	123	寛政8・春／1796
	124	寛政8・春／1796
	125	寛政8・8月／1796
	126	寛政9・春／1797
	127	寛政9・秋／1797
	三保崎	128
129		寛政10・秋／1798
130		寛政11・春／1799
131		寛政11・秋／1799
132		寛政12・秋／1800
133		寛政12・12月／1800
134		寛政12／1800
135		寛政13・春／1801
136		享和元・秋／1801
137		享和2・秋／1802
138		享和2／1802
139		享和3・春／1803
三保崎(兵介)	151	文化7・春／1810

⁷ 竹内有一編『常磐津節演奏者の経歴に関する調査報告書 2012年度 常磐津節演奏者名鑑 第2巻—近世2：創流期から幕末期までの三味線方—』、40頁。

われる。名見崎姓は主に富本に属した演奏家が名乗る芸姓であるが、鳥羽屋兵助は天明 4、5 年の間、常磐津に属している。また、これは偶然かもしれないが、「吉原細見」において「名見崎兵助」と「鳥羽屋里慶」、すなわち常磐津に属しているときの初世里桂は全く同時期に、そして「鳥羽屋里慶」「名見崎兵助」と連続して登場している(107-110)。この芸姓の変遷については不可解な点が多く、ここからは想像の域を出ないが、それまで兵助は、名見崎姓で富本に属して活動していたが、天明 3 年に初世鳥羽屋里長らと共に常磐津へ移り、「吉原細見」にはその前姓である「名見崎兵助」のままで名前が記載されたのではないだろうか。また、鳥羽屋姓の期間に寛政 2 年から惣芸者世話役になった経緯については、その時期には番付にも名前が見られないため詳細は不明である。今回の調査で資料が見つからなかった天明 9/寛政 1 (1789) 年はその境目であり、この年の「吉原細見」の内容にも注目したい。

「吉原細見」に「富本兵助」として登場したのは寛政 5 (1793) 年のことであり、これは改姓して常磐津から富本へと移った時期と合致している。富本兵助としての劇場出勤は少なくないものの、タテ三味線格で出演した記録は見られなかった。寛政 9 (1797) 年 7 月桐座での興行からタテ三味線として三保崎兵助の名がみられるが、この時期の「吉原細見」では富本姓で表記されているものの、改名時期はほとんど同じであるといえる。続く「三保崎兵助」は、それまでの「富本兵助」がすべて惣芸者世話役を担っていたのに対し、タテ三味線で劇場出勤していたこともあり、「吉原細見」では再び演奏者として名前が挙がるようになったのだろう。また、最後に登場してから 7 年後となる文化 7 (1810) 年春 (151) には「三保崎兵介」の名がみえるが、兵助はこの年の 1 月中村座の興行に出勤しており、辻番付には「三保崎兵助」記載されている。それ以降は、番付にも「吉原細見」にも兵助の名前はみられなくなるが、この「三保崎兵介」も同一人物であると推定できる。

以上、二世豊前掾の三味線方をつとめた演奏者を取り上げたが、改名時期などを「吉原細見」と照合させることで、所属の移動と改名・表記の変更については関連性がみられることが明らかになり、富本、常磐津間での各演奏者の移動についてのより具体的な背景を知ることができた。

4. まとめ

ここまで「吉原細見」から富本節初期の演奏者の動向をみてきたが、劇場出勤していた富本節演奏者の中でも富本節隆盛に関わるような中心人物たちが、積極的に吉原でも活動していたことが、この「吉原細見」調査を通じて明らかになった。こうしてみると、二世豊前掾は「吉原細見」には一度も登場しておらず、劇場出勤に専念していたことが改めて窺える。初世豊前掾が受領して筑前掾となり、晩年に劇場出勤を熱心に行っていたことが二世へと繋げられたという展開が、より鮮明にみえてくる。

また、「吉原細見」調査と芝居番付を照合させることで、富本と常磐津の座敷、劇場での

活動範囲を再確認することができた。「里長」の名前が「吉原細見」に現れるのが富本に属していたときだけであったというのは、里長が常磐津にいるときは劇場での演奏に専念した、あるいはさせられたとも考えられるのではないだろうか。「吉原細見」に常磐津姓が初登場するのは天明 8 (1788) 年 8 月 (115) の「常磐津政太夫」、岸沢姓は寛政 2 (1790) 年 (116) の「岸沢金弥」であり、天明 7 年に初世兼太夫が二世文字太夫の名を譲り受けて以降のことである。初世文字太夫が劇場出勤を中心に活動していたこともあり、里長のようなタテ三味線格の演奏者は、吉原での活動が制限されていた可能性があることを指摘したい。また、所属流派の移動や改名といった節目の時期には、「吉原細見」でも芝居番付と同様に表記が変わったり、あるいは「吉原細見」特有の表記変更をしたりして、常磐津と富本との差別化を図っていたことが推測できる。常磐津、富本間での移動が多くあったこともあり、「吉原細見」ではより所属を強調して示そうとしていたようにも思える。

こうしてみると、「吉原細見」は各演奏者の動きを明らかにするだけではなく、流派の盛衰を知る手がかりとなる資料でもあることが再確認できた。今回は初期の富本節に限定したが、これ以降富本の芸姓をもつ演奏者が「吉原細見」ではさらにみられ、また他の豊後系浄瑠璃に比べると富本姓の演奏家は現れる人数も回数も最も多くなっている。二世富本斎宮太夫が初世清元延寿太夫として清元節を創始してからはその人気に押されていくこととなるが、今後は清元節が台頭して以降の豊後系浄瑠璃の変遷を調査していきたい。

参考文献

- 岩沙慎一『江戸豊後浄瑠璃史』 くろしお出版、1968 年。
- 竹内有一編『常磐津節演奏者の経歴に関する調査報告書 2011 年度 常磐津節演奏者名鑑 第 1 巻—近世 1：創流期から幕末期までの太夫方—』 常磐津節保存会、2012 年。
- 竹内有一編『常磐津節演奏者の経歴に関する調査報告書 2012 年度 常磐津節演奏者名鑑 第 2 巻—近世 2：創流期から幕末期までの三味線方—』 常磐津節保存会、2013 年。
- 東京音楽学校編『近世邦楽年表 第 1 巻 常磐津・富本・清之元部』 鳳出版、1974 年。
- 平野健次編『日本音楽大事典』 平凡社、1989 年。
- 安田文吉『常磐津節の基礎的研究』 和泉書院、1992 年。

参考資料

- 早稲田大学演劇博物館編『近世芝居番付データベース (試験公開)』
(<http://www.enpaku.waseda.ac.jp/db/>)

2) 男芸者情報をもたらす焦点化と俯瞰の視点

前原恵美

1. 男芸者の情報が示すもの

「男芸者」とは、いつ頃から吉原に登場したのだろうか。『大衆文化事典』によれば、江戸時代のはじめにはすでに吉原には宴席において遊芸で客をもてなす芸者（幫間）が存在しており、その後、踊子が京阪から伝わったため、彼女たちを「女芸者」と呼んだ。そして女芸者と区別するため、それまでの幫間としての芸者を「男芸者」と呼ぶようになったというのが通説のようだ⁸。つまり幫間と男芸者はほぼ同義で用いられていたのは確かなようだ。管見では、吉原の男芸者の中に、特に「幫間」と名乗る者もいたようなので、狭義の「幫間」との混同をさけるため、本稿では「男芸者」という言葉を用いる。江戸時代の吉原の男芸者は何らかの専門分野を持つのが特徴で、それゆえ男芸者の芸名から専門分野が読み取れば当時の芸能社会の情勢を知ることにつながる。

ところが男芸者の芸名には、専門領域が読み取れる場合とそうでない場合がある。当時は存在したかもしれない「派⁹」には、現在に至る間に淘汰されたり取って代わられたりして消滅してしまったものも多い。比較的良く知られた派であれば、過去のものであっても専門領域を推定できるが、何らかの派を形成したいたようであってもその専門領域まで推定できないものもある。

専門領域が読み取れる男芸者についても、課題はある。一つは世数の問題である。ある芸名が長期にわたって連続的に掲載されている場合、一人の男芸者が長年にわたって活躍し続けたと考えることもできる。ただしその際には、名寄せの並び（筆者はこれがある程度の序列を示していると考えている）に矛盾がないことが必要であろう。そうでない場合は、同じ芸名でありながら、途中で別人に代わっている可能性を考慮しなければならない。これは言わば、「一つの芸名に焦点を絞り込んで」そこに複数の男芸者が関わっている（同じ芸名を複数の男芸者が名乗っている）可能性を検証して、その芸名の継承に検討を加えるというアプローチである。具体例は「2. 焦点化というアプローチ」で取り上げる。

逆の場合もある。つまり、芸名（芸姓）が途中で変わっているが、実は同一人物が改名していたという場合である。これは言わば、「芸姓は異なっても下の名が共通している男芸者にまで視野を拡げて」同一人物である可能性を検討し、そのことにより一人の男芸者が複数の流派間を移り変わっていった芸暦を追うというアプローチである。この具体例は「3. 俯瞰というアプローチ①」「4. 俯瞰というアプローチ②」で取り上げる。もちろん、芸名の姓も名も変えてしまう場合もあるだろうが、この場合は他資料の傍証として「吉原細見」の男名寄せを随時参照するしかなく、「吉原細見」だけからその事実を立証することは難しい

⁸ 石川弘義ほか編『大衆文化事典』、弘文堂、平成3年。「芸者」(p.228)、「幫間」(p.714)、「吉原」(p.821)。

⁹ ここでいう「派」は、一つの流儀の中に留まりつつ、共通の音楽的（あるいは芸能上の）特徴を持つ者たちが特定の名を名乗る集団を指す。例えば常磐津節の中の岸沢派。

ので、ここでは除外する。以下、二つのタイプの男芸者情報へのアプローチを紹介し、常磐津節演奏家研究はもとより、三味線音楽演奏家やより広い芸能者の研究に「吉原細見」の男芸者情報を用いる際の一助としたい。

2. 焦点化というアプローチ—田子七平の場合—

まず、「吉原細見」を経年的に一つの芸名に着目して検討する方法を挙げる。ここでは「田子七平」（「多子七平」の標記もあり）を例に考察してみる。

田子七平は、本報告書「3. 男芸者一覧（稿）」の通し番号¹⁰122、123、124、125、126、127、128、129、130、131、132、133、134、135、136、137、138、139、140、141、142、143、144、145、146、147、148、149、150、151、152、153、154、155、156、157、158、159、160、161、162、163、164、165、166、167、168、169、170、171、172、173、174、175、176、177、178、179、180、181、182、183、184、185、※205、206、207、208、209、210、211、212、213、214、215、216、217、218、219、220、221、222、223、224、225、226、227、228、229、※※242、243、245、248、249、250、251、252、253、254、255、256、257、258、259、260 に登場する。これは「吉原細見」に頻出する男芸者名の代表格と言える。最初に登場する 122 の「吉原細見」は、序文から寛政 7（1795）年秋の刊行と推定される。一方、260 は慶応 4（1868）年 4 月（序文による推定）刊行である。その期間は 73 年、普通に考えれば当時、一人の人物が活躍し続けたとは考えにくい。

さらに、「田子七平」と同一人物の可能性のある男芸者に「七平」と表記される者がいる。登場するのは 121（寛政 7（1795）年、序文により春刊行と推定）一度だけだが、名寄せにおける芸名の並び位置から、この「七平」は同年秋以降「田子七平」として度々現れる男芸者と同一人物と考えられる。一方、再び「田子七兵」が現れる「吉原細見」の通し番号を見ていくと、ほかの「吉原細見」には継続して掲載されているのに、185 と 205（「※」）の間と、229 と 242（「※※」）の間だけ空いている。185 と 205 の間は 11 年、229 と 242 の間は 6 年である。さらに詳細を別資料で検証する必要があるが、他に掲載の途切れている期間が無いことから、現段階では、少なくとも 122 から 185 までの田子七平（七平）と、205 から 242 までの田子七平は別人の可能性が高いと考えられる。

このように、一つの芸名に着目してその名を「吉原細見」を通して追っていくと、その芸名を通して、吉原での活躍を辿ることができる。ただし、長期にわたり同じ芸名が連続的に掲載されている場合、それが一人であるか、別の者がその芸名を継いだのか、検討が必要となる。その際、掲載の途切れがどれくらいの期間であるか、併せてその人物が別の芸名で活躍していた時期がないかも考慮しなければならない。そしてこの検討のためにも「吉原細見」を経年的に考察することが不可欠であると考えられる。

3. 俯瞰というアプローチ①—大坂屋五町の場合—

¹⁰ 以下、本稿ではこの通し番号を英数字のみで記す。

大坂屋五町（「五丁」とも）は謎の多い人物である。吉原で長く活躍した有名な男芸者とされ、その名は江戸中に知れ渡っていたようなのだが、いつごろ、どこで何をしていた人なのか未だ全容がつかめない。彼がよく名の知れた男芸者だったことは、常磐津節の〈年増¹¹という作品に登場することからも知れる。もと深川芸者だった年増が駕籠の中から五町を見つけて呼び止める場面の詞章は以下の通りである。

水際^{みづぎわ}のたつ風俗は 派手で公道できりりとしゃんと め心よき帯揚げの 端へ縫わ
せた^{がんすずめ}翫雀 いやみと知って行き過ぎる 黒い羽織に小脇差
^{年増}「オヤお前は五丁さんではないかえ、フムそんならお前も主の後から あの木母寺へ
エエモ訳があろうがあるまいが ままこれ」

「翫雀」とあるのは、演じた四世中村歌右衛門の俳号「翫雀」に因む。「黒い羽織に小脇差」は安永 2（1773）刊の「当世風俗通」に上之息子風として描かれている。ちなみに常磐津節の〈乗合舟¹²では、通人の「宗匠先生」が「春風や 黒羽織に小脇差 さしてゆらり／＼と船場へおりやる」というように同様の風俗で登場する。いずれも少し気障で格好をつけている「粹」を自認するような人物とってよかろう。なお、両作品とも三世桜田治助の作詞で、初演時期も近いことを付け加えておく。

さて、このような洒落人の代名詞のように歌舞伎の中にも登場する五町は、「吉原細見」から見ると男芸者としてどのように活動していたのであろうか。まず、「吉原細見」では大坂屋「五町」と記されている場合と大坂屋「五丁」と記されている場合があるが、本報告書では、凡例で示したとおり同一人物と推定される場合は頻出の表記に統一しているので、本稿でも「大坂屋五町」と記す。

大坂屋五町が掲載されている「吉原細見」は、88、90、92、94、99、100、101、102、103、104、105、106、107、108、109、110、111、112、113、114、115、116、117、※149、157、158、159、160、161、162、163、164、165、166、167、168、169、170、171、172、175、176、177、178、179、180、181、182、183、184、185、186、187、188、189、190、191、192、193、194、195、196、197、198、199、200、201、202、203、204、205である。グレーの網掛け部分では「惣芸者世話役」等の取りまとめ役として掲載されており、さらに下線を引いた 179、180、181 については、男芸者としても掲載され、かつ「惣芸者世話役」等の取りまとめ役としても記載されている、すなわち一冊の「吉原細見」の名寄せに二箇所掲載されていることを示す。初出の 88 は安永 6（1777）年の秋に刊行され、それ

¹¹八変化所作事《^{はなごよみいろのしよわけ}花翫曆色所八景》の一つ。春の隅田堤で駕籠に乗ったほろ酔い気分の年増が現れ、自分の旦那と所縁の男芸者を呼び止めて、ひとしきり旦那との馴れ初めや恋の駆け引きを語る、「しゃべり」が見せ所の。天保 10（1839）年、中村座初演。作詞は三世桜田治助、作曲は五世岸澤式佐と四世常磐津文字太夫。

¹²本名題《乗合船恵方万歳》。天保 14（1843）年、市村座初演。作詞は三世桜田治助、作曲は五世岸澤式佐。

以降頻繁に登場する。ただし、「※」を付した 117（寛政 3（1791）年春（序文による推定）刊行）と 149（文化 5（1808）年秋刊行）の間には 17 年の隔たりがあり、この「※」の間に別人が同名を継承したと考えられなくもない。

一方で大坂屋五町のルーツを知るためには、芸姓こそ「大坂屋」ではないが、「大谷五町（声色）」、「五町」、「五町（声色）」として掲載されている男芸者の存在も考慮する必要がある。これらの情報を大坂屋五町と付合わせてみると、「大谷五町（声色）」は 73 と 98 の 2 回掲載されている。また「五町」としては 93、95、96、97、「五町（声色）」としては 71、74 に載っている。これらを、大坂屋五町の名が一時ブランクになる「※」の前までの情報と併記すると以下のようなになる（番号は「吉原細見」の通し番号、刊年は便宜的に西暦表示）。

芸名	五町 (声色)	大谷 五町	五町 (声色)	大坂屋 五町	五町 (声色)		→	大坂屋 五町	大谷 五町	→
番号	71	73	74	88	90	92	93	94	95	
刊年	1770・8	1771 春	1773 春	1777 秋	1778 春	1778 秋	1779 春	1779 春	1779 秋	

			→	大坂屋 五町						→
96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	
1779 秋	1780 春	1780 春	1780 秋	1781 春	1781 春	1782 春	1782 春	1782 秋	1783 春	

										→
106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	
1783 秋	1784・2	1784 秋	1785 春	1785 春	1786 春	1786 秋	1787 春	1787 秋	1788・8	

										→
116	117	149	157	158	159	160	161	162	163	
1790 秋	1791 春	1808 秋	1814 春	1814 秋	1815 春	1816 秋	1817・4	1818 春	1818 秋	

										→
164	165	166	167	168	169	170	171	172	175	
1819 秋	1820 春	1820 秋	1821 春	1821 秋	1822 春	1822 秋	1823 春	1823 春	1825 秋	

176	177	178	179	180	181	182	183	184	185
1826 春	1826 秋	1827 春	1827 秋	1827 秋	1828 春	1828 秋	1829・2	1830 春	1830 春

186	187	188	189	190	191	192	193	194	195
1830 秋	1831 春	1831 秋	1832 春	1832 秋	1833 春	1833 秋	1834 春	1834 秋	1835 春

196	197	198	199	200	201	202	203	204	205
1836 春	1837 春	1837 秋	1837・ 12	1839 春	1839・2	1839 秋	1840 春	1840 秋	1841 春

上記の表を概観すると、「五町」としての初出が明和 7 (1770) 8 月、最後に確認できるのが(「大坂屋五町」として)天保 2 (1841) 年春なので、途中太線で区切った部分(上から 4 つ目の表)にある 17 年間のブランクを考えても、この「五町」が一人とは考えにくく、ブランクの間に世代交代して第二の五町が現れた可能性を排除できない。そしてその五町が 20 年ほど男芸者として活躍したのち、世話役として「吉原の顔」になっていったのではなかろうか。ちなみに最初に触れた〈年増〉の初演は最下段の表の○で囲んだ時期にあたる。

時代は遡るが、「五町」の名が現れ始めた当初の情報も精査しておきたい。「吉原細見」の 99 以降(上から 2 つ目の表)は「大坂屋五町」の芸名表記が完全に定着している。一方それ以前の「五町」は大谷姓だったり大坂姓だったり、単に五町とある場合もある。単に五町と記されている場合は、大谷五町とも大坂屋五町とも取れるが、引っ掛かるのは 88 と 94 の「大坂屋五町」である。しかし名寄せの並びを確認してみると、88 と 94 を含む 71～95 の期間の五町は、同一人物と解釈しても矛盾はない。

以上の考察から、現時点では「大坂屋五町」は、117 と 149 を境に二人存在した可能性を否定できない。そして、文化 5 (1808) 年以降活躍し、その後、世話役に上り詰めた大坂屋五町が、〈年増〉にも登場する男芸者の代名詞としての五町だったのではなかろうか。大坂屋五町にまつわる謎が解決されたわけではないが、「大坂屋五町」という芸名だけに捉われず、「五町」や「大谷五町」といった芸名と合わせて俯瞰することで、その動向の一端が明らかになったと思う。

4. 俯瞰というアプローチ②—「安和太夫」からみた常磐津節周辺の動向—

続いて、吉原の男芸者としても名寄せに頻出しながら、歌舞伎でも活躍していた「安和太夫」を取り上げてみたい。安和太夫は「常磐津安和太夫」、「安和太夫」、「富本安和太夫」の名で「吉原細見」の名寄せに掲載されているが、これをまず登場する順序で整理してみる。なお、前掲の凡例により、安和太夫の別表記に「阿波太夫」があるが、本報告書では「安和太夫」に統一していることを確認しておく。

最初に現れる「富本」安和太夫としての掲載を見てみると、99、100、101、102、103、104、108、109、110、111、112、113、114、115、116、117、118、119、120、121、122、124、125、126、127、128、129、130、131、132、133、134、136、137、138、139、150、151、152、153、154、155、156、159、160、161※216、218、219、220、221、222、223、224、225、226、227、228、229、230、231、232、235、238に見られる。長期にわたり頻繁に現れる「富本安和太夫」の名だが、「※」を挟んで161は文化14（1817）年4月、216は弘化3（1846）年春に刊行された「吉原細見」であり、両者の間には29年の空白時期がある。ほかに「安和太夫」としては105、106がある。105は天明3（1783）年春、106は天明3（1783）年秋の刊行で、名寄せの並びから見て両者は同一人物と見て間違いはない。このほか「常磐津安和太夫」として、107、※※164、165、166、167、168、169がある。107は天明4（1784）年2月刊行の「吉原細見」で、名寄せの並びと刊行時期の近さから見て「安和太夫」と同一人物であろう。しかしこのあと、「※※」の部分に35年という長いブランクがある。一方、「富本」安和太夫の空白の29年間に、「常磐津」安和太夫の107を除いたものがすっぽり入ってしまう。ここで、161と164の刊行時期を見ると文化14（1817）年4月と文政2（1819）秋であり、2年余りの間を置いてはいるが、流派を富本節から常磐津節に転向しているのであれば、これくらいの空白を挟んで同一人物が掲載されていても不思議はない。これらの情報を総合して表に整理すると以下ようになる（表では、安和太夫：安和太夫、富本：富本安和太夫、常磐津：常磐津安和太夫を示す）。

芸名	富本						安和太夫		常磐津
番号	99	100	101	102	103	104	105	106	107
刊年	1780秋	1781春	1781春	1782春	1782春	1782秋	1783春	1783秋	1784・2

富本									
108	109	110	111	112	113	114	115	116	117
1784秋	1785春	1785春	1786春	1786秋	1787春	1787秋	1788・8	1790秋	1791春

118	119	120	121	122	123	124	125	126	127
1792春	1793春	1794春	1795春	1795秋	1796春	1796春	1796・8	1797春	1797秋

128	129	130	131	132	133	134	136	137	138
1798 春	1798 秋	1799 春	1799 秋	1800 秋	1800・ 12	1800	1801 秋	1802 秋	1802

139	150	151	152	153	154	155	156	159	160
1803 春	1809 秋	1810 春	1810 秋	1811 春	1811 秋	1812 春	1812 秋	1815 春	1816 秋

▶	常磐津					▶	富本		
161	164	165	166	167	168	169	216	218	219
1817・4	1819 秋	1820 春	1820 秋	1821 春	1821 秋	1822 春	1846 春	1846 秋	1846 秋

220	221	222	223	224	225	226	227	228	229
1847 春	1847 春	1847 春	1847 春	1847 秋	1847 秋	1848 春	1848 秋	1849 春	1849 秋

				▶
230	231	232	235	238
1850 春	1850 秋	1851 春	1852 秋	1853 春

ところで、安和太夫の名がほぼ継続的に現れているとはいっても73年間もの間、同一人物が活動し続けたとは思えない。そこで富本安和太夫および常磐津安和太夫としての歌舞伎出勤等の記録と照合して検討する必要がある。

まず、安和太夫に関して「常磐津年表」¹³の安永9(1780)年の項に〈富士の菅笠〉の豊名賀造酒太夫の三番目として豊名賀津摩太夫の名が記載されており、続けて「此富士太夫後に二代目造酒太夫となる又津摩太夫是も後に安和太夫改」とあることから、安和太夫が以前は豊名賀津摩太夫と名乗っていたことがわかる。さらにその6年前、安永3(1774)年市村座顔見世番附に「富士岡津磨太夫」の名が見えるので、安和太夫は当初富士岡姓を名乗る新内節の太夫だったのが、富本節に移って富本安和太夫として歌舞伎に出ていた¹⁴。その後、

¹³ 『音曲叢書』第二編所収。演劇珍叢刊行会、大正3(1914)年。

¹⁴ 安永8(1779)11月 市村座「色仕立紅葉段幕」富本豊前太夫の三番目：富本安和太夫【早稲田(絵本)】。本稿では早稲田大学演劇博物館デジタル・アーカイブ・コレクション(<http://www.enpaku.waseda.ac.jp/db/index.html>)を【早稲田】と略す。(絵本)は絵本番附、(顔見世)は顔見世番附、(辻)は辻番附を指す。

初代常磐津造酒太夫や志妻太夫、佐々木市蔵らが常磐津派から分離して作った豊名賀派に加わり、安永 9 (1780) 年には前掲のように豊名賀津摩太夫と名乗って歌舞伎に出勤していたと考えられる。しかし豊名賀はじきに常磐津に吸収されることとなり、豊名賀津摩太夫は、同年 7 月には富本節に復帰し、富本安和太夫として歌舞伎に出始めたのである(安永 9(1780) 7 月 市村座「くりかえすさとのふみづき繰返廓文月」二世富本豊前太夫の三枚目：富本安和太夫【早田(絵本)】。同年市村座顔見世番附 二世富本豊前太夫の三番目：富本安和太夫【早稲田(顔見世)】)。

富本に復帰してからの安和太夫は、連続的に富本豊前太夫の三番目を語り、安定した地位を得ていった。「吉原細見」に富本安和太夫の名が連続的に現れるのはこの時期で、歌舞伎にも常時出勤する太夫が、男芸者としても同時にかつ継続して名を連ねていたことがわかる。

ところで安和太夫は前掲の表 105~107 にかけて常磐津節に転向している。歌舞伎の出勤記録等を探ると、以下のような足跡が辿れる。

天明 2 (1782) 11 月、市村座はるもかくやたちかえりはな〈春斯立帰花〉に二世常磐津兼太夫の三番目として常磐津安和太夫出勤【早稲田(絵本)】

天明 3 (1783) 8 月、中村座〈道行千種の乱咲〉に常磐津なみ(名美)太夫のワキとして常磐津安和太夫出勤【早稲田(絵本)】

天明 3 (1784) 11 月、中村座顔見世番附で二世常磐津兼太夫の三番目として常磐津安和太夫掲載【mfa(顔見世)】¹⁵

天明 4 (1784) 正月 中村座〈吾婦御道恋重荷〉に二世常磐津兼太夫のワキとして常磐津安和太夫出勤【早稲田(絵本)】

すなわち、「吉原細見」と歌舞伎出勤等の記録を総合すると、天明 2 (1782) 年秋までは富本安和太夫、同年 11 月から天明 4 (1784) 年 11 月までは常磐津安和太夫、同年秋を境にまた富本安和太夫に戻ったことがわかるのである。ちなみにその後の安和太夫は、長く富本豊前太夫や斎宮太夫のワキないし三番目を語りつつ、自ら歌舞伎のタテ語りを勤める機会もあったが、文化 5 (1808) 年 11 月には安和太夫の名を富本和泉太夫に譲り(中村座ぬれやつしかなのいんげん〈色和倭院宣〉【早稲田(絵本)】)、自らは富本松寿齋と改名した(【早稲田(絵本)】)。この安和太夫が松寿齋と改名したのは、前掲の表 139 と 150 の間にあたり、ちょうど名寄せから安和太夫の名が消えるブランクの時期に重なる。つまり、ここまでが一人目の男芸者としての安和太夫であり、150 以降は二人目の安和太夫に交替していたのだ。

表の 150 以降の安和太夫すなわち富本和泉太夫改め二世安和太夫は、歌舞伎では豊前太夫のワキないし三番目を中心に語り、文化 12 (1815) 年 5 月に中村座で〈道行初音旅〉を豊前太夫のワキで語って以降¹⁶途切れるが、文政 5 (1822) 年 7 月に二世富本豊前こと豊前掾が亡くなると、文政 7 (1824) 年以降はタテ語りとして歌舞伎に復帰している。二世安和

¹⁵ 本稿では Museum of Fine Arts Boston (<http://www.mfa.org/>) の Artwork コレクションを【mfa】と略す。

¹⁶ 【早稲田(絵本)】

太夫の歌舞伎出勤記録は、管見では天保1（1830）年5月、〈沢紫栄二株〉^{はなとはなさかえのふたもと}で三世富本豊前のワキを語ったのが最後であるが、前掲の男芸者名寄せに見えるのは弘化3（1846）年以降ということになる。この間の16年の空白はどのように説明できるのだろうか。

一方、前掲表の164から169に再び常磐津安和太夫の名が復活する。実は常磐津安和太夫にも二世がいて、こちらは歌舞伎界で華々しい活躍をするというほどではなかったが、文化11年森田座の〈旅枕姿花嫁〉で兼太夫の四番目に名が見え¹⁷、それ以降は時折歌舞伎に出勤していたが、文政2（1819）年河原崎座の顔見世番附で常磐津兼太夫の三番目に載って以降は確認できない。前掲表で常磐津安和太夫が再び現れるのは、この顔見世番附に載った同年からなので、この二世常磐津安和太夫が歌舞伎を退いて吉原に活動の場を移したとすれば、時期的には符合する。

ところで、この二世常磐津安和太夫の情報を加えてみても、二世富本安和太夫の名が歌舞伎から消えて「吉原細見」に現れるまでの16年を説明することは、現段階では難しい。二世富本安和太夫が歌舞伎から引退して16年の歳月を経てから吉原で活躍した可能性も無いとは言えないし、この16年の間に三世富本安和太夫が現れて、歌舞伎ではなくもっぱら吉原で活動したとしても不思議はない。この点については、二世富本安和太夫の情報を今後、さらに収集して検討する必要がある。

5. 「吉原細見」の男芸者情報を活かすために

以上、本稿は、本報告を作成する過程で浮き彫りになった多くの男芸者に関するトピックスのうちのわずか3点を取りあげて、多少深く広く考察したに過ぎない。それでも一つの芸名に焦点を当てて、その名を名乗ったのが本当に一人なのか、途中で複数の芸能者が代替わりした可能性があるのではないかを検証することで、新たな拡がりが見えてくる。あるいは、一人の芸能者が芸姓は変えても下の名を変えずに流派を超えて活動している可能性を視野に入れて俯瞰することで、一人の芸能者のルーツが見えてくることもある。「吉原細見」の男芸者情報は、その視点を変えながら、他の資料と照合しながら、可能な解釈を導き出していくことで可能性が開けてくるものだと言えよう。

¹⁷ 【早稲田（絵本）】

6. 今後の課題と展望

前原恵美

本研究を通して、改めて「吉原細見」の音楽史料としての価値を認識したとともに、新たな課題とその先の展望も拓けてきたように思う。この本研究の成果の一つともいえる新たな課題と展望について、三点にまとめておきたい。

まず、本報告書の1. **本稿のねらい**で述べたように、作成当初はあくまで「吉原細見」の名寄せに記された情報を対象としていたものの、途中から名寄せのない「吉原細見」にも本文中に男芸者の情報が記されている場合があり、芸姓から専門分野を知ることができたり、住んでいた場所を知ることができたりする、有効な情報であるとの考えに至って補足調査を行った。しかしこの補足調査はまだ不十分な点もあると思われるので、積み残した課題である。

二つ目に、本報告書では「男芸者」のみを対象としたため、女芸者についての情報は皆無である。確かに名寄せだけを見れば、男芸者は芸姓を持ち、そこから専門分野の推測が可能なのに対し、女芸者はたいていの場合、下の名のみしか記されておらず、そこからわかることは少ない。しかし本文中には、所属する妓楼に遊女とともに「義太夫節」「豊後節」などと専門分野が女芸者の名に併記されていることもあるほか、芸姓を持った女芸者の例も少ないながらあった。こうした情報を拾い上げていくことが、実は日本音楽界に女性芸能者が果たした役割を明らかにしていくために必要なのではないかと思いつつ、そこまではとても手が及ばなかった。反省を込めてここに記し、今後の課題とする。

本報告書の中でも触れてきたことであるが、「吉原細見」に見られる男芸者情報の今後の活用の可能性はまだまだ拮がると考えている。これまでその有効性を認めながらも、「吉原細見」の音楽研究へのアプローチは、個々の情報、個々の芸名、個々の芸能者に絞ったものが多かったと思う。表記や芸姓の違い、誤字と思われるもの、などの一種の垣根を少しでも取り払って、その活用に資することが本報告書作成の目的であった。未だ不十分な点は多々あるかと思うが、これを礎にさらなる補足や修正等を行いながら、本報告書の「(稿)」の字を取ることができるよう調査を継続してゆきたいと考えている。

本報告書は平成25～28年度科学研究費補助金の交付を得て行った「江戸～昭和期の常磐津節演奏家に関する基盤研究」(基盤研究(C)、課題番号:25370123)の研究成果の一部である。

「吉原細見」に見られる男芸者一覧（稿）

平成 25～28 年度科学研究費補助金（基盤研究（C）、課題番号：25370123）

「江戸～昭和期の常磐津節演奏家に関する基盤研究」研究成果の一部

研究代表者 前原恵美（独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所）

平成 29 年 3 月